

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第740集

おお や ち
大谷地Ⅲ遺跡発掘調査報告書

(仮称)花巻PAスマートインターチェンジ整備事業関連遺跡発掘調査

2023

花 巻 市

(公財)岩手県文化振興事業団

大谷地Ⅲ遺跡発掘調査報告書

(仮称)花巻PAスマートインターチェンジ整備事業関連遺跡発掘調査



遠景



直上



SX10焼成遺構



出土土器

序

本県には、旧石器時代をはじめとする1万箇所を超す遺跡や貴重な埋蔵文化財が数多く残されています。それらは、地域の風土と歴史が生み出した遺産であり、本県の歴史や文化、伝統を正しく理解するのに欠くことのできない歴史資料です。同時に、それらは県民のみならず国民的財産であり、将来にわたって大切に保存し、活用を図らなければなりません。

一方、豊かな県土づくりには公共事業や社会資本整備が必要ですが、それらの開発にあたっては、環境との調和はもちろんのこと、地中に埋もれ、その土地とともにある埋蔵文化財保護との調和も求められるところです。当事業団埋蔵文化財センターは、設立以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によってやむを得ず消滅する遺跡の緊急発掘調査を行い、その調査の記録を保存する措置をとってまいりました。

本報告書は、(仮称)花巻PAスマートインターチェンジ整備事業に関連して、令和3年度に発掘調査を実施した大谷地Ⅲ遺跡の成果をまとめたものです。調査の結果、主に奈良時代・縄文時代の遺構、遺物が多数出土し、貴重な資料を得ることができました。

本書が広く活用され、埋蔵文化財についての関心や理解につながると同時に、その保護や活用、学術研究、教育活動などに役立てられれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査並びに報告書の作成にあたり、ご理解とご協力をいただきました花巻市建設部道路課、花巻市教育委員会をはじめとする関係各位に対し、深く感謝の意を表します。

令和5年3月

公益財団法人 岩手県文化振興事業団
理事長 石田知子

例 言

- 1 本報告書は、岩手県花巻市諏訪・大谷地地内に所在する大谷地Ⅲ遺跡の発掘調査成果を収録したものである。
- 2 本遺跡の発掘調査は（仮称）花巻PAスマートインターチェンジ整備事業に伴う事前の緊急発掘調査である。調査は岩手県教育委員会の調整を経て、花巻市建設部道路課の委託を受けた（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが実施した。
- 3 岩手県遺跡登録台帳における遺跡コード・遺跡略号は次のとおりである。
遺跡コード：ME35-1229 遺跡略号：OYTⅢ-21
- 4 発掘調査期間・調査面積・担当者は次のとおりである。
調査期間：令和3年4月8日～10月15日 面積：5,982㎡
担当者：八木勝枝・福島正和・富川 悟
- 5 室内整理期間・担当者は次のとおりである。
整理期間：令和3年11月1日～令和4年3月31日
担当者：八木勝枝・福島正和・富川 悟
- 6 本報告書の執筆分担は次のとおりである。
Ⅰ：花巻市建設部道路課 Ⅱ：八木 Ⅲ：八木 Ⅳ：八木・福島 Ⅴ：八木
- 7 各種委託業務は次の機関等に依頼した（順不同）。
基準点測量：有限会社先先測量
航空写真撮影：有限会社渡邊測量事務所
石器石材鑑定：花崗岩研究会
石器実測：株式会社ラング
放射性炭素14年代測定：株式会社加速器分析研究所
黒曜石分析：株式会社第四紀地質研究所
顔料分析：株式会社第四紀地質研究所
- 8 野外調査及び室内整理にあたり、以下の機関等からご協力いただいた。（五十音順・敬称略）
北上市教育委員会 北上市立博物館 花巻市教育委員会 花巻市博物館
岩田貴之 菊池 賢 君島武史 酒井宗孝 杉本 良 高橋信雄 中村良幸 西澤正晴
羽柴直人 村田 淳 米田 寛
- 9 本遺跡の出土遺物及び諸記録類は岩手県立埋蔵文化財センターで保管している。
- 10 これまでに、調査成果の一部を現地説明会資料、調査概報等において公表しているが、本書の記載内容を正式なものとする。

目 次

I	調査に至る経緯	1
II	立地と環境	1
1	遺跡の位置	1
2	周辺の遺跡	5
III	調査と整理の方法	9
1	野外調査	9
(1)	調査区	9
(2)	グリッド設定	9
(3)	粗掘り・遺構検出	9
(4)	遺構名の登録	9
(5)	遺構精査・遺物の取り上げ	9
(6)	遺構の実測	9
(7)	記録撮影	9
(8)	野外調査経過	9
2	室内整理	11
(1)	遺物整理	11
(2)	遺構整理	11
(3)	図版作成	11
IV	調査内容	19
1	基本層序	19
2	検出遺構・出土遺物	19
(1)	竪穴建物	19
(2)	掘立柱建物	20
(3)	焼土	22
(4)	土坑	22
(5)	焼成遺構	42
(6)	埋設土器	48
(7)	溝跡	48
(8)	周溝	50
(9)	柱穴状小土坑	50
V	自然科学分析	103
1	放射性炭素年代(AMS測定)	103
2	黒曜石分析	107
3	顔料分析	116
VI	遺構と遺物の検討	124
	報告書抄録	183

図版目次

第1図	遺跡位置図	2	第34図	SX01～03	71
第2図	遺跡範囲位置図	2	第35図	SX04～06	72
第3図	地形分類図	3	第36図	SX07・08・10	73
第4図	調査区の位置と周辺地形	4	第37図	SX11・13～16	74
第5図	周辺の遺跡	6	第38図	SX09・17～19・SX12	75
第6図	グリッド配置図	11	第39図	SD01	76
第7図	遺構配置図	12	第40図	SD02	77
第8図	分割図	13	第41図	SD04～07	78
第9図	遺構配置図①	14	第42図	SZ01	79
第10図	遺構配置図②	15	第43図	柱穴状小土坑(1)	80
第11図	遺構配置図③	16	第44図	柱穴状小土坑(2)	81
第12図	遺構配置図④	17	第45図	柱穴状小土坑(3)	82
第13図	基本土層	18	第46図	SI01・SI02出土土器	85
第14図	SI01・SI01 P1～P4	51	第47図	SI03・SI04出土土器	86
第15図	SI01カマド・SI01 P5～P8	52	第48図	SB01・SB03・SK13・SK17出土土器	87
第16図	SI02・SI02燃焼部	53	第49図	SK19・SK20・SK28・SK30・SK35・SK43・SK58・SK60・SX01・SX02出土土器	88
第17図	SI04・SI04 P1・P2	54	第50図	SX03・SX06～09出土土器	89
第18図	SI04カマド・SI03	55	第51図	SX10・SX11・SX13・SX14出土土器	90
第19図	SB01・03	56	第52図	SX15～17・SX12出土土器	91
第20図	SB02・SN01	57	第53図	SD01・SD02出土土器	92
第21図	SK01～06	58	第54図	SD02・04出土土器	93
第22図	SK07～12	59	第55図	SD04～06、P22・24・35・39・試掘トレンチ遺構外出土土器	94
第23図	SK13～20	60	第56図	出土石器(1)	95
第24図	SK21～26	61	第57図	出土石器(2)・土製品・銭貨・金属製品	96
第25図	SK27～31・34・35	62	第58図	堅穴建物・環状溝・弧状溝出土土器	127
第26図	SK32・33・36～39	63	第59図	年代測定土器焼成遺構出土土器	128
第27図	SK40～46	64	第60図	赤彩土器集成図(1)	129
第28図	SK47～52	65	第61図	赤彩土器集成図(2)	130
第29図	SK53～59	66	第62図	古代遺構配置図	131
第30図	SK60～66・68	67	第63図	土器焼成遺構分布図	132
第31図	SK67・69～71	68	第64図	陥し穴状遺構分布図	132
第32図	SK72～77	69			
第33図	SK78～83	70			

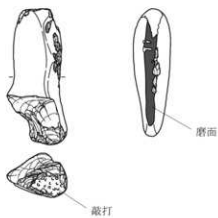
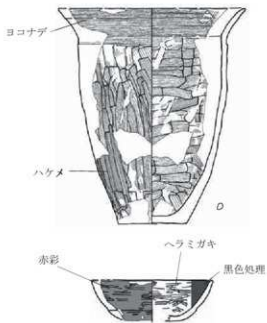
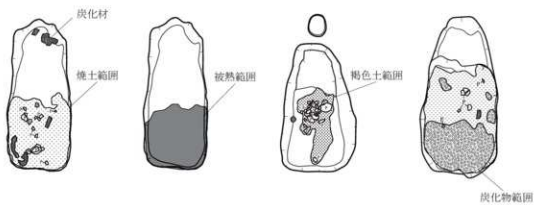
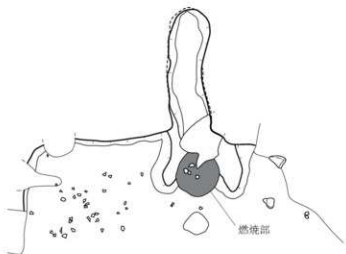
写真図版目次

写真図版1	空撮	134	写真図版28	SK76～79	161
写真図版2	SI01	135	写真図版29	SK80～83	162
写真図版3	SI01・02	136	写真図版30	SX01・02	163
写真図版4	SI02・04	137	写真図版31	SX03～05	164
写真図版5	SI04	138	写真図版32	SX05～07	165
写真図版6	SI03	139	写真図版33	SX07～10	166
写真図版7	SB01	140	写真図版34	SX10・11・13	167
写真図版8	SB03、東区西全景	141	写真図版35	SX14・15	168
写真図版9	SB02	142	写真図版36	SX16・17・09・17	169
写真図版10	SN01・SK01～04	143	写真図版37	SX18・19、SD01	170
写真図版11	SK04～08	144	写真図版38	SD01	171
写真図版12	SK09～12	145	写真図版39	SD02	172
写真図版13	SK13～16	146	写真図版40	SD02	173
写真図版14	SK17～20	147	写真図版41	SD04～07	174
写真図版15	SK21～24	148	写真図版42	SZ01	175
写真図版16	SK25～29	149	写真図版43	SI01・02・04出土土器	176
写真図版17	SK29～33	150	写真図版44	SI04・03、SB01・03、SK13・17・19・ 20・28・30・35出土土器	177
写真図版18	SK33～37	151	写真図版45	SK43・58・60、SX01～03・06～10出土 土器	178
写真図版19	SK37～41	152	写真図版46	SX10・11・13～17出土土器	179
写真図版20	SK41～45	153	写真図版47	SX12、SD01・02出土土器	180
写真図版21	SK45～49	154	写真図版48	SD04～06、P22・24・35、T5・8・14他 出土土器、SI01・04、SK30出土土器	181
写真図版22	SK49～53	155	写真図版49	出土土器、土製品、銭貨、金属製品	182
写真図版23	SK54～57	156			
写真図版24	SK58～62	157			
写真図版25	SK63～67	158			
写真図版26	SK68～71	159			
写真図版27	SK72～75	160			

表 目 次

第1表	周辺の遺跡	7	第4表	石器観察表	102
第2表	不掲載土器一覧	83	第5表	土製品・銭貨・金属製品観察表	102
第3表	土器観察表	97			

凡例



I 調査に至る経緯

大谷地Ⅲ遺跡は、(仮称)花巻PAスマートインターチェンジ整備事業の施工に伴って、その事業区域内に存在することから、発掘調査を実施することになったものである。

(仮称)花巻PAスマートインターチェンジは、既存の東北縦貫自動車道花巻PAから県道花巻和賀線、令和4年度開通予定の都市計画道路山の神諏訪線へ接続する。当市は、高速IC・JCT、新幹線駅、空港が近接する県内でも重要な交通結節点である。また、当該地域付近には金属工業団地、花巻市公設地方卸売市場が整備され、当市の産業の重要な拠点となっている地域であり、当該スマートインターチェンジ整備により当市の変化する産業の発展を図るものである。更に、富士大学、令和2年8月にオープンした道の駅西南へのアクセスが良好な位置であり、地域活性化についても同時に期待できる。

大谷地Ⅲ遺跡は、岩手県教育委員会作成の県遺跡台帳に登録された周知の遺跡である。当事業の施工に係る埋蔵文化財の取り扱いについては、花巻市道路課から花巻市教育委員会文化財課へ令和元年11月14日及び20日、東北自動車道を中心に東西に分け、「埋蔵文化財発掘の届出〔通知〕について」により届出〔通知〕を行い、教育委員会より試掘調査が必要な旨の勧告を受けている。

花巻市道路課より依頼を受けた花巻市教育委員会は令和元年11月19日より東側(大谷地Ⅲ遺跡)を、25日より西側(下根子遺跡)の試掘調査を実施し、工事に着手するには当該事業東側(上り線)のみ発掘調査が必要となる旨を令和元年11月28日1花教文第3-020号「埋蔵文化財試掘調査結果について(通知)」により回答した。

その結果を踏まえて当課は岩手県教育委員会と協議を行い、発掘調査を公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの受託事業とすることとした。これにより令和3年3月30日付けで花巻市長と公益財団法人岩手県文化振興事業団理事長との間で委託契約を締結し、大谷地Ⅲ遺跡の発掘調査を実施することとなった。

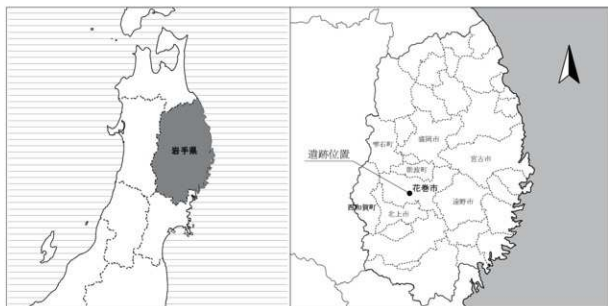
(花巻市建設部道路課)

II 立地と環境

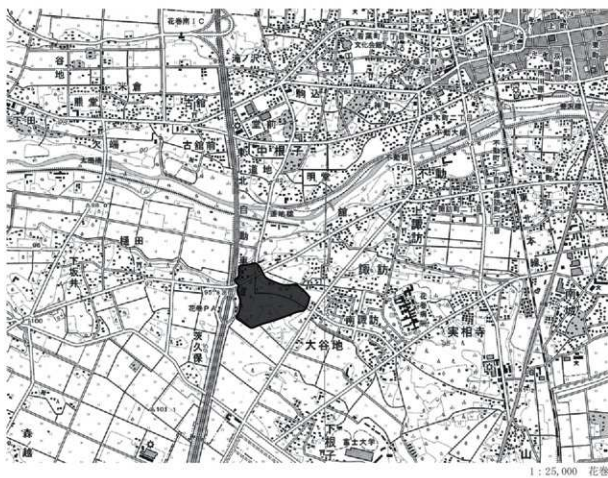
1 遺跡の位置

大谷地Ⅲ遺跡が所在する花巻市は岩手県内陸部のほぼ中央に位置し、北は紫波町・零石町、西は西和賀町、南は北上市・奥州市、東は遠野市に接している。現在の花巻市は、平成18年1月1日に花巻市・稗貫郡石鳥谷町・稗貫郡大迫町・和賀郡東和町が合併したもので、総面積は908.39km²、総人口は93,240人(令和4年2月末日時点)である。花巻市市街地の東方には南北に延びる谷底平野が広がり、この沖積低地を北上川が蛇行しながら南流している。北上川を境界に西側地域と東側地域とでは地形・地質が大きく異なっている。北上川西岸地域では西方に起伏の激しい奥羽山脈が位置し、グリーンタフ・安山岩・頁岩・砂岩などで構成されている。奥羽山脈東麓には扇状地が発達し、ナメトコ山(860m)・青ノ木森(830.7m)を流源とする豊沢川などの河川は砂礫堆積をもたらし、扇状地性段丘を形成している。これらの段丘は3段以上に分類され、大谷地Ⅲ遺跡は下位段丘縁辺部に立地している。一方北上川東岸地域は古生層などを基層とする北上山地西縁にあたり、丘陵地・山地が入り組む地形を呈する。

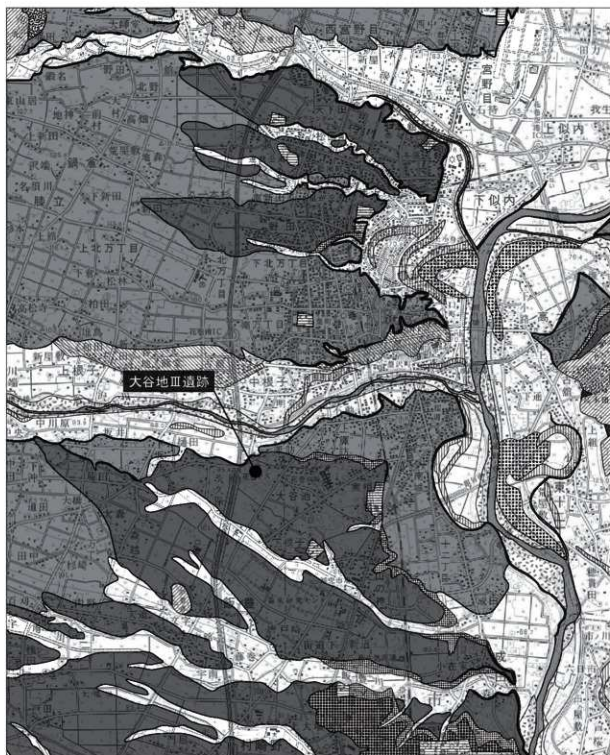
1 遺跡の位置



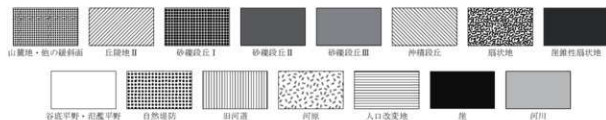
第1図 遺跡位置図



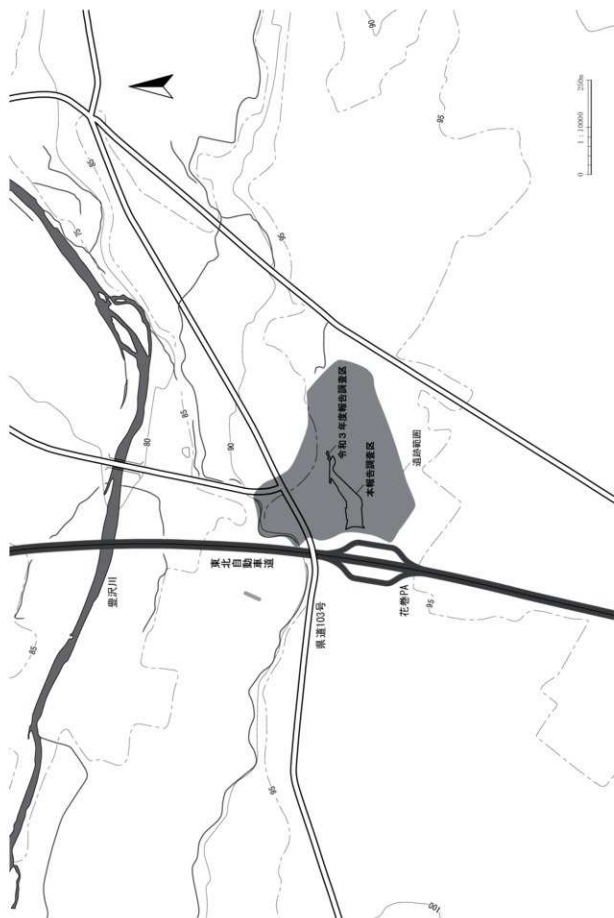
第2図 遺跡範囲位置図



『1/50,000 土地分類基本調査(地形分類図)「花巻」岩手県(1975)』を元に作成



第3図 地形分類図



第4図 調査区の位置と周辺地形

2 周辺の遺跡

令和3年12月現在、岩手県遺跡登録台帳に記載されている花巻市の遺跡は1,031箇所である。ここでは、豊沢川流域の奈良時代及び縄文時代の陥し穴状遺構が検出されている遺跡について概観する。

豊沢川北岸に位置する熊堂古墳群(19)は7世紀後半から8世紀前半に築造された終末期古墳群である。熊野神社周辺が古墳群の東端に位置し、遺跡範囲には約270基の古墳があった可能性が指摘されており、このうち20基が発掘調査により確実に古墳と判別されている。古墳の直径は9m前後・高さ40～60cm、周溝の外形は10～15mで、完全な環状ではなく一部が途切れている。一辺7.2mの大型堅穴建物も検出されており、柱の配置は大谷地Ⅲ遺跡SI01に類似している。熊堂古墳群の南、豊沢川のほとりに位置する魔王塚(25)も花巻市教育委員会によって調査が行われている。魔王塚は古絵図によれば巨木杉が立ち魔王堂という小祠が祀られていた。東西13m・南北6m、高さ40cmで礎が積み重ねられており墳丘状を呈する。周溝はなく、内部構造に古墳・墓等の構築は認められていない。トレンチ最底部から残滓が出土するなど、攪乱が著しいようである。

熊堂古墳群の東に位置する古館Ⅱ(21)は奈良時代～平安時代・中世の集落跡である。古代堅穴住居跡が29軒検出され、時代毎の内訳は、奈良時代15軒・平安時代8軒・時期を限定できないもの6軒である。奈良時代の堅穴建物は、大型堅穴建物とその周辺に小型堅穴建物数棟が配置される構造を呈する。「赤彩球胴壺」や産地分析されていないが、奈良時代のC05住居跡から黒曜石剥片が1点出土している。実測図からは不明だが、使用痕のある剥片と記述がある。焼成遺構は8基検出されている。

古館Ⅱ遺跡の東に位置する古館Ⅳ遺跡(24)は7世紀後半から8世紀後半の集落遺跡で、6.5×6.2mの大型堅穴建物が検出され、土製勾玉が1点出土している。また、一辺5.55mの堅穴建物は北東隅に焼土ブロックが堆積しており、カマド東側から「赤彩球胴壺」上半部が出土している。

大谷地Ⅲ遺跡から花巻P Aを挟んだ西に奈良時代集落である下坂井Ⅰ遺跡(46)が位置する。堅穴建物4軒が調査され、一辺6.2mの大型堅穴建物のカマド東側には北東隅で赤彩土器片が集積していた。赤彩土器片は「赤彩球胴壺」で、口縁部に幅2cmの縦位赤彩が数条施されている。この他一辺2.5mの小型堅穴建物1軒が検出されている。下坂井Ⅱ遺跡(38)では古墳～奈良時代の一辺8mを超える大型堅穴建物1軒が検出されている。

第5図周辺の遺跡範囲に取まらなかったが、熊堂古墳群の西約2kmの地点に7世紀末から8世紀の法量遺跡が位置する。7.5×7m大型堅穴建物1軒(8世紀中頃～後半)や、2基の連鎖する方形周溝が検出されている。マウンドは西辺測定値で5.1mの隅丸方形を呈し、周溝底部との比高は30～40cmを測る。マウンド内に付属施設はなく、遺物も出土しておらず時期不明とされている。

大谷地Ⅲ遺跡の東に位置する諏訪Ⅰ遺跡(42)では方形周溝1基が検出されている。東西7m南北6.5mのほぼ正方形で深さ20～50cmである。内部施設はなく土器片が出土しているが小破片である。

諏訪Ⅰ遺跡の北東に位置する桜町Ⅲ遺跡(33)では9世紀後半～10世紀前半堅穴建物2軒が検出されているほか、大谷地Ⅲ遺跡都市計画道路山の神諏訪線道路整備事業調査区(岩手埋文2022)で出土した須恵器壺類似資料が出土している。

縄文時代の陥し穴状遺構は、大谷地Ⅲ遺跡周辺の実相寺Ⅱ遺跡(47)・山ノ神Ⅱ遺跡(48)・大谷地Ⅱ遺跡(49)・宿内遺跡(52)に集中している。大谷地Ⅲ遺跡とこれらの遺跡が囲む地点は谷地地形となっており、この谷地に集まる動物の狩猟目的で陥し穴状遺構確認遺跡が集中していると考えられる。



第5図 周辺の遺跡

第1表 周辺の遺跡名

No.	遺跡名	種別	時代	出土遺物
1	新田Ⅰ	散布地	縄文	石器
2	新田Ⅱ	散布地	縄文	石器
3	中北方丁目Ⅱ	散布地	縄文	石器
4	八幡寺跡	塚寺跡	近世	
5	上北方丁目	散布地	縄文・平安	石器
6	中北方丁目Ⅰ	散布地	縄文・近世	石器、竪立柱建物跡
7	南方丁目Ⅱ	散布地	古代	土師器
8	西本杉	集落跡	縄文・近世	土(近世)、石器(縄文)
9	花巻城跡(鳥谷ヶ崎城)	城跡跡	中～近世	堀、土塼、石川、竪立柱建物跡、礎石建物跡、溝跡、陶磁器、古銭、竪穴遺構、柱穴、土坑、井戸跡、竪穴状遺構
10	雄鳥Ⅰ	集落跡	縄文・古代	縄文土器(晩)、土師器、須恵器
11	雄鳥Ⅱ	集落跡	縄文・古代	縄文土器、石器、土師器、須恵器、竪穴住居跡、陥し穴
12	谷地	散布地	古代	土師器
13	万丁目	集落跡	縄文、古代～近世	竪穴住居跡、竪、竪立柱建物跡、縄文土器、土師器、須恵器、石器
14	南方丁目Ⅰ	散布地	古代	円形瓦溝、土師器、須恵器、陶器
15	種市	集落跡	古代・縄文	土師器、須恵器、柱穴、ピット、カマド状遺構、縄文土器、陶器、磁器
16	南方丁目Ⅱ	散布地	古代	土師器、須恵器
17	石神	集落跡	縄文・古代	縄文土器(中)、土師器、須恵器
18	藤沢	散布地	縄文・古代	縄文土器、石器、土師器
19	熊堂古墳群	古墳群	縄文・古代・古墳	方頭太刀、鏢手刀、刀子、玉鉾、古銭、土師器、須恵器、青磁碗
20	米倉	集落跡	古代	土師器、須恵器
21	古柳Ⅱ	集落跡	古代～近世	竪穴住居跡、礎石建物跡、柱穴跡、井戸跡、墓壇、土坑、土師器、須恵器、土製品
22	古柳Ⅰ(中柳・万丁目側)	城跡跡	中～近世	堀、土塼、土師器、須恵器
23	古柳Ⅲ	集落跡・城跡跡	古代・中世	土師器、須恵器、柱穴状ピット、竪穴住居跡、竪
24	古柳Ⅳ	集落跡	縄文・古代	縄文土器、土師器、須恵器、竪穴住居跡、柱穴、土坑
25	藤王塚	墳墓?		土師器(糸切紐)、須恵器
26	古柳南	集落跡	古代・縄文	土師器、須恵器、竪穴住居跡
27	松田堤	散布地	縄文	縄文土器(中)
28	下柳	城跡跡・集落跡	古代・中世	堀、土師器、磁石、縄文土器、竪穴住居跡
29	上柳Ⅱ	集落跡	古代・縄文	土師器、須恵器、竪穴住居跡、土坑、縄文土器片、石器類、鉄製品
30	上柳Ⅰ	散布地	縄文・古代	縄文土器、石器、土師器、須恵器
31	不動Ⅰ	集落跡	縄文・古代	縄文土器(後、晩期)、石器、竪穴住居跡、埋設土器、土師器
32	不動Ⅱ	集落跡・城跡跡	古代・縄文・中世	土師器、須恵器、竪穴遺構、竪穴住居跡、堀、土塼
33	桜町Ⅱ	散布地	縄文・平安	竪穴住居跡、土坑、柱穴、土師器、須恵器、縄文土器
34	桜町Ⅰ	集落跡	縄文・古代	竪穴住居跡、土師器、須恵器、縄文土器、石柵、赤埴土器、鉄製品
35	桜町東跡	空跡	近世	陶磁器、瓦片
36	杉ノ目	集落跡	縄文・平安・古代	縄文土器、石器、土師器、竪穴住居跡
37	坂井	城跡跡・古墳群	古代・中世	墳墓4基、土師器
38	下坂井Ⅱ	集落跡	縄文・古代	縄文土器(晩)、土師器、須恵器、竪穴住居跡
39	南中橋子	散布地	古代・縄文	縄文土器、土師器、須恵器
40	下橋子	散布地	古代	土師器、須恵器
41	大谷地Ⅲ	集落跡	縄文・古代	縄文土器、石器、土師器
42	諏訪Ⅰ	散布地	縄文	縄文土器、石匙、石鏃
43	実相寺Ⅰ	散布地	縄文・古代	縄文土器、土師器
44	藤田Ⅰ	散布地	縄文・古代	縄文土器、土師器、石器、須恵器
45	藤田Ⅱ	集落跡	古代	土師器、土玉
46	下坂井Ⅰ	集落跡	古代・縄文	石器、土師器、須恵器、竪穴住居跡、土師器、粘漆車
47	茨久保	散布地	縄文・古代	土師器、須恵器、縄文土器
48	実相寺Ⅱ	散布地	縄文	縄文土器、陥し穴
49	山ノ神Ⅰ	散布地	縄文	縄文土器、陥し穴
50	大谷地Ⅱ	散布地	古代	土師器、須恵器、陥し穴
51	富士大学ゲオランド	散布地	縄文	縄文土器(晩期)
52	山ノ神Ⅱ	散布地	縄文	縄文土器
53	宿内	散布地	縄文・旧石器	縄文土器、陥し穴、尖頭器、台石、ハンマーストーン
54	小中野	散布地	縄文	石匙
55	大森	散布地	縄文・古代	石器、縄文土器、土師器、溝跡
56	熊倉森	城跡跡	平安・中世	平場、葦状礎石
57	森下	集落跡	平安・縄文	土師器、須恵器、赤埴土器、土坑、竪穴住居跡
58	唐戸崎Ⅲ	集落跡	平安	土師器
59	唐戸崎	集落跡	縄文・平安	縄文土器(中期)、土師器、須恵器、漆碗、竪穴住居跡
60	飯巻坂	空跡	明治	築道具、磁器片
61	唐戸崎Ⅱ	散布地	縄文	縄文土器、土師器
62	飯巻	散布地	縄文・平安	縄文土器、土師器
63	内野	集落跡	縄文・古代	竪穴住居跡、溝状、竪穴、井戸、土師器、須恵器
64	飯巻Ⅱ	散布地	中世・縄文	縄文土器

参考文献

- (財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 1986 『古館Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第103集
- (公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2022 『令和3年度発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第735集
- 花巻市教育委員会 1990 『花巻市熊堂古墳群平成元年度発掘調査概報』
- 花巻市教育委員会 1992 『花巻遺跡群－平成3年度発掘調査概報－(熊堂古墳群、法量遺跡、深訪Ⅰ遺跡)』
- 花巻市教育委員会 1993 『花巻遺跡群－平成4年度発掘調査概報－(似内遺跡、根子館、法額遺跡、下福遺跡)』
- 花巻市教育委員会 1997 『平成8年度市内遺跡発掘調査報告書(久田野Ⅱ遺跡・下坂Ⅰ遺跡・花巻城三之丸跡)』花巻市埋蔵文化財調査報告書第17集
- 花巻市教育委員会 2001 『花巻市内遺跡発掘調査報告書(久田野Ⅱ遺跡・熊堂古墳群・下坂Ⅰ遺跡・古館Ⅰ遺跡・花巻城跡)』花巻市埋蔵文化財調査報告書第25集
- 花巻市教育委員会 2002 『不動Ⅱ遺跡第4次発掘調査報告書』花巻市埋蔵文化財調査報告書第28集
- 花巻市教育委員会 2003 『不動Ⅱ遺跡第5次発掘調査報告書』花巻市埋蔵文化財調査報告書第30集
- 花巻市教育委員会 2004 『不動Ⅱ遺跡第6～9次発掘調査報告書』花巻市埋蔵文化財調査報告書第32集
- 花巻市教育委員会 2005 『花巻市内遺跡発掘調査報告書(サイノ神遺跡・古館Ⅳ遺跡・花巻城跡・先屋遺跡・蟹沢Ⅱ遺跡・中野Ⅱ遺跡)』花巻市埋蔵文化財調査報告書第33集
- 花巻市教育委員会 2005 『不動Ⅱ遺跡第10～13次発掘調査報告書』花巻市埋蔵文化財調査報告書第34集
- 花巻市教育委員会 2006 『花巻市内遺跡発掘調査報告書(種市遺跡・花巻城・熊堂古墳群)』花巻市埋蔵文化財調査報告書第35集
- 花巻市教育委員会 2007 『花巻市内遺跡発掘調査報告書(古館Ⅳ遺跡・胡四王山遺跡)』花巻市埋蔵文化財調査報告書第3集
- 花巻市教育委員会 2007 『不動Ⅱ遺跡第14次発掘調査報告書』花巻市埋蔵文化財調査報告書第2集
- 花巻市教育委員会 2008 『不動Ⅱ遺跡第15～16、18～21次発掘調査報告書』花巻市埋蔵文化財調査報告書第7集
- 花巻市教育委員会 2009 『不動Ⅰ遺跡第6～8時発掘調査報告書』花巻市埋蔵文化財調査報告書第8集
- 花巻市教育委員会 2016 『平成25年度調査花巻市内遺跡発掘調査報告書(板町Ⅲ遺跡・寺林城跡・高木中館遺跡・雄鳥Ⅱ遺跡・花巻城跡・法額遺跡)』花巻市埋蔵文化財調査報告書第19集
- 花巻市教育委員会 2018 『賃貸住宅建設関連遺跡発掘調査報告書(平成28年度調査不動Ⅰ遺跡)』花巻市埋蔵文化財調査報告書第23集

Ⅲ 調査と整理の方法

1 野外調査

(1) 調査区

調査で生じる排土置き場を調査区外に確保することができなかったため、3D25～5D10グリッドを結んだラインを境に東区と西区に分け、排土置き場を反転させて調査を行った。そのため、遺構検出時に出土した資料については区名で取り上げたものがある。なお、3D25～5D10グリッド上には使用中の道路があり、調査で通行止めにするのができなかったため、反転する際に道路の付け替えを行い、調査終了時には再度道路を付け替えて元の道路に戻した。

(2) グリッド設定

小グリッドを4×4mとし、小グリッドを25個組み合わせると20×20mの大グリッドを設定した(第6図)。遺構外の遺物取り上げは、小グリッドを基本とした。

(3) 粗掘り・遺構検出

調査区内に任意の試掘トレンチを設定し、土層の堆積状況と遺構検出面を確認した。その後遺構確認面まで重機で掘り下げ、鋤簾等を用いて遺構検出作業を行った。

(4) 遺構名の登録

野外調査

遺構種別毎に略号を用い、堅穴建物S I 01～、土坑S K 01～などと命名した。遺構略号は以下のとおりである。

堅穴建物：S I、住居状遺構：S I、掘立柱建物：S B、焼土：S N、土坑：S K、焼成遺構・埋設土器：S X、溝跡：S D、周溝：S Z、柱穴状小土坑：P

報告書掲載

野外調査時に使用した遺構名はそのまま使用した。

(5) 遺構精査・遺物の取り上げ

精査は遺構の規模に応じて2分法・4分法を用いて断面観察ベルトをのこして埋土の堆積状況を記録した。遺構遺物の大半は上位(上層)・下位(下層)・埋土一括とした。遺構外の遺物については出土グリッド・層序を記録した。

(6) 遺構の実測

遺構の平面実測は、電子平板(㈱キュービック「遺構くん」システム)を用いて測量を行った。断面実測は手測り実測による。

(7) 記録撮影

写真撮影は、6×4.5判（MAMIYA645）1台とデジタル一眼レフカメラ（CanonEos5D）1台を使用した。各遺構の全景・断面・遺物出土状況を中心に撮影を行い、調査区全体はドローンによる空撮を行った。

（8）野外調査経過

前述のとおり、調査区周辺地に残土置き場を確保することができず、さらに現道2箇所の切り替えし調査が必要であったことから調査区を大きく東西に分けて表土掘削・精査を行った。また、精査後に現道の復旧工事を行った。

4月8日 資材搬入・設営

4月9日 東区の人力による試掘調査

4月19日～27日 東区の重機による表土掘削

4月19日 東区の人力による遺構検出

4月23日 表土黒土の扱いについて現地協議

4月28日～ 東区遺構精査

5月6・7日 基準点測量

5月13日 岩手日報社取材

5月17・18日 新任者研修

6月21日 東区の部分終了確認

6月22日 西区の人力による試掘調査

7月1日 東区のドローンによる空撮

7月5日 プレハブ前道路（1G～Jグリッド）を東区内に付け替え工事

7月6日 プレハブ前道路下西半を重機で表土掘削

7月6日 プレハブ前道路下西を人力による遺構検出

7月7・8日 東区西区境界の道路付け替え工事

7月9日～13日・16～20日 調査区西区を重機で表土掘削

7月6日 調査区西区を人力による遺構検出

7月7日 プレハブ前道路下西を遺構精査。陥し穴状土坑2基及びSD01を西端で検出。

7月14日 プレハブ前道路下西は図面及び写真により終了確認

7月14日 プレハブ前道路下西を重機で埋め戻し

7月15日 プレハブ前道路下東を重機で表土掘削

7月16日 プレハブ前道路下東の人力による遺構検出

7月17日 プレハブ前道路下東の遺構精査

7月21日 西区の遺構精査開始

8月19日 SD01の調査区外・事業用地内への延伸が想定されることから、委託者・生涯学習文化財課・埋文センターで協議。山の神諏訪線工事区内については別事業として発掘調査を行い、略報本報告とすることを確認。

8月25日 会計事務所現地視察

9月15日 岩手日報社取材

9月28日 西区終了確認

9月29日 西区のドローンによる空撮

10月4日～13日 西区東区境界の道路復旧

10月15日 撤収

2 室内整理

(1) 遺物整理

土器類は接合後に器形を復元できる個体を中心に遺構毎の器種組成を掲載できるように努めた。また、遺構に伴う個体を中心に登録・図化を行った。石器については外部委託による実測図を掲載した。

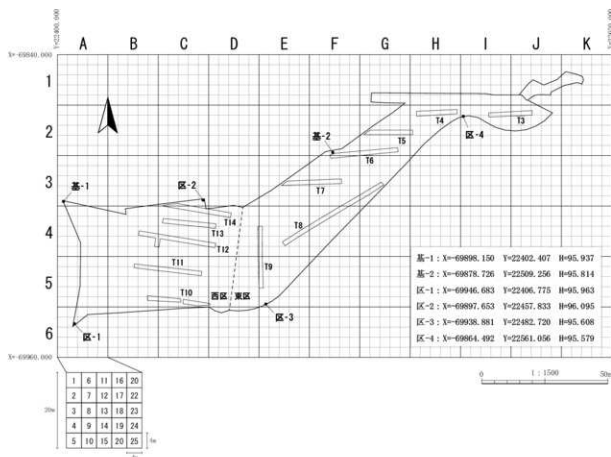
(2) 遺構整理

遺構の平面図は遺構くん上で編集作業を行った。断面図は原図をスキャナーで読み込み、パソコン上で平面図との整合性を確認し、デジタルトレースを行った。

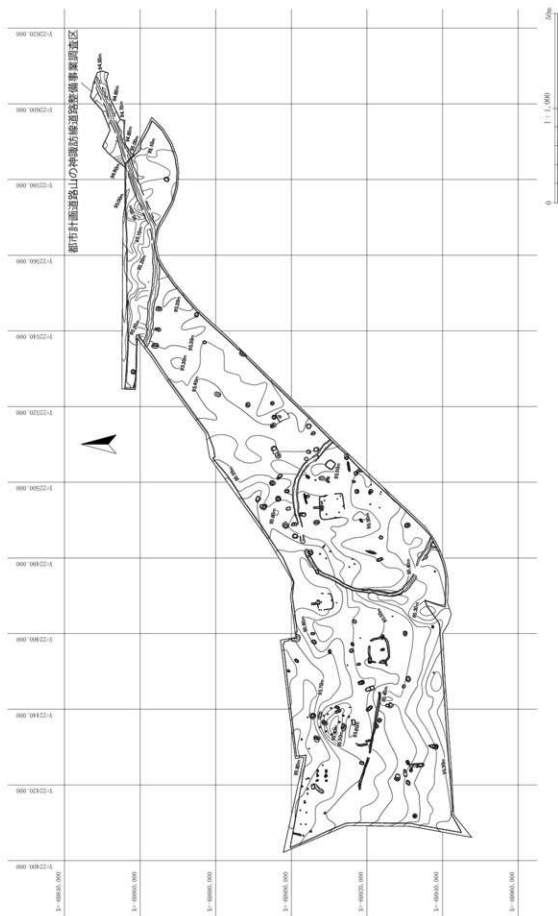
(3) 図版作成

遺構毎に平面・断面図を作成し掲載した。縮尺は竪穴建物・住居状遺構：1/60を基本とした。図版には縮尺率を示すスケールと方位を附した。遺物の縮尺は、縄文・古代土器：1/3、石器2/3・1/3、金属製品1/2、銭貨：1/1としている。図版には縮尺率を表すスケールを附している。

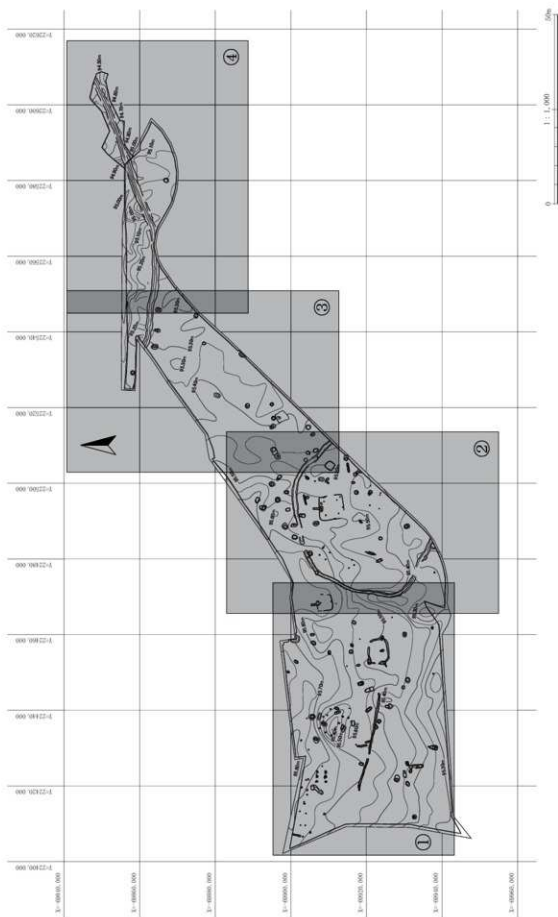
なお、遺物図版と遺物写真図版の掲載番号は同一である。



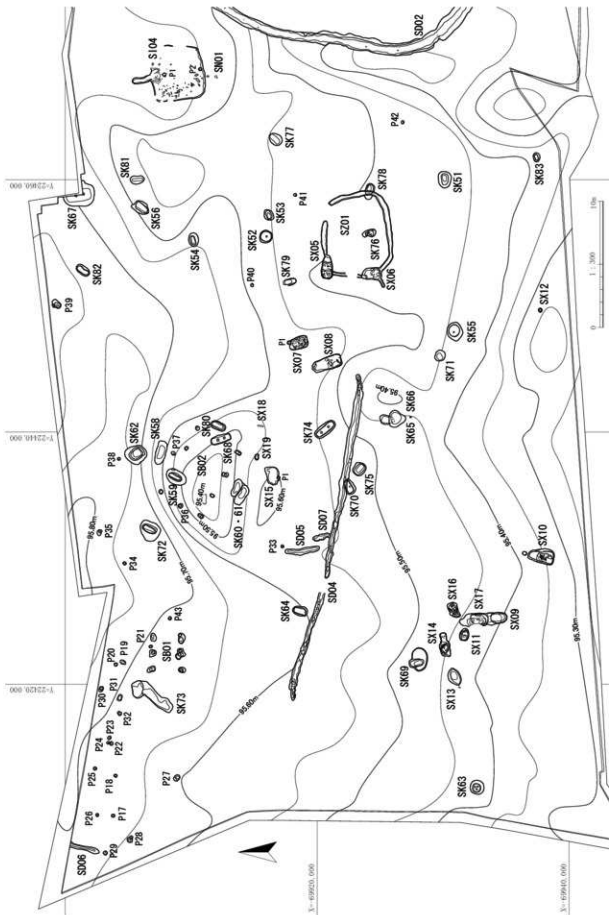
第6図 グリッド配置図



第7図 遺構配置図



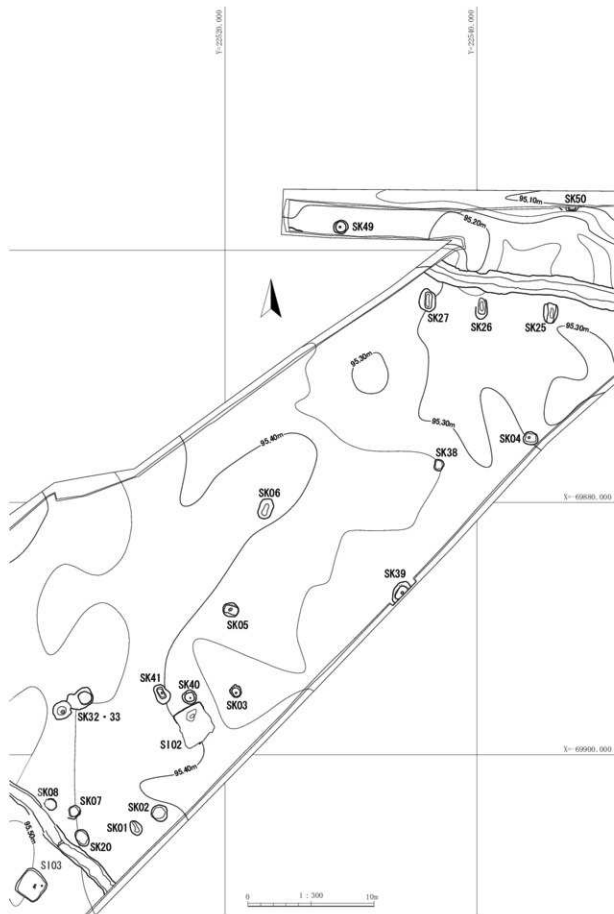
第8図 分割図



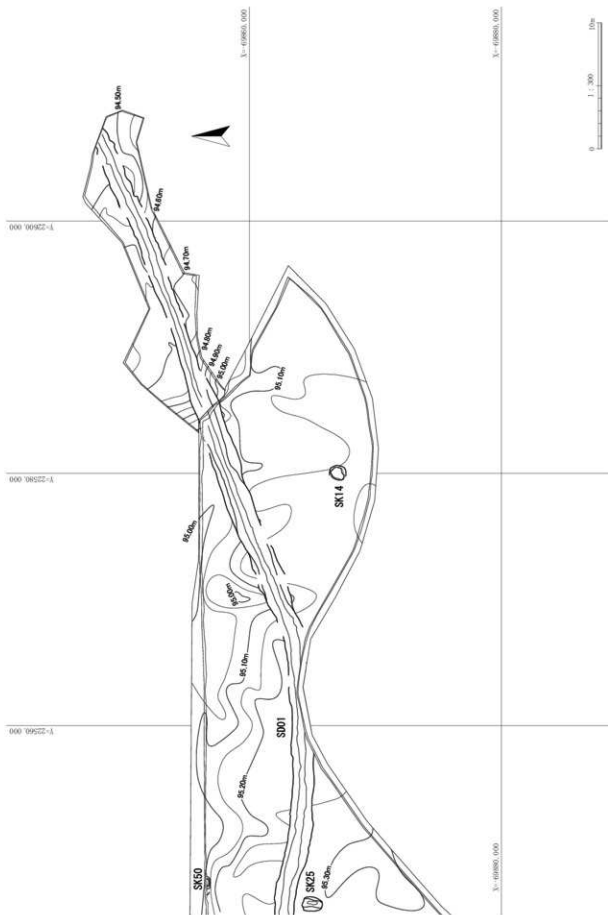
第9図 遺構配置図①



第10図 遺構配置図②

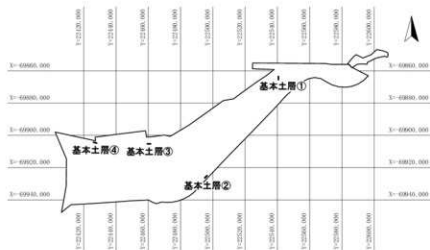


第11図 遺構配置図③



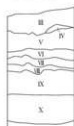
第12図 遺構配置図④

基本土層



基本土層①

A-A', L=95,300m

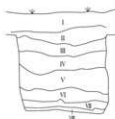


基本土層① A-A'

- II 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性：やや強 締り：密
- IV 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性：やや強 締り：密 直径1mm炭化物粒1%含む
- V 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性：強 締り：密
- VI 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性：強 締り：密 直径1mm炭化物粒3%含む
- VII 10YR6/9 明黄褐色シルト 粘性：強 締り：密 直径1mm炭化物粒5%含む
- VIII 10YR6/8 明黄褐色シルト 粘性：強 締り：密
- IX 2.5YR/4 に近い黄褐色シルト 粘性：強 締り：密 鉄分多く含むラミナ
- X 2.5YR/4 に近い黄褐色シルト 粘性：強 締り：密 より鉄分多く含むラミナ

基本土層②

B-B', L=96,000m



基本土層② B-B'

- I 10YR3/2 黒褐色シルト 粘性：やや弱 締り：やや強 直径2mm褐色土粒3%含む
- II 10YR4/4 褐色シルト 粘性：弱 締り：疎
- III 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性：強 締り：やや強
- IV 10YR4/6 褐色シルト 粘性：強 締り：やや強
- V 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性：強 締り：やや密
- VI 10YR5/4 に近い黄褐色シルト 粘性：強 締り：密
- VII 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性：強 締り：密 鉄分含む
- VIII 10YR6/6 明黄褐色シルト 粘性：強 締り：密

基本土層③

C-C', L=95,800m



基本土層③ C-C'

- II 10YR4/4 褐色シルト 粘性：強 締り：疎
- III 10YR5/6 黄褐色シルト～10YR4/6 褐色シルト 粘性：強 締り：やや強
- IV 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性：強 締り：やや強
- V 10YR4/6 褐色シルト 粘性：強 締り：やや強
- VI 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性：強 締り：やや密
- VII 10YR6/4 に近い黄褐色シルト 粘性：強 締り：やや強
- VIII 2.5YR/6 黄褐色シルト 粘性：強 締り：密
- IX 2.5Y7/6 明黄褐色シルト 粘性：強 締り：密
- X 5Y7/3 浅黄褐色シルト 粘性：強 締り：密

基本土層④

D-D', L=96,300m



基本土層④ D-D'

- Ia 10YR2/4 暗褐色シルト 粘性：弱 締り：疎
- Ib 10YR2/4 暗褐色シルト 粘性：弱 締り：やや密
- III 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性：強 締り：やや強
- IV 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性：強 締り：密
- Va 10YR4/6 褐色シルト 粘性：強 締り：密
- Vb 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性：強 締り：密
- VI 10YR6/6 明黄褐色シルト 粘性：強 締り：密



第13図 基本土層

IV 調査内容

1 基本層序

(1) 基本層序 (第13図)

調査区の現況は畑地で、後世の攪乱が著しい。表土下はⅢ層黄褐色土が露出する地点がほとんどで、縄文時代～古代の包含層はほぼ認められない。

I層 表土

Ⅱ層 暗褐色土 層厚5cm以下 調査区のはほぼ全域で確認することができない。

Ⅲ層 黄褐色土 遺構検出面。堅穴建物はⅢ層を床面としている。

Ⅳ層 黄褐色土 層厚15～20cm

V層 明黄褐色土 層厚15～20cm

Ⅵ層 にぶい黄褐色土 層厚20～40cm 地下水脈が通る地点が多く、鉄分が多く沈着している。

2 検出遺構・出土遺物

(1) 堅穴建物

SI01 (第14・15図、写真図版2・3)

〔位置・検出状況〕 調査区中央4E18グリッド付近、X=-69906.000・Y=22492.000付近に位置する。表土直下Ⅲ層上面で検出した。

〔形状・規模〕 隅丸方形を呈する。南北6.5m・東西6.2mを測る。

〔埋土・堆積状況〕 黒色～暗褐色土の自然堆積を呈する。I層は表土で、後世の耕作等により削平されている。

〔カマド〕 北壁中央に構築されている。カマド煙道入口両壁に扁平礫が縦に据えられていた。それ以外の礫はカマド周辺に散在しており、原位置を保っていない。燃焼部は南北39cm東西58cmで5cmの深さまで被熱が及んでいる。

〔付属施設〕 柱穴状小土坑を8個検出している。P1～3・5・6・7は柱穴と考えられる。P4は浅い凹みである。P8はカマド西袖精査中に検出した。埋土は柱穴と共通する。

〔重複・関連遺構〕 重複は認められない。

〔出土遺物〕 (第46・56図、写真図版43・48) 土器が1,278.1g出土している。北壁際カマドと東壁の中間から土師器坏(内黒)が2点並んだ状態で出土した。土器1は倒立位、土器2は正立位の状態で出土した。燃焼部からは土師器甕が出土した。煙道埋土上位から出土した破片と接合しており、カマドに置かれていたものが破損して散在したと考えられる。

〔遺構の時期〕 出土遺物から8世紀後半と考えられる。(八木)

SI02 (第16図、写真図版3・4)

〔位置・検出状況〕 調査区中央東寄り3F25グリッド付近、X=-69897.000・Y=22515.000付近に位置する。表土直下Ⅲ層上面で検出した。

〔形状・規模〕 壁が残存する北壁側の形状は隅丸方形を呈する。東西2.45m・南北3mを測る。

〔埋土・堆積状況〕 耕作による削平が著しく、確認できた暗褐色土埋土はごく僅かである。

〔カマド〕床面北側中央寄りで燃焼部を確認した。この燃焼部に対応する煙道等のカマド関連施設は確認できていない。燃焼部は43×22cmで、その周辺110×70cmの範囲で焼土粒を多く含む褐色土が広がっている。

〔付属施設〕認められない。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕（第46図、写真図版43）土器が601.3g出土し、T8内から破片が多く出土している。

〔遺構の時期〕出土遺物から8世紀後半と考えられる。（八木）

SI04（第17・18図、写真図版4・5）

〔位置・検出状況〕調査区中央北西4D13グリッド付近、X=-69906.000・Y=22466.000付近に位置する。表土直下Ⅲ層上面で検出した。

〔形状・規模〕平面形状は隅丸方形を呈する。東西4.45m・南北4.3mを測る。

〔埋土・堆積状況〕1層黒色土、2層暗褐色土を確認した。自然堆積の様相を呈する。

〔カマド〕北壁中央に構築されている。燃焼部は52×52cmで両袖に芯材は認められない。煙道部は長さ1.48m・幅42cmである。

〔付属施設〕床面カマド正面と南壁中央で柱穴状小土坑2個を検出した。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕（第47・56図、写真図版43・44・48）土器が3,123.4g出土している。竪穴建物西側床面付近で土器破片を多く検出した。土器片は「赤彩球胴甕」があり、SX10と接合する破片も出土している。カマド燃焼部周辺及び燃焼部の攪乱から黒曜石片が3点出土している。産地は零石産との分析結果を得ており、第V章において詳述する。その他、床面南西において石皿が1点出土している。

〔遺構の時期〕出土土器から、8世紀中頃と考えられる。（八木）

SI03（第18図、写真図版6）

〔位置・検出状況〕調査区中央4F8グリッド付近、X=-69909.000・Y=22506.000付近に位置する。表土直下Ⅲ層上面で検出した。

〔形状・規模〕平面形状は隅丸方形を呈する。長軸2.5m×短軸2.15mを測る。

〔埋土・堆積状況〕黒褐色～暗褐色土で構成される。5層は壁崩落土と考えられる。1層上面には灰白色火山灰を確認した。

〔カマド〕認められない。

〔付属施設〕認められない。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕（第47図、写真図版44）土器が166g出土している。

〔遺構の時期〕出土土器から8世紀後半と考えられる。（八木）

（2）掘立柱建物

SB01（第19図、写真図版7）

〔位置〕西区のもっとも西側、X=-69908.000・Y=22420.000付近に位置する。遺構密度の低いエリアにある。

〔検出・重複〕調査では削平されたⅣ層上面で不整な円～方形の黒褐色の柱穴輪郭を6個検出した

(P1～P6と呼称)。

〔形態・規模〕柱穴は比較的整然と並び、東西方向に桁方向を持つ梁行1間(1.8m)、桁行2間(2.4m)の東西棟であると推定される。P1～3の3個の柱穴は北側に東西方向を指向して並び、約70～80cmの間隔を開け掘り込まれている。中間のP2は深さ35cmであるが、隅柱となるP1とP3はいずれも50cmをわずかに超える深さがあり、両端が深くなる構造である。P4～6の3個の柱穴は南側に東西方向を指向して並ぶ。P5とP6はそれぞれ2箇所深くなる箇所があり、いずれが本来の柱堀方であるか判然としにくい。ただし、P5はP4とP6の中間地点に位置する下がりがあり、本来の柱を据えた穴である可能性が高い。この箇所は深さも約30cmであり、深さの比較では北側で対になるP2と親和的である。これら柱穴はいずれも上半は円や不整な楕円形であるが、下位は平面方形を呈する堀方である。特に、P3およびP4の堀方は方形基調が顕著であり、意図して方形に掘り込まれた可能性が高い。

〔壁面・底面〕壁面はいずれの柱穴も上部は耕作や植物等により形状が乱されているが、おおむね直立に立ち上がる。また、P3・4では底面に柱当の沈み込みと硬化が明瞭に確認できたため、柱が据えられ、ある程度の加重が底面にあったものと考えられる。

〔堆積状況〕暗褐色および黒褐色シルトが堆積している。明瞭な柱堀方と柱痕跡の別が認められたのはP4のみである。

〔出土遺物〕(第48図、写真図版44)P1から28.4g、P3から39.3g、P5から46.7gの土器が出土している。

〔時期・性格〕柱穴の並び、柱の据えられた痕跡などから掘立柱建物であると考えられるが、柱間隔が短く、規模も非常に小さいため通常の掘立柱建物とは考えられない。特殊な機能を有する建物であると考えられる。(福島)

SB02 (第20図、写真図版9)

〔位置〕西区中央やや西寄り、X=-69909.000・Y=22435.000付近に位置する。

〔検出・重複〕削平されたIV層上面で8個の柱穴(P1～8)を検出した。検出した各柱穴はいずれも黒褐色の円形プランである。縄文時代の陥し穴(SK59)とP3が重複しているが、陥し穴の調査途中で柱穴を検出したため作業上前後したが、P3はこれを切っていることを確認している。また、一部P7付近は、試掘トレンチによってその他の検出面より下がっている。

〔形態・規模〕検出した各柱穴は、ほぼ等間隔を保ち整然と並び、東西方向に桁方向を持つ梁行1間(3.6m)、桁行3間(5.66m)の東西棟であると推定される。柱穴配置は梁間1間であるが、2間分の寸法である。いずれの柱間寸法も心々間でおおよそ1.8mであることから中近世以降の尺貫法を用いた値に則している可能性が考えられる。

〔壁面・底面〕各柱穴壁面は直線的に直立するように立ち上がる。ただし、対になるP3・4の壁面は、大半が攪乱・削平等で失われている。底面は比較的丸みを有する凹面であり、柱穴中央部に柱が据えられていたものと考えられる。

〔堆積状況〕黒褐色シルトを主体とする堆積が認められる。柱痕跡と柱堀方の別はP8で確認できるが、その他は明瞭な状況ではない。P5は、上中下の3層の堆積が認められ、柱が失われた後、自然流入したものと考えられる。中層より出土した土師器片もこの際に流入したものと考えられ、建物機能時には内包されていなかった可能性が高い。

〔出土遺物〕P5から8世紀代の土師器片が出土している。

〔時期・性格〕時期は古代以降であり、柱穴の配置から梁行2間分の1間、桁行3間の簡素な側柱建物である。柱間寸法が中世以降の尺貫法に近いことから中世以降の居住用の建物である可能性が考えられる。(福島)

SB03 (第19図、写真図版8)

〔位置・検出状況〕調査区中央北寄り4E3グリッド付近、X=-69908.000・Y=22480.000付近に位置する。表土直下Ⅲ層上面で検出した。

〔形態・規模〕梁桁1間×1間である。P2～4・14で構成され、P14の南東にP1が位置する。

〔壁面・底面〕柱穴状小土坑の規模は30cm程度で、底面は硬く締まっている。P14には柱痕が認められる。

〔堆積状況〕暗褐色土が堆積している。

〔出土遺物〕(第48図、写真図版44) P2から土器2.9gが出土している。P1はSB03を構成するものではないが、埋土から土玉が4点まとまって出土しており、SB03付属施設として併せて記述する。

〔時期・性格〕堆積土からSI01及びSD02と同時期と考えられる。(八木)

(3) 焼 土

SN01 (第20図、写真図版10)

〔位置・検出状況〕SI04南の4D8グリッド、X=-66912.000・Y=22468.500付近に位置する。表土直下Ⅲ層上面で検出した。検出時はSI04のカマドに伴う可能性を想定したが、独立した焼土と判断した。

〔形態・規模〕22×18cmで、楕円形を呈する。SN01に伴う遺構は確認していない。

〔出土遺物〕認められない。

〔時期・性格〕SN01は倒木痕の上に構築されている。倒木痕の堆積状況を見ると基本土層ではほとんど確認できていないⅡ層暗褐色土が堆積している。2・3層は基本土層Ⅱ～Ⅳ層が混在していると考えられる。従って、SN01は縄文時代～古代に属すると考えられる。(八木)

(4) 土 坑

SK01 (第21図、写真図版10)

〔位置・検出状況〕4F17グリッド付近、X=-69905.000・Y=22512.000付近に位置する。表土直下Ⅲ層上面で検出した。

〔形状・規模〕楕円形を呈する。長軸120cm・短軸90cmを測る。

〔埋土・堆積状況〕黒褐色土が堆積している。楕円形陥し穴状遺構の可能性を想定したが、認められなかった。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕不明(八木)

SK02 (第21図、写真図版10)

〔位置・検出状況〕4F17グリッド付近、X=-69904.000・Y=22514.000付近に位置する。表土直下Ⅲ層上面で検出した。

〔形状・規模〕不整形を呈する。東西125cm×南北122cmを測る。

〔埋土・堆積状況〕黒褐色土が堆積している。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕不明（八木）

SK03（第21図、写真図版10）

〔位置・検出状況〕3G4グリッド、 $X = -69895.000$ ・ $Y = 22520.000$ 付近に位置する。表土直下Ⅲ層上面で検出した。

〔形状・規模〕不整形円形を呈する。規模は、検出面は 90×90 cm、底面は 84×75 cm、深さ68cmである。

〔埋土・堆積状況〕埋土下位は褐色土と黒色～暗褐色シルトが互層をなす。3層は壁崩落土と考えられる。自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕底面に副穴が1箇所認められる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細は不明である。（八木）

SK04（第21図、写真図版10・11）

〔位置・検出状況〕2H9グリッド、 $X = -69874.000$ ・ $Y = 22544.000$ 付近に位置する。表土直下Ⅲ層上面で検出した。

〔形状・規模〕不整形方形を呈する。規模は、検出面は 119×102 cm、底面は 83×65 cm、深さ68cmである。

〔埋土・堆積状況〕埋土下位は褐色土と黒褐色～暗褐色土が互層をなす。自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕底面に副穴が1箇所認められる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細は不明である。（八木）

SK05（第21図、写真図版11）

〔位置・検出状況〕3G3グリッド、 $X = -69888.000$ ・ $Y = 22519.000$ 付近に位置する。表土直下Ⅲ層上面で検出した。

〔形状・規模〕不整形方形を呈する。規模は、検出面は 128×110 cm、底面は 108×75 cm、深さ70cmである。

〔埋土・堆積状況〕埋土下位は褐色土と黒色土～暗褐色土が互層をなす。自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕底面に副穴が1箇所認められる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細は不明である。（八木）

SK06（第21図、写真図版11）

〔位置・検出状況〕3G1グリッド、 $X = -69880.000$ ・ $Y = 22524.000$ 付近に位置する。表土直下Ⅲ層上面で検出した。

〔形状・規模〕楕円形を呈する。規模は、検出面は 168×108 cm、底面は 98×42 cm、深さ75cmである。

〔埋土・堆積状況〕黒色土～暗褐色土が自然堆積の状況を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細は不明である。（八木）

SK07（第22図、写真図版11）

〔位置・検出状況〕4F12グリッド、X=-69905.000・Y=22509.000付近に位置する。表土直下Ⅲ層上面で検出した。

〔形状・規模〕円形を呈する。規模は、検出面は100×92cm、底面は77×68cm、深さ38cmである。

〔埋土・堆積状況〕埋土下位に褐色土、上位に黒褐色～暗褐色土が堆積している。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細は不明である。（八木）

SK08（第22図、写真図版11）

〔位置・検出状況〕4F6グリッド、X=-69904.000・Y=22507.000付近に位置する。表土直下Ⅲ層上面で検出した。

〔形状・規模〕円形を呈する。規模は、検出面は98×90cm、底面は96×78cm、深さ26cmである。

〔埋土・堆積状況〕黒褐色～暗褐色土が堆積している。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細は不明である。（八木）

SK09（第22図、写真図版12）

〔位置・検出状況〕3E20グリッド、X=-69895.500・Y=22496.000付近に位置する。表土直下Ⅲ層上面で検出した。

〔形状・規模〕円形を呈する。規模は、検出面は130×128cm、底面は110×110cm、深さ90cmである。

〔埋土・堆積状況〕豊稔埋土下位は褐色土と暗褐色土が互層をなしている。埋土中心部は黒褐色土が堆積している。3層は副穴から続く黒褐色土で、非常にボソボソしている。

〔重複・関連遺構〕底面に副穴が1つ認められる。

〔出土遺物〕認められない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細は不明である。（八木）

SK10（第22図、写真図版12）

〔位置・検出状況〕3E25グリッド、X=-69898.000・Y=22498.000付近に位置する。表土直下Ⅲ層上面で検出した。

〔形状・規模〕長方形を呈する。規模は、検出面は125×83cm、底面は80×40cm、深さ107cmである。

〔埋土・堆積状況〕埋土下位は褐色土と暗褐色土が互層をなしている。埋土上位は黒色～暗褐色土が堆積している。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細は不明である。（八木）

SK11（第22図、写真図版12）

〔位置・検出状況〕4E6グリッド、X=-69901.000・Y=22485.000付近に位置する。表土直下Ⅲ層上面で検出した。

〔形状・規模〕方形を呈する。規模は、検出面は145×108cm、底面は115×80cm、深さ87cmである。

〔埋土・堆積状況〕黒褐色～黒色土が自然堆積している。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細は不明である。（八木）

SK12（第22図、写真図版12）

〔位置・検出状況〕5E1グリッド、X=-69922.000・Y=22482.000付近に位置する。表土直下Ⅲ層上面で検出した。

〔形状・規模〕溝形を呈する。規模は、検出面は216×64cm、底面は300×18cm、深さ60cmである。

〔埋土・堆積状況〕再下面に黒色土が堆積し、その上位に褐色崩落土が重なる。埋土上位は黒褐色～暗褐色土が堆積している。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕認められない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細は不明である。（八木）

SK13（第23図、写真図版13）

〔位置・検出状況〕5E21グリッド、X=-69920.000・Y=22497.000付近に位置する。表土直下Ⅲ層上面で検出した。

〔形状・規模〕不整形を呈する。規模は140×102cmで、深さは30cmである。

〔埋土・堆積状況〕黒色～暗褐色土が堆積している。

〔重複・関連遺構〕底面に32×32cm・深さ15cmの副穴が認められる。

〔出土遺物〕（第48図、写真図版44）土器が1,254g出土している。埋土中から土師器杯・甕の破片が多く出土している。

〔遺構の時期〕出土土器から、8世紀後半と考えられる。（八木）

SK14 (第23図、写真図版13)

〔位置・検出状況〕2I22グリッド、X=-69866.000・Y=22581.000付近に位置する。

〔形状・規模〕長方形を呈する。規模は、検出面は132×115cm、底面は118×90cm、深さは67cmである。

〔埋土・堆積状況〕最下層13層は灰黄褐色土で地下水の影響を受けている。壁際には壁崩落土を堆積させながら、黒褐色～暗褐色土が自然堆積している。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕認められない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細は不明である。(八木)

SK15 (第23図、写真図版13)

〔位置・検出状況〕3E15グリッド、X=-69897.500・Y=22488.500付近に位置する。

〔形状・規模〕長方形を呈する。規模は、検出面は160×140cm、底面は100×78cm、深さ108cmである。

〔埋土・堆積状況〕埋土下位は褐色土と黒色～暗褐色土が互層をなしている。埋土上位は黒色～黒褐色土が堆積している。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細は不明である。(八木)

SK16 (第23図、写真図版13)

〔位置・検出状況〕3E20グリッド、X=-69898.500・Y=22492.000付近に位置する。

〔形状・規模〕楕円形を呈する。規模は120×77cm、深さは23cmである。

〔埋土・堆積状況〕底面壁際に褐色土が認められ、黒褐色～暗褐色土が主体で堆積している。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕不明である。(八木)

SK17 (第23図、写真図版14)

〔位置・検出状況〕4F5グリッド、X=-69916.000・Y=22501.000付近に位置する。

〔形状・規模〕不整形を呈する。規模は85×70cm、深さは26cmである。

〔埋土・堆積状況〕暗褐色土が堆積している。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕(第48図、写真図版44)土器が383.2g出土している。土師器坏・甕破片が多い。

〔遺構の時期〕出土土器から8世紀後半と考えられる。(八木)

SK18 (第23図、写真図版14)

〔位置・検出状況〕5E6グリッド、X=-69923.000・Y=22485.000付近に位置する。

〔形状・規模〕不整形を呈する。規模は98×98cm、深さは14cmである。

〔埋土・堆積状況〕暗褐色土単層である。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕不明である。（八木）

SK19（第23図、写真図版14）

〔位置・検出状況〕4E15グリッド、 $X = -69919.000 \cdot Y = 22490.000$ 付近に位置する。

〔形状・規模〕楕円形を呈する。規模は 102×50 cm、深さは60cmである。

〔埋土・堆積状況〕黒褐色土単層である。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕（第49図、写真図版44）土器が15.4g出土している。

〔遺構の時期〕不明である。（八木）

SK20（第23図、写真図版14）

〔位置・検出状況〕4F20グリッド、 $X = -69906.000 \cdot Y = 22509.000$ 付近に位置する。

〔形状・規模〕楕円形を呈する。規模は 138×98 cm、深さ26cmである。

〔埋土・堆積状況〕自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕（第49図、写真図版44）土器が11.7g出土している。

〔遺構の時期〕不明である。（八木）

SK21（第24図、写真図版15）

〔位置・検出状況〕4E25グリッド、 $X = -69918.000 \cdot Y = 22497.000$ 付近に位置する。

〔形状・規模〕円形を呈する。規模は、検出面は 102×108 cm、底面は 82×78 cm、深さは65cmである。

〔埋土・堆積状況〕埋土下位は褐色土と黒色～黒褐色土が互層をなす。埋土上位は黒褐色土～暗褐色土が自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕底面に副穴が1つ認められる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK22（第24図、写真図版15）

〔位置・検出状況〕4F5グリッド、 $X = -69916.000 \cdot Y = 22502.000$ 付近に位置する。

〔形状・規模〕円形を呈する。規模は、検出面は 101×90 cm、底面は 74×73 cm、深さは67cmである。

〔埋土・堆積状況〕壁際底面付近に褐色土崩落土が認められる自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕底面に副穴が1つ認められる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK23 (第24図、写真図版15)

〔位置・検出状況〕5E13グリッド、X=-69930.000・Y=22487.500付近に位置する。

〔形状・規模〕方形を呈する。規模は、検出面は150×120cm、底面は80×58cm、深さは80cmである。

〔埋土・堆積状況〕埋土下位は褐色土と暗褐色土が互層をなす。埋土上位は黒褐色～暗褐色土が自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕底面に副穴が1つ認められる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。(八木)

SK24 (第24図、写真図版15)

〔位置・検出状況〕4F2グリッド、X=-69907.000・Y=22501.500付近に位置する。

〔形状・規模〕楕円形を呈する。規模は、検出面は145×100cm、底面は90×33cm、深さは80cmである。

〔埋土・堆積状況〕黒褐色～暗褐色土が自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代と考えられる。(八木)

SK25 (第24図、写真図版16)

〔位置・検出状況〕2H7グリッド、X=-69864.500・Y=22546.500付近に位置する。

〔形状・規模〕楕円形を呈する。規模は、検出面は160×110cm、底面は75×23cm、深さは137cmである。

〔埋土・堆積状況〕埋土下位にはぶい黄褐色土と黒褐色～暗褐色土が互層をなす。埋土上位は黒褐色～暗褐色土が自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。(八木)

SK26 (第24図、写真図版16)

〔位置・検出状況〕2H2グリッド、X=-69864.000・Y=22541.000付近に位置する。

〔形状・規模〕楕円形を呈する。規模は、検出面は170×90cm、底面は78×23cm、深さは138cmである。

〔埋土・堆積状況〕埋土下位には褐色土崩落土が含まれる自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。(八木)

SK27 (第25図、写真図版16)

〔位置・検出状況〕2G17グリッド、X=-69863.000・Y=22535.500付近に位置する。

〔形状・規模〕楕円形を呈する。規模は、検出面は155×130cm、底面は104×22cm、深さは148cmである。
〔埋土・堆積状況〕にぶい黄褐色土と暗褐色土が互層をなす。埋土上位には黒褐色土が自然堆積している。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK28（第25図、写真図版16）

〔位置・検出状況〕4F5グリッド、X=-69918.500・Y=2250.500付近に位置する。

〔形状・規模〕調査区内で確認できた範囲では、不整形円形を呈する。規模は、長さ130cm・深さ28cmである。

〔埋土・堆積状況〕暗褐色土単層である。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕（第49図、写真図版44）土器が7g出土している。

〔遺構の時期〕不明である。（八木）

SK29（第25図、写真図版16・17）

〔位置・検出状況〕4F3グリッド、X=-69909.500・Y=22500.500付近に位置する。

〔形状・規模〕楕円形を呈する。規模は60×40cm、深さ40cmである。

〔埋土・堆積状況〕黒褐色及び暗褐色土が自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕不明である。（八木）

SK30（第25図、写真図版17）

〔位置・検出状況〕4F9グリッド、X=-69914.000・Y=22507.000付近に位置する。

〔形状・規模〕楕円形を呈する。規模は、検出面は140×100cm、底面は50×47cm、深さ82cmである。

〔埋土・堆積状況〕黒褐色～暗褐色土が自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕（第49・56図、写真図版44・48）土器が224.9g出土している。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK31（第25図、写真図版17）

〔位置・検出状況〕4F9グリッド、X=-69915.000・Y=22503.000付近に位置する。

〔形状・規模〕溝形を呈する。規模は、検出面は250×44cm、底面は265×12cm、深さは70cmである。

〔埋土・堆積状況〕底面に黒色土が堆積し、その上に褐色土崩落土が認められる。埋土上位は黒褐色～暗褐色土で構成される。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔遺構の時期〕 縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK32（第26図、写真図版17）

〔位置・検出状況〕 3F10グリッド、 $X = -69896.000 \cdot Y = 22506.000$ 付近に位置する。

〔形状・規模〕 円形を呈する。規模は、検出面は $175 \times 134\text{cm}$ 、底面は $77 \times 67\text{cm}$ 、深さ 100cm である。

〔埋土・堆積状況〕 黒褐色～暗褐色土が主体で、12層は褐色土が入り込む。1層は黒色土が堆積する自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕 SK33と重複し、SK32の方が新しい。底面に副穴が1つ認められる。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔遺構の時期〕 縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK33（第26図、写真図版17・18）

〔位置・検出状況〕 3F14グリッド、 $X = -69895.000 \cdot Y = 22508.000$ 付近に位置する。

〔形状・規模〕 円形を呈する。規模は、検出面は $168 \times 140\text{cm}$ 、底面は $100 \times 94\text{cm}$ 、深さ 90cm である。

〔埋土・堆積状況〕 埋土下位は黄褐色土と暗褐色土が細かな互層を呈する。埋土上位は黒褐色～暗褐色土が自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕 SK32と重複し、SK33の方が古い。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔遺構の時期〕 縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK34（第25図、写真図版18）

〔位置・検出状況〕 4E12グリッド、 $X = -69906.500 \cdot Y = 22488.500$ 付近に位置する。

〔形状・規模〕 楕円形を呈する。規模は、検出面は $158 \times 118\text{cm}$ 、底面は $82 \times 25\text{cm}$ 、深さ 87cm である。

〔埋土・堆積状況〕 黒褐色～暗褐色土が主体で自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕 認められない。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔遺構の時期〕 縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK35（第25図、写真図版18）

〔位置・検出状況〕 4E22グリッド、 $X = -69904.500 \cdot Y = 22495.000$ 付近に位置する。SK37に隣接する。攪乱が著しい。

〔形状・規模〕 円形を呈する。規模は $80 \times 50\text{cm}$ 、深さ 42cm である。

〔埋土・堆積状況〕 黒褐色土～暗褐色土が堆積している。5層中から「赤彩球胴壺」の大型破片が出土している。検出面にも接合する破片が散在していた。

〔重複・関連遺構〕 認められない。

〔出土遺物〕（第49図、写真図版44）土器が537.4g出土している。

〔遺構の時期〕出土土器から、8世紀中頃と考えられる。（八木）

SK36（第26図、写真図版18）

〔位置・検出状況〕4F3グリッド、X=-69909.000・Y=22500.000付近に位置する。

〔形状・規模〕楕円形を呈する。規模は150×57cm、深さ25cmである。

〔埋土・堆積状況〕暗褐色土が自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕不明である。（八木）

SK37（第26図、写真図版18・19）

〔位置・検出状況〕4E16グリッド、X=-69903.500・Y=22495.000付近に位置する。

〔形状・規模〕溝形を呈する。規模は、検出面は272×37cm、底面は282×12cm、深さ76cmである。

〔埋土・堆積状況〕埋土下位は褐色土と黒褐色～暗褐色土が互層をなす。埋土上位は黒褐色土が主体をなす自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK38（第26図、写真図版19）

〔位置・検出状況〕2G25グリッド、X=-69876.000・Y=22537.000付近に位置する。

〔形状・規模〕楕円形を呈する。規模は86×76cm、深さ34cmである。

〔埋土・堆積状況〕自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕不明である。（八木）

SK39（第26図、写真図版19）

〔位置・検出状況〕3G17グリッド、X=-69886.000・Y=22534.000付近に位置する。

〔形状・規模〕方形を呈する。規模は、検出面は190cm、底面は108cm、深さは92cmである。

〔埋土・堆積状況〕黒褐色～暗褐色土が自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕底面に副穴が1つ認められる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK40（第27図、写真図版19）

〔位置・検出状況〕3F24グリッド、X=-69894.500・Y=22517.500付近に位置する。

〔形状・規模〕円形を呈する。規模は、検出面は102×102cm、底面は80×72cm、深さ71cmである。

〔埋土・堆積状況〕底面に黒褐色土、その上位にぶい黄褐色土が堆積している。壁際に褐色土壁崩落土が堆積している他、黒褐色～暗褐色土が自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕重複は認められない。底面に副穴1つを検出した。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK41（第27図、写真図版19・20）

〔位置・検出状況〕3F19グリッド、X=-69896.000・Y=22515.500付近に位置する。

〔形状・規模〕楕円形を呈する。規模は、検出面は160×114cm、底面は94×47cm、深さ87cmである。

〔埋土・堆積状況〕黒色～暗褐色土が主体で、壁際に褐色土壁崩落土が入り込む自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕重複は認められない。底面に副穴1つを検出した。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK42（第27図、写真図版20）

〔位置・検出状況〕3E24グリッド、X=-69894.000・Y=22500.000付近に位置する。

〔形状・規模〕円形を呈する。規模は、検出面は140×128cm、底面は90×90cm、深さは90cmである。

〔埋土・堆積状況〕地下水位が高い時期が長く、底面中央付近が崩落した。埋土下位は褐色土と黒褐色～暗褐色土が互層をなす。埋土中央上位は黒褐色～暗褐色土の自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕底面に副穴を1つ検出した。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK43（第27図、写真図版20）

〔位置・検出状況〕4F5グリッド、X=-69917.000・Y=22503.000付近に位置する。

〔形状・規模〕不整形を呈する。規模は72×65cm、深さは22cmである。

〔埋土・堆積状況〕暗褐色土が自然堆積の状況を呈する。

〔重複・関連遺構〕SK28と接する。

〔出土遺物〕（第49図、写真図版45）土器が65g出土している。

〔遺構の時期〕不明である。（八木）

SK44（第27図、写真図版20）

〔位置・検出状況〕4F2グリッド、X=-69904.000・Y=22502.000付近に位置する。

〔形状・規模〕楕円形を呈する。規模は、検出面は102×71cm、底面は96×18cm、深さは96cmである。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔遺構の時期〕 縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK45（第27図、写真図版20・21）

〔位置・検出状況〕 4E11グリッド、X=-69902.000・Y=22491.000付近に位置する。

〔形状・規模〕 不整楕円形を呈する。規模は168×100cm、深さは26cmである。

〔埋土・堆積状況〕 黒褐色～暗褐色土が自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕 認められない。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔遺構の時期〕 不明である。（八木）

SK46（第27図、写真図版21）

〔位置・検出状況〕 4E2グリッド、X=-69905.000・Y=22482.500付近に位置する。

〔形状・規模〕 楕円形を呈する。規模は、検出面は130×130cm、底面は78×40cm、深さは180cmである。

〔埋土・堆積状況〕 埋土下位は黄褐色～褐色土が主体、埋土上位は黒褐色～暗褐色土が主体で自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕 SD02と重複が認められ、SK46の方が古い。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔遺構の時期〕 縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK47（第28図、写真図版21）

〔位置・検出状況〕 4E11グリッド、X=-69901.000・Y=22490.000付近に位置する。上面の攪乱が著しい。

〔形状・規模〕 方形を呈する。規模は、検出面は130×95cm、底面は120×67cm、深さは80cmである。

〔埋土・堆積状況〕 埋土下位は、褐色土と黒褐色～暗褐色土が互層をなす。埋土上位は黒褐色～暗褐色土が主体の自然堆積の状況を示す。

〔重複・関連遺構〕 底面に副穴が1つ認められる。副穴の中はさらに3つの凹みがある。

〔出土遺物〕（第57図、写真図版49）

〔遺構の時期〕 縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、詳細な時期は不明である。（八木）

SK48（第28図、写真図版21）

〔位置・検出状況〕 5D21グリッド、X=-69924.000・Y=22479.000付近に位置する。攪乱を除去した底面で検出した。

〔形状・規模〕 長方形を呈する。規模は160×68cm、深さ35cmである。

〔埋土・堆積状況〕 底面に褐色土が堆積し、その上に黒色土が認められる。埋土上位は黒褐色～暗褐色土が自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕 底面に副穴が2つ認められる。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK49（第28図、写真図版21・22）

〔位置・検出状況〕1G15グリッド、 $X = -69858.000 \cdot Y = 22528.500$ 付近に位置する。

〔形状・規模〕円形を呈する。規模は 115×109 cm、深さ84cmである。

〔埋土・堆積状況〕埋土下位は褐色土と暗褐色土が互層をなし、埋土上位は黒褐色～暗褐色土が主体な自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕底面に副穴が1つ認められる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK50（第28図、写真図版22）

〔位置・検出状況〕1H9グリッド、 $X = -69856.000 \cdot Y = 22548.000$ 付近に位置する。

〔形状・規模〕調査区外と水道攪乱に挟まれた範囲で確認したため全体の形状は不明であるが、楕円形の可能性がある。検出面の規模は130cm、深さ104cmである。

〔埋土・堆積状況〕埋土下位は褐色土と黒褐色～暗褐色土が互層をなし、埋土上位は黒褐色～暗褐色土が主体の自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK51（第28図、写真図版22）

〔位置・検出状況〕5C23グリッド、 $X = -69929.500 \cdot Y = 22459.000$ 付近に位置する。

〔形状・規模〕楕円形を呈する。規模は 130×103 cm、深さは150cmである。

〔埋土・堆積状況〕埋土下位は褐色～黄褐色土と暗褐色土が互層をなし、埋土上位は黒褐色～暗褐色土が主体をなす自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK52（第28図、写真図版22）

〔位置・検出状況〕4C19グリッド、 $X = -66915.000 \cdot Y = 22455.000$ 付近に位置する。

〔形状・規模〕円形を呈する。規模は 100×100 cm、深さ61cmである。

〔埋土・堆積状況〕埋土下位は褐色土と黒色～暗褐色土が互層をなし、埋土上位は黒褐色～暗褐色土が主体の自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕底面に副穴を1つ検出した。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔遺構の時期〕 縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK53（第29図、写真図版22）

〔位置・検出状況〕 4C24グリッド、 $X = -69915.500 \cdot Y = 22457.500$ 付近に位置する。

〔形状・規模〕 楕円形を呈する。規模は 90×70 cm、深さ120cmである。

〔埋土・堆積状況〕 黒褐色～暗褐色土が主体の自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕 認められない。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔遺構の時期〕 縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK54（第29図、写真図版23）

〔位置・検出状況〕 4C18グリッド、 $X = -69909.500 \cdot Y = 22455.500$ 付近に位置する。

〔形状・規模〕 楕円形を呈する。規模は 110×78 cm、深さ84cmである。

〔埋土・堆積状況〕 底面に褐色土が堆積し、その上面に黒褐色土が認められる。埋土上位は黒褐色～暗褐色土が主体の自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕 認められない。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔遺構の時期〕 縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK55（第29図、写真図版23）

〔位置・検出状況〕 5C8グリッド、 $X = -69931.500 \cdot Y = 22448.500$ 付近に位置する。

〔形状・規模〕 円形を呈する。規模は 150×120 cm、深さは74cmである。

〔埋土・堆積状況〕 埋土下位は褐色～黄褐色土と黒褐色～暗褐色土が互層をなし、埋土上位は黒褐色～暗褐色土が主体の自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕 底面に副穴が1つ認められる。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔遺構の時期〕 縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK56（第29図、写真図版23）

〔位置・検出状況〕 調査区西4C22グリッド、 $X = -69906.000 \cdot Y = 22458.500$ 付近に位置する。表土直下Ⅲ層上面で検出した。

〔形状・規模〕 長方形を呈する。開口部径 131×95 cm・底径 118×45 cm・深さ97cm。

〔埋土・堆積状況〕 埋土下位は褐色土、埋土上位は黒褐色土が主体の自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕 重複・関連遺構は認められない。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK57（第29図、写真図版23）

〔位置・検出状況〕調査区中央3E19グリッド、X=-69893.000・Y=22494.500付近に位置する。SX02精査中に検出した。

〔形状・規模〕円形を呈する。開口部径67×70cm・底径112×135cm・深さ90cm。

〔埋土・堆積状況〕1～3層暗褐色～黒褐色土で、4層は褐色土である。自然堆積の状況を呈する。

〔重複・関連遺構〕SX03と重複し、SK57の方が古い。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK58（第29図、写真図版24）

〔位置・検出状況〕4B22グリッド、X=-69907.000・Y=22437.500付近に位置する。

〔形状・規模〕楕円形を呈する。規模は190×78cm、深さ50cmである。

〔埋土・堆積状況〕黒褐色と黄色土が自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕（第49図、写真図版45）土器が281.3g出土している。

〔遺構の時期〕不明である。（八木）

SK59（第29図、写真図版24）

〔位置・検出状況〕4B23グリッド、X=-69908.000・Y=22436.000付近に位置する。

〔形状・規模〕楕円形を呈する。規模は174×110cm、深さ130cmである。

〔埋土・堆積状況〕底面に黒褐色土が堆積し、中位に褐色～にぶい黄褐色土が入り、埋土上位に黒褐色～暗褐色土が自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK60（第30図、写真図版24）

〔位置・検出状況〕4B19グリッド、X=-69914.000・Y=22434.000付近に位置する。

〔形状・規模〕不整楕円形を呈する。規模は170×70cm、深さ30cmである。

〔埋土・堆積状況〕黒褐色～暗褐色が自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕SK61と重複し、SK60の方が新しい。

〔出土遺物〕（第49図、写真図版45）土器が181.2g出土している。

〔遺構の時期〕不明である。（八木）

SK61 (第30図、写真図版24)

〔位置・検出状況〕4B19グリッド、X=-69913.000・Y=22435.000付近に位置する。

〔形状・規模〕不整楕円形を呈する。規模は149×63cm、深さは28cmである。

〔埋土・堆積状況〕にぶい黄褐色～灰黄褐色土と黒褐色土が互層をなす。

〔重複・関連遺構〕SK60と重複し、SK61の方が古い。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕不明である。(八木)

SK62 (第30図、写真図版24)

〔位置・検出状況〕4B22グリッド、X=-69905.000・Y=22437.500付近に位置する。

〔形状・規模〕方形を呈する。規模は151×142cm、深さは143cmである。

〔埋土・堆積状況〕埋土中～下位は、褐色～にぶい黄褐色土と黒色～暗褐色土が互層をなし、埋土上位は黒色～黒褐色土が主体の自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細は不明である。(八木)

SK63 (第30図、写真図版25)

〔位置・検出状況〕5A14グリッド、X=-69932.000・Y=22412.000付近に位置する。

〔形状・規模〕円形を呈する。規模は108×110cm、深さは75cmである。

〔埋土・堆積状況〕底面に黒色土が堆積し、その上に褐色土と黒褐色～暗褐色土が互層をなす。埋土上位は黒褐色～黒色土が主体の自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕底面に副穴が3つ認められる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。(八木)

SK64 (第30図、写真図版25)

〔位置・検出状況〕4B10グリッド、X=-69919.000・Y=22425.000付近に位置する。

〔形状・規模〕方形を呈する。規模は120×76cm、深さ80cmである。

〔埋土・堆積状況〕埋土下位は褐色～黄褐色土と暗褐色土が互層をなし、埋土上位は黒色～黒褐色土が主体の自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕(第56図、写真図版49)検出面で特殊磨石1点が出土している。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられる。特殊磨石が上面から出土していることから、縄文時代前期頃に堆積が進んでいると考えられる。(八木)

SK65 (第30図、写真図版25)

〔位置・検出状況〕調査区西5C2グリッド、X=-69925.000・Y=22442.000付近に位置する。表土下Ⅲ

層上面で検出した。

〔形状・規模〕開口部径120×72cm・底径85×52cm・深さ21cm。楕円形を呈する。

〔埋土・堆積状況〕自然堆積の状況を呈する。

〔重複・関連遺構〕SK66と重複し、SK65の方が古い。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕不明である。（八木）

SK66（第30図、写真図版25）

〔位置・検出状況〕調査区西5C2グリッド、X=-69926.000・Y=22442.000付近に位置する。表土下Ⅲ層上面で検出した。

〔形状・規模〕開口部径131×131cm・底径92×82cm・深さ33cm。不整円形を呈する。

〔埋土・堆積状況〕自然堆積の状況を呈する。

〔重複・関連遺構〕SK65と重複し、SK66の方が新しい。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕不明である。（八木）

SK67（第31図、写真図版25）

〔位置・検出状況〕4C21グリッド、X=-69902.000・Y=22460.000付近に位置する。

〔形状・規模〕長方形を呈する。規模は248×204cm、深さ84cmである。

〔埋土・堆積状況〕埋土下位は黄褐色～にぶい黄褐色土と黒色～暗褐色土が互層をなし、埋土上位は黒褐色土が主体の自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕底面に副穴2つを検出した。副穴から立ち上がる堆積土も確認した。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK68（第30図、写真図版26）

〔位置・検出状況〕4B24グリッド、X=-69911.500・Y=22439.500付近に位置する。

〔形状・規模〕長方形を呈する。規模は164×68cm、深さは34cmである。

〔埋土・堆積状況〕底面に褐色土が薄く堆積し、上位は黒褐色～暗褐色土が主体の自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕底面に副穴2つを検出した。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK69（第31図、写真図版26）

〔位置・検出状況〕調査区西5B2グリッド、X=-69927.000・Y=22422.000に位置する。表土下Ⅱ～Ⅲ層漸移層で検出した。

〔規模・堆積状況〕開口部径116×60cm・底径66×30cm・深さ140cm。隅丸長方形を呈する。

〔埋土・堆積状況〕自然堆積の状況を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK70（第31図、写真図版26）

〔位置・検出状況〕5B16グリッド、X=-69923.000・Y=22436.000付近に位置する。

〔形状・規模〕方形を呈する。規模は120×84cm、深さ70cmである。

〔埋土・堆積状況〕埋土下位は褐色～黄褐色土と暗褐色土が互層をなし、埋土上位は黒色～黒褐色土が主体の自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕底面に副穴が1つ認められる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK71（第31図、写真図版26）

〔位置・検出状況〕5C8グリッド、X=-69929.000・Y=22446.500付近に位置する。

〔形状・規模〕不整形を呈する。規模は90×80cm、深さは28cmである。

〔埋土・堆積状況〕黒褐色～暗褐色の自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕不明である。（八木）

SK72（第32図、写真図版27）

〔位置・検出状況〕4B12グリッド、X=-69907.000・Y=22433.000付近に位置する。

〔形状・規模〕長方形を呈する。規模は164×150cm、深さ140cmである。

〔埋土・堆積状況〕底面に黒色土が堆積し、埋土下位は褐色～にぶい黄色褐色土と暗褐色土が互層をなす自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK73（第32図、写真図版27）

〔位置・検出状況〕4A22グリッド、X=-69907.000・Y=22420.000付近に位置する。

〔形状・規模〕不整形を呈する。規模は374×152cmで、深さは14cmである。

〔埋土・堆積状況〕黒褐色土と褐色土で構成される自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕不明である。(八木)

SK74 (第32図、写真図版27)

〔位置・検出状況〕調査区西5B21・5C1グリッド、X=-69920.000・Y=22441.000に位置する。表土下Ⅲ層上面で検出した。

〔規模・堆積状況〕開口部径181×80cm・底径149×41cm。深さ56cm。隅丸長方形を呈する。底面に16×18cm・深さ18cmの副穴が2個認められる。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。(八木)

SK75 (第32図、写真図版27)

〔位置・検出状況〕5B21グリッド、X=-69922.500・Y=22437.000付近に位置する。

〔形状・規模〕楕円形を呈する。規模は108×94cm、深さは130cmである。

〔埋土・堆積状況〕暗褐色～黒褐色土が主体で、褐色土が互層をなす自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。(八木)

SK76 (第32図、写真図版28)

〔位置・検出状況〕5C16グリッド、X=-69923.500・Y=22456.000付近に位置する。

〔形状・規模〕不整形を呈する。規模は110×60cmで、深さは28cmである。

〔埋土・堆積状況〕暗褐色・褐色土の2層で構成される。底面は凹凸が認められる。

〔重複・関連遺構〕SZ01内部に位置することから関連を検討したが、不明である。

〔出土遺物〕土師器甕破片が出土している。

〔遺構の時期〕8世紀後半の可能性が考えられる。(八木)

SK77 (第32図、写真図版28)

〔位置・検出状況〕4D5グリッド、X=-69916.000・Y=22463.000付近に位置する。

〔形状・規模〕長方形を呈する。規模は110×83cm、深さは107cmである。

〔埋土・堆積状況〕埋土下位は褐色～黄褐色土、埋土上位は黒褐色～暗褐色土が主体の自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。(八木)

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。(八木)

SK78 (第33図、写真図版28)

〔位置・検出状況〕5C21グリッド、X=-69924.000・Y=22458.000付近に位置する。

〔形状・規模〕楕円形を呈する。規模は130×72cm、深さ120cmである。

〔埋土・堆積状況〕褐色～黄褐色土と暗褐色土が互層をなす自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕SZ01と重複し、SK78の方が古い。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。(八木)

SK79 (第33図、写真図版28)

〔位置・検出状況〕4C15グリッド、X=-69917.000・Y=22453.000付近に位置する。

〔形状・規模〕長方形を呈する。規模は100×50cm、深さ80cmである。

〔埋土・堆積状況〕底面に黒褐色土が堆積し、その上に褐色土が認められる。埋土上位は暗褐色土で自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、詳細な時期は不明である。(八木)

SK80 (第33図、写真図版29)

〔位置・検出状況〕4C3グリッド、X=-69912.000・Y=22441.000付近に位置する。

〔形状・規模〕長方形を呈する。規模は122×63cm、深さは128cmである。

〔埋土・堆積状況〕埋土下位は褐色～黄褐色土、埋土上位は黒褐色～暗褐色土で構成される自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。(八木)

SK81 (第33図、写真図版29)

〔位置・検出状況〕4C22グリッド、X=-69906.000・Y=22459.000付近に位置する。

〔形状・規模〕楕円形を呈する。規模は112×62cm、深さは100cmである。

〔埋土・堆積状況〕底面に暗褐色土が薄く堆積し、埋土中位は褐色～黄色褐色土上位は暗褐色土が主体の自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。(八木)

SK82 (第33図、写真図版29)

〔位置・検出状況〕4C16グリッド、X=-69901.000・Y=22453.500付近に位置する。

〔形状・規模〕長方形を呈する。規模は117×66cm、深さ102cmである。

〔埋土・堆積状況〕底面に暗褐色土が薄く堆積し、埋土中位は褐色土、埋土上位は黒褐色～暗褐色土が主体の自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

SK83（第33図、写真図版29）

〔位置・検出状況〕5D5グリッド、X=-69937.000・Y=22462.000付近に位置する。

〔形状・規模〕楕円形を呈する。規模は73×53cm、深さは81cmである。

〔埋土・堆積状況〕黒褐色～暗褐色土が主体の自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕縄文時代の陥し穴状遺構と考えられるが、遺物が出土していないため詳細な時期は不明である。（八木）

（5）焼成遺構

SX01（第34図、写真図版30）

〔位置・検出状況〕調査区中央3F5グリッド、X=-69896.000・Y=22501.000付近に位置する。表土直下がⅢ層となっており、周辺に焼土が認められる黒褐色土を検出した。

〔形状・規模〕長軸1.72m・短軸0.84m・北東側の深さ9cm・中央の深さ28cmである。北東側は1段高くなっている。南東側は底面から上面にかけて緩やかに立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕埋土は1～3層の黒褐色～暗褐色土、4層は焼土主体で炭化物を含み、5層は焼土粒を多く含む暗褐色土である。壁は3方向において明瞭な被熱が認められる。

〔重複・関連遺構〕重複する遺構は認められない。

〔出土遺物〕（第49図、写真図版45）土器が154.9g出土している。

〔遺構の時期〕8世紀後半と考えられる。（八木）

SX02（第34図、写真図版30）

〔位置・検出状況〕調査区中央3E19グリッド、X=-69893.000・Y=22495.000付近に位置する。表土直下がⅢ層となっており、周辺に焼土が認められる暗褐色～黒褐色土を検出した。

〔形状・規模〕長軸1.77m・短軸1.13m・深さ16cmである。底面から開口部にかけて緩やかに立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕埋土は1・2層の暗褐色～黒褐色土、3層は焼土・炭粒を含む褐色土である。

〔重複・関連遺構〕底面中央南寄りではSK57と重複する。SK57上位に明確な燃焼面が認められないため、調査当初はSK57が新しいと想定して精査を進めたが、SK57に十和田a降下火山灰が認められず、また、全体の形態から縄文時代の陥し穴状遺構と判断した。

〔出土遺物〕（第49図、写真図版45）土器が82.2g出土している。

〔遺構の時期〕8世紀後半と考えられる。（八木）

SX03 (第34図、写真図版31)

〔位置・検出状況〕調査区中央3E18・23グリッド、X=-69892.000・Y=22496.000付近に位置する。南端はⅡ層、T7範囲はⅢ層上面で検出した。南西は上面が攪乱、北端は下部まで攪乱が及んでいる。

〔形状・規模〕長軸1.46m・短軸1.09m・深さ27cmである。北西側が狭く南東側がやや広い隅丸台形を呈する。底面から開口部にかけて緩やかに立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕埋土は1～3層暗褐色土、4層明赤褐色土、5～7層暗褐色～黒褐色土、8層暗赤褐色土である。焼土粒は1～3・5・7層に含まれ、3・5層に非常に多い。3・4層は覆い部分、5～7層が内部で、8層が床面の被熱部分と考えられる。

〔重複・関連遺構〕T7と重なる以外は重複する遺構は認められない。南端壁際床面に直径24×34cm・深さ14cmの柱穴状小土坑を1個検出した。柱穴状小土坑埋土は2層と共通し、輪郭は3～6層上面で確認した。柱穴状小土坑はSX03使用時に覆いに関わる構造物であったか、或いはSX03以後に作られたものの可能性がある。なお、SX03周辺では他に柱穴状小土坑を検出していない。

〔出土遺物〕(第50図、写真図版45)土器が94g出土している。

〔遺構の時期〕8世紀後半と考えられる。(八木)

SX04 (第35図、写真図版31)

〔位置・検出状況〕調査区中央南5E5グリッド、X=-69938.000・Y=22484.000付近に位置する。表土下Ⅲ層上面で検出した。

〔形状・規模〕残存長南北1.34m・東西1.65m・深さ24cmである。北東はSD02に、南東は調査区外となっており、全体形状の詳細は不明であるが、底面の被熱形状は南北に長いので、北北東-南南西に長軸をもつと考えられる。

〔埋土・堆積状況〕11・12・13層黒褐色～暗褐色土、14層炭を多量に含む層、15層被熱面である。

〔重複・関連遺構〕SD02と重複し、SX04の方が古い。

〔出土遺物〕土器が116.3g出土し、床面から土師器破片が出土している。

〔遺構の時期〕SD02より古いのが、伴出遺物から8世紀中頃と考えられる。(八木)

SX05 (第35図、写真図版31・32)

〔位置・検出状況〕調査区西側5C16グリッド、X=-69920.000・Y=22452.000に位置する。表土下のⅢ層上面で検出した。

〔形状・規模〕長軸1.85m・短軸0.92m・深さ32cmである。東側が狭く西側が広い隅丸長台形を呈する。東側の狭い部分は浅く、西側の広い部分は一段深くになっている。西側は底面から開口部にかけて緩やかに立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕1～3層黒褐色～暗褐色土である。4層褐色土には赤褐色土ブロックが多量に含まれ、5層には炭化材・炭粒が多量に含まれる。6層に混入物は認められない。5層下面の床面は被熱の痕跡が著しい。

〔重複・関連遺構〕SZ01と重複が認められ、SX05の方が新しい。

〔出土遺物〕土器が95.9g出土している。

〔遺構の時期〕8世紀後半と考えられる。(八木)

SX06 (第35図、写真図版32)

〔位置・検出状況〕調査区西側5C16・17グリッド、X=-69923.000・Y=22452.000に位置する。表土下のⅢ層上面で検出した。

〔形状・規模〕長軸1.57m・短軸0.98m・深さ24cmである。北側が狭く南側が広い隅丸長台形を呈する。北側の狭い部分は浅く、南側の広い部分は深くなっている。南側は底面から開口部にかけて緩やかに立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕1層暗褐色土、2層焼土を多く含む暗褐色土、3層に混入物は認められない。南東壁は被熱が著しい。

〔重複・関連遺構〕SZ01と重複が認められ、SX06の方が新しい。

〔出土遺物〕(第50図、写真図版45)土器が95.3g出土している。1層下面に多い。

〔遺構の時期〕8世紀後半と考えられる。(八木)

SX07 (第36図、写真図版32・33)

〔位置・検出状況〕調査区西側4C10グリッド、X=-69917.500・Y=22447.000付近に位置する。表土下のⅢ層上面で検出した。

〔形状・規模〕長軸1.5m・短軸0.98m・深さ16cmである。北側が狭く南側が広い隅丸長台形を呈する。北側の狭い部分は浅く、南側の広い部分は深くなっている。南側は底面から開口部にかけて直立気味に立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕1・2層暗褐色土で、2層は焼土・炭を多く含む。3層は被熱面である。

〔重複・関連遺構〕北東に柱穴状小土坑を1個検出した。埋土がSX07とは異なるため、別遺構の可能性がある。

〔出土遺物〕(第50図、写真図版45)土器が492.2g出土している。南側の2層が環状に検出できた範囲の内側に土器がまとまって出土した。土師器甕底部が複数連なって出土している。

〔遺構の時期〕8世紀後半と考えられる。(八木)

SX08 (第36図、写真図版33)

〔位置・検出状況〕調査区西側5C6・4C10グリッド、X=-69922.000・Y=22446.000付近に位置する。表土下のⅢ層上面で検出した。

〔形状・規模〕長軸2.47m・短軸1.047m・深さ25cmである。北側が狭く南側が広い隅丸台形を呈する。北側の狭い部分は浅く、南側の広い部分は深くなっている。南側は底面から開口部に向けて直線気味に立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕1層暗褐色土、2層褐色土を多く含む暗褐色土、3層炭化材・焼土を多く含む、4層は底面の被熱面である。

〔重複・関連遺構〕重複・関連遺構は認められない。

〔出土遺物〕(第50図、写真図版45)土器が597.7g出土している。遺物は3層上面から出土するものが多い。

〔遺構の時期〕8世紀後半と考えられる。(八木)

SX09 (第38図、写真図版33)

〔位置・検出状況〕調査区西側5B9グリッド、X=-69933.000・Y=22426.000付近に位置する。表土下

のⅡ～Ⅲ層漸移層で検出した。

〔形状・規模〕南北長軸1.9m・東西短軸1.07m・深さ26cmである。北側が失われているが、南北に長い楕円形を呈する。底面は北から南に向かって低く傾斜している。

〔埋土・堆積状況〕6層黒褐色土、7層炭化物を含む暗褐色土、8層被熱面である。

〔重複・関連遺構〕SX17と重複し、SX09の方が古い。

〔出土遺物〕(第50図、写真図版45)土器が60.7g出土している。

〔遺構の時期〕SX17より古い、8世紀後半の範疇は越えないと考える。(八木)

SX10 (第36図、写真図版33・34)

〔位置・検出状況〕調査区西側5B15グリッド、X=-69937.000・Y=22431.000付近に位置する。表土下のⅢ層上面で検出した。

〔形状・規模〕長軸2.12m・短軸1.2m・深さ37cmである。北側が狭く南側が広い隅丸台形を呈する。北側の狭い部分は浅く底面は凹凸がある。南側の広い部分は深く、底面はやや平滑に整えられている。南側は底面から開口部に向けて直線気味に立ち上げる。

〔埋土・堆積状況〕1・2層黒色～暗褐色土、3層明赤褐色土、4層暗褐色土、5層にぶい黄褐色土、6層は掘り込み北側に飛び出た地点の炭を多く含む暗褐色土、7層被熱面である。

〔重複・関連遺構〕重複は認められない。掘り込み北側に飛び出た6層は別遺構の可能性もあるが、近接していることと、周囲に6層のような炭化物が検出されなかったため、SX10として報告した。

〔出土遺物〕(第51図、写真図版45・46)土器が1870.3g出土している。遺物は2層下位～3層上面からまとまって出土している。土師器甕が2個体出土し、1個体は赤彩が施されている。

〔遺構の時期〕8世紀後半と考えられる。(八木)

SX11 (第37図、写真図版34)

〔位置・検出状況〕調査区西側5B3グリッド、X=-69931.000・Y=22424.000付近に位置する。表土下のⅢ層上面で検出した。

〔形状・規模〕長軸南北0.95m・短軸東西0.71m・深さ13.5cmである。北側が若干狭く南側が広い楕円形を呈する。北側にかけて浅くなっている。南側の広い部分は底面から開口部にかけてやや直立気味に立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕1層黒褐色土、2・4層は焼土崩落土、3層暗褐色土には炭が多く含まれる。6・7層は被熱面である。

〔重複・関連遺構〕重複は認められない。

〔出土遺物〕(第51図、写真図版46)土器が52.7g出土している。遺物は1層下面3層上面から出土している。

〔遺構の時期〕8世紀後半と考えられる。(八木)

SX13 (第37図、写真図版34)

〔位置・検出状況〕調査区西側5B3グリッド、X=-69930.000・Y=22421.000付近に位置する。表土下のⅡ～Ⅲ層漸移層で検出した。

〔形状・規模〕長軸1.45m・短軸0.96m・深さ13cmである。長軸両端が尖る楕円形を呈する。

〔埋土・堆積状況〕1・2層暗褐色～黒褐色土、炭層を挟み、3層黒褐色土、4層は被熱面である。

〔重複・関連遺構〕 重複は認められない。

〔出土遺物〕 (第51図、写真図版46) 土器が113.4g 出土している。遺物は3層上面から炭化材と共に多く出土している。

〔遺構の時期〕 8世紀後半と考えられる。(八木)

SX14 (第37図、写真図版35)

〔位置・検出状況〕 調査区西側5B3グリッド、X = 69931.000・Y = 22423.000付近に位置する。表土下のⅡ～Ⅲ層漸移層で検出した。

〔形状・規模〕 長軸東西2m・短軸南北0.87m・深さ20cmである。長軸東側が狭く、西側が広い長楕円形を呈する。西側が一段深くなっている。

〔埋土・堆積状況〕 1層黒褐色土、2層炭を多量に含む黒褐色土、3層暗褐色土である。2層は平坦に整っているが、3層下面は凹凸が著しい。

〔重複・関連遺構〕 重複は認められない。

〔出土遺物〕 (第51図、写真図版46) 土器が7,454.4g 出土している。遺物は土師器赤彩壺1個体(85)が1層中に折り重なった状態で出土した。細片～大型破片で構成され、接合状況からその場で破損したものと判断した。ハケメ調整が施されており、頸部剥落部分にもハケメが観察される。大きな壺であるため、粘土を複数回にわたって重ね付けた結果と考えられる。体部の一部に赤彩が認められることから、赤彩土器と判断する。この他、長軸東側の一段高い地点で土師器坏(内黒)が出土している。

〔遺構の時期〕 8世紀後半と考えられる。(八木)

SX15 (第37図、写真図版35)

〔位置・検出状況〕 調査区西側4B25グリッド、X = 69916.000・Y = 22436.000付近に位置する。表土下のⅢ層上面で検出した。

〔形状・規模〕 長軸東西1.52m・短軸南北1m・深さ12cmである。楕円～略方形を呈する。

〔埋土・堆積状況〕 底面は部分的に赤化している。被熱は西半に顕著で、東半は赤化していない。遺構中央部が最も窪み、炭化材の残存は不良で西側壁上端に沿うように破材が残る。土器の集中する上層下部に炭化物が存在するが、焼土ブロックとともに使用後のものと考えられる。ただし、近接する遺構が少なく切り合いもないため、この遺構で生成された焼土や炭化物の可能性が高い。

〔重複・関連遺構〕 認められない。

〔出土遺物〕 (第52図、写真図版46) 土器が143.8g 出土している。土師器坏が多い。遺物は埋土上層に集中し、最底面には認められない。

〔遺構の時期〕 8世紀代の土師器焼成遺構と思われるが、よりシンプルな構造であるため、重厚な焼成遺構とは対象物が異なる可能性がある。(福島)

SX16 (第37図、写真図版36)

〔位置・検出状況〕 調査区西側5B8グリッド、X = 69931.000・Y = 22425.000に位置する。表土下のⅡ～Ⅲ層漸移層で検出した。

〔形状・規模〕 長軸南西北東1.35m・短軸0.82m・深さ19cmである。長軸南西が狭く、北東がやや広い長台形を呈する。南西から北東に向かって低くなっている。

〔埋土・堆積状況〕1層暗褐色土、2・3層炭を多く含む暗褐色土、4・5層被熱面である。

〔重複・関連遺構〕重複は認められない。

〔出土遺物〕(第52図、写真図版46)土器が339.1g出土している。遺物は1層下面～2・3層上面から多く出土している。

〔遺構の時期〕8世紀後半と考えられる。(八木)

SX17 (第38図、写真図版36)

〔位置・検出状況〕調査区西側5B8・9グリッド、X=-69932.000、Y=22426.000付近に位置する。SX09の北側を精査していたところ、新たな焼成遺構として確認した。検出面は表土下のⅡ～Ⅲ層の漸移層である。

〔形状・規模〕南北長軸2.3m・東西短軸1m・深さ28cmである。長軸北側が狭く、南側がやや広い長方形を呈する。北側が浅く、南側が一段低くなっている。

〔埋土・堆積状況〕1層暗褐色土、2層褐色土、3層炭・焼土を含む黒褐色土、4層明黄褐色土、5層被熱面である。

〔重複・関連遺構〕SX09と重複しており、SX17の方が新しい。

〔出土遺物〕(第52図、写真図版46)土器が23g出土している。遺物は1層下位から土師器坏片が出土している。

〔遺構の時期〕8世紀後半と考えられる。(八木)

SX18 (第38図、写真図版37)

〔位置・検出状況〕調査区西側4C4グリッド、X=-69915.000・Y=22441.000付近に位置する。表土下Ⅲ層で検出した。

〔形状・規模〕攪乱が著しく、被熱面のみ検出した。被熱範囲は、南北50cm・東西12cmである。

〔埋土・堆積状況〕

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕不明であるが、周辺から焼成遺構が複数検出されていることから焼成遺構の焼成面の可能性が高く、周辺の焼成遺構の時期同様、8世紀代の可能性がある。(福島・八木)

SX19 (第38図、写真図版37)

〔位置・検出状況〕調査区西側4B24グリッド、X=-69915.000・Y=22439.000付近に位置する。表土下Ⅲ層で検出した。

〔形状・規模〕東西長軸50cm・南北短軸30cm・深さ4cmである。ごく小さいが、焼成遺構の構造を呈していたため、認定した。

〔埋土・堆積状況〕堆積土は暗褐色土1層のみで、2層は被熱面である。

〔重複・関連遺構〕重複は認められない。

〔出土遺物〕出土していない。

〔遺構の時期〕遺物が出土していないが、他の焼成遺構と堆積土や構造が近似していることから、8世紀後半と考えられる。(八木)

(6) 埋 設 土 器

SX12 (第38図、写真図版36)

〔位置・検出状況〕調査区西側5C15グリッド、X=-69983.000・Y=22450.000付近に位置する。表土下Ⅲ層上面で埋設状態の土器を検出した。

〔形状・規模〕直径33cm・深さ15cmの掘り方で、検出土器は胴部径25cm・高さ11cmの土器が埋設されていた。周辺から破片が多く出土しており、接合した結果高さ20cmに復元した。

〔埋土・堆積状況〕掘り方2層と埋設土器内土1層で構成される。掘り方はⅡ～Ⅲ層漸移層で、土器内部1層と似るが1層の方には炭が入る。

〔重複・関連遺構〕周囲に縄文時代の住居跡等遺構の有無を確認したが、検出されなかった。

〔出土遺物〕(第52図、写真図版47)埋設土器1点712.5gが出土している。縄文土器で摩滅が著しい。砂粒を多く含み、視目の観察が困難である。底部から胴部中位にかけて緩やかに立ち上がる深鉢で、底面は平滑である。

〔遺構の時期〕縄文時代晩期の可能性が考えられる。(八木)

(7) 溝 跡

SD01 (第39図、写真図版37・38)

〔位置〕東区の北端部に位置する溝であり、東西方向に長く延びる。東西両端部はそれぞれ調査区外へと連続する。

〔検出・重複〕調査前の試掘調査によって確認されていたが、今回の調査でも表土を除去すると遺構最上層の暗色帯のプランが確認できる。大半が現代の耕作によって削平された面での検出となっており、本来の溝最上部もこれによって失われているものと考えられる。また、東半は重機の掘削によって部分的に遺構が分断されている。この擾乱以外には、他の遺構との重複は認められない。

〔形態・規模〕平面は、東西に延びる弓なり形態であり、調査区外となっている北側隣接地を大きく囲むような緩やかな弧状である。溝の西半に比べ、東半は底面幅が狭まる。したがって、断面形態は西半部と東半部でやや異なる。西半部は底面幅が上幅の約半分となる逆台形であるが、東半部は底面幅が狭まり、同じ逆台形でも上幅が底幅の約8倍となり略「V」字形である。規模は調査で確認できた総延長76m、上幅60～110cm、深さ49～98cmである。大まかにみれば平面弧状ではあるが、細かくみるとE-E'断面の辺りで屈曲点を見出すことができる。この地点から東に向け、溝の断面形も箱形から漏斗状に変化しているが、B-B'断面から東は再び箱形の断面となる。周辺環境の変化や設計・工法等の変化があったのかもしれない。

〔壁面・底面〕壁面はいずれも底面から斜め上方へ開きながら立ち上がるが、断面形態が漏斗状で異なる箇所は壁面は底面からより急角度で立ち上がり、上方へ向け大きく開くように立ち上がる。底面は、断面形態に応じて幅こそ異なるが、おおむね平坦である。底面標高は西側で比較的高く、東へ向け徐々に低くなる。西半直線部は標高差がなく、東半直線部が徐々に下がる。この傾度は4～6%程度であるが、この溝独自の傾斜ではなく本来の微地形に沿ったものであると考えられる。

〔堆積状況〕いずれも自然堆積にて埋没しており、機能停止後に壁面の崩落や周囲からの流入土によって徐々に埋没したのと考えられる。溝西半では部分的であるが、上層に十和田a降下火山灰がブロック状に混入しており、溝そのものの埋没が進行した段階で火山灰の降下を迎えていると考えられる。下層の堆積はおもに周囲からの流入堆積よりも溝壁面の崩落土が大半を占めていると考えら

れ、滞水や流水時に浸食を受けた可能性がある。これら崩落土は、流動的なブロックを形成する箇所やラミナを形成する箇所が認められることから、崩落した後下位で懸濁したことを示しているとみられる。

〔出土遺物〕（第53図、写真図版47）土器が960.7g出土している。

〔時期・性格〕出土遺物は限定的であるが、溝西半の底面付近より出土した遺物は8世紀後半の土師器である。上層にみられる十和田a降下火山灰は、ほぼ最終的な埋没の経過を示している。8世紀後半から9世紀初頭に機能し、10世紀前半にはほぼ自然埋没した状態であると考えられる。9世紀後半は埋没の途中過程であり、溝としての機能を失っていたものとみられる。この溝の機能や性格は、その形状から遺跡北側を囲む可能性があるが、現段階ではその範囲内において意図的に囲まれるべき遺構の存在が認められない。また、堆積過程から常時流水している様子も認められないことから取水目的の溝ではないことが想定される。（福島）

SD02（第40図、写真図版39・40）

〔位置・検出状況〕調査区中央に位置する。表土直下Ⅲ層上面で検出した。

〔形状・規模〕不整形円形を呈する。溝の幅は80～160cm、深さは28～37cmである。北側4E1グリッド付近に幅160cmで途切れる部分がある。溝の最大径は42mである。

〔埋土・堆積状況〕埋土下位は暗褐色、埋土上位は黒褐色～黒色土が主体の自然堆積の様相を呈する。上位黒色土には灰白色火山灰が部分的に含まれる。

〔重複・関連遺構〕SX04と重複関係があり、SD02の方が新しい。この他SK46と重複があり、SD02の方が新しい。

〔出土遺物〕（第53・54図、写真図版47）土器が1,695.6g出土している。SI03に近い地点で赤彩球胴堯の大型破片が出土している。

〔遺構の時期〕出土遺物から8世紀中頃と考えられる。（八木）

SD04（第41図、写真図版41）

〔位置・検出状況〕調査区西側4B～5Bグリッドで検出した。表土直下Ⅲ層上面で検出した。

〔形状・規模〕長さ26m、幅28～46cm、深さ18～20cmである。

〔埋土・堆積状況〕暗褐色～黒褐色土で構成される自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕SK70と重複し、SD04の方が新しい。

〔出土遺物〕（第54・55図、写真図版48）土器242.4g、土師器破片が少量出土している。

〔遺構の時期〕古代以降と考えられる。（八木）

SD05（第41図、写真図版41）

〔位置・検出状況〕4B15グリッドで検出した。表土直下Ⅲ層上面で検出した。

〔形状・規模〕長さ2.5m、幅38cm、深さ17cmである。

〔埋土・堆積状況〕暗褐色～黒褐色土の自然堆積の様相を呈する。

〔重複・関連遺構〕認められない。

〔出土遺物〕（第55図、写真図版48）土器が18.2g出土している。

〔遺構の時期〕古代以降の可能性が考えられる。（八木）

SD06 (第41図、写真図版41)

- 〔位置・検出状況〕4A6グリッドで検出した。表土直下Ⅲ層上面で検出した。
- 〔形状・規模〕長さ2.2m、幅22～46cm、深さ10～20cmである。
- 〔埋土・堆積状況〕黒褐色土とにぶい黄褐色土で構成される自然堆積の様相を呈する。
- 〔重複・関連遺構〕認められない。
- 〔出土遺物〕(第55図、写真図版48)土器34.7g、土師器甕破片が出土している。
- 〔遺構の時期〕古代の可能性が考えられる。(八木)

SD07 (第41図、写真図版41)

- 〔位置・検出状況〕5B11グリッドで検出した。表土直下Ⅲ層上面で検出した。
- 〔形状・規模〕長さ120cm、幅41cm、深さ12cmである。
- 〔埋土・堆積状況〕暗褐色土の単層である。
- 〔重複・関連遺構〕認められない。
- 〔出土遺物〕出土していない。
- 〔遺構の時期〕古代以降の可能性が考えられる。(八木)

(8) 周 溝

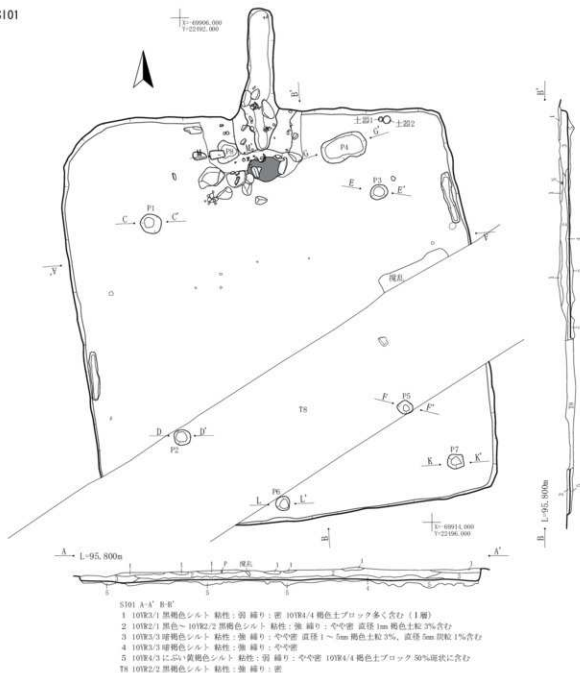
SZ01 (第42図、写真図版42)

- 〔位置・検出状況〕調査区西側5C16グリッド、X=-69922.000・Y=22454.000付近に位置する。表土直下Ⅲ層上面で検出した。
- 〔形状・規模〕全体の形状は不整形で、東西635cm、南北530cmである。北東側に幅120cmで溝が途切れる部分が認められる。溝の幅は28～37cm、深さ4～12cmである。
- 〔埋土・堆積状況〕暗褐色土の単層である。
- 〔重複・関連遺構〕SK78と重複し、SZ01の方が新しい。また、SX05・06と重複し、SZ01の方が古い。SZ01の内側にSK76が位置しており、精査開始時はSZ01の埋葬施設の可能性を考えたが、SK76の底面には凹凸があり、SZ01の埋葬施設とは判断し難い。
- 〔出土遺物〕出土していない。
- 〔遺構の時期〕遺物が出土していないため詳細な時期は不明だが、SX05・06より古い時期が想定される。(八木)

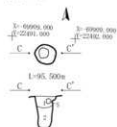
(9) 柱穴状小土坑 (第43～45図)

- 調査区西側において点在する柱穴状小土坑を検出した。これらは土師器片が出土するものもあり、暗褐色土の柱穴状小土坑が古代の可能性があるが、古代以降近世まで下る可能性も考えられる。(八木)

SI01



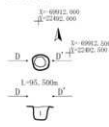
SI01 P1



SI01 P1 C-C'

- 1 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：強 締り：やや密
- 2 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：強 締り：やや密 直径1mm 10YR4/4 褐色シルト粒20%含む

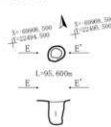
SI01 P2



SI01 P2 D-D'

- 1 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：強 締り：やや密 直径5mm～1cm 炭化物粒3%含む

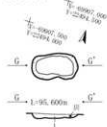
SI01 P3



SI01 P3 E-E'

- 1 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：強 締り：やや密 直径5mm～1cm 炭化物粒3%含む

SI01 P4



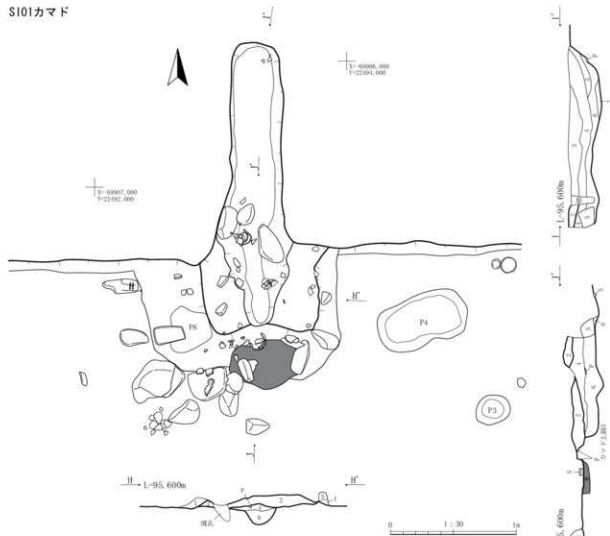
SI01 P4 G-G'

- 1 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：強 締り：やや密 直径2mm 褐色土粒5%、直径2mm 炭化物粒3%含む

0 1:60 2m

第14図 SI01・SI01 P1～P4

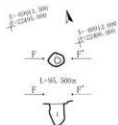
S101カマド



S101カマド

- 1 10TK3/3 埴粉色シルト 粘性：やや弱 締り：やや密
- 2 10TK4/4 埴粉色シルト 粘性：やや弱 締り：密 天井土
- 3 10TK3/3 埴粉色シルト 粘性：やや密 締り：やや密 直径3cm 褐色土ブロック 3%混状に含む
- 4 10TK3/3 埴粉色シルト 粘性：やや弱 締り：やや密 直径3mm 焼土粒 3%含む
- 5 10TK3/3 埴粉色シルト 粘性：弱 締り：硬 10TK3/2 黒褐色土粒 10%含む
- 6 10TK3/3 埴粉色シルト 粘性：弱 締り：硬
- 7 10TK3/4 埴粉色シルト 粘性：やや弱 締り：やや密 直径3cm 褐色土ブロック 10%含む
- 8 20K4/6 赤褐色シルト 粘性：弱 締り：密 燃焼部

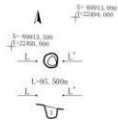
S101 P5



S101 P5 F-F'

- 1 10TK3/4 埴粉色シルト 粘性：強 締り：やや密 直径5mm ~ 1cm 炭化物粒 3%含む

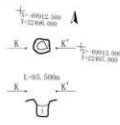
S101 P6



S101 P6 L-L'

- 1 10TK3/4 埴粉色シルト 粘性：強 締り：やや密 直径5mm ~ 1cm 炭化物粒 3%含む

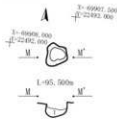
S101 P7



S101 P7 K-K'

- 1 10TK3/4 埴粉色シルト 粘性：強 締り：やや密 直径5mm ~ 1cm 炭化物粒 3%含む

S101 P8



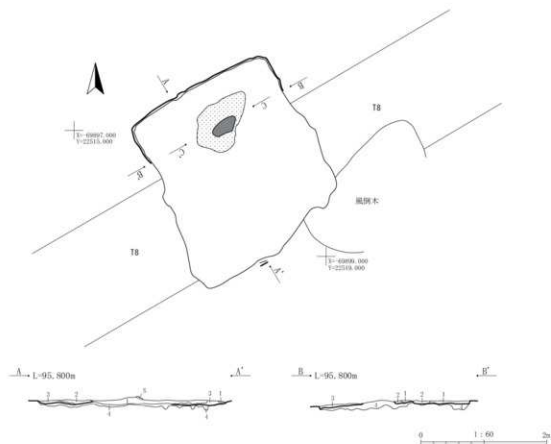
S101 P8 M-M'

- 1 10TK3/4 埴粉色シルト 粘性：強 締り：やや密 直径5mm ~ 1cm 炭化物粒 3%含む

0 1:60 2m

第15図 S101カマド・S101 P5~P8

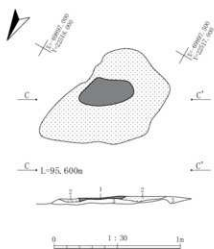
SI02



SI02 A-A' B-B'

- 1 10TK3/4暗褐色シルト 粘性：弱 締り：密 トレンチ8 草多⁴
- 2 5106/8 棕色シルト 粘性：弱 締り：密 直径1～3mm 焼土粒50%、直径5mm 炭粒3%含む
- 3 10TK3/4暗褐色シルト 粘性：弱 締り：やや疎
- 4 10TK3/3暗褐色シルト 粘性：弱 締り：密 10TK4/4褐色シルト50%炭粒を含む

SI02燃焼部

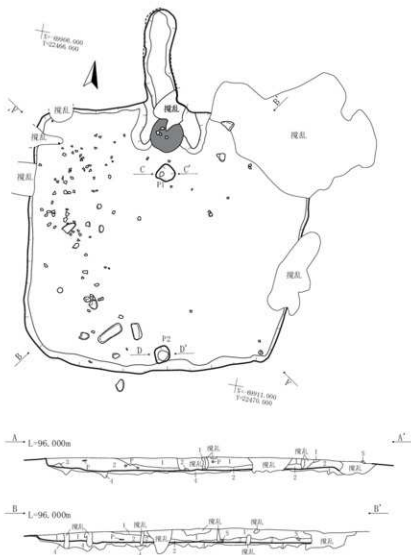


SI02 焼土 C-C'

- 1 5TK4/8 赤褐色シルト 粘性：弱 締り：やや疎 直径1cm 炭化物粒5%、直径1～3mm 焼土粒40%含む
- 2 7.5TK4/4 褐色シルト 粘性：弱 締り：やや疎 直径1cm 炭化物粒3%、直径1～3mm 焼土粒3%含む
- 3 10TK3/4 暗褐色シルト 粘性：弱 締り：やや疎

第16図 SI02・SI02燃焼部

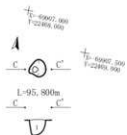
S104



S104 A-A' B-B'

- 1 10R1.7/1 黒色シルト 粘性：やや弱 締り：やや硬
- 2 10R3/3 緑褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや密
- 3 10R4/4 褐色シルト 粘性：やや強 締り：密
- 4 10R4/4 褐色シルト 粘性：強 締り：密 10R3/3 緑褐色シルト 30%混沈に含む

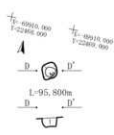
S104 P1



S104 P2

- 1 10R3/3 緑褐色シルト 粘性：やや弱 締り：やや硬

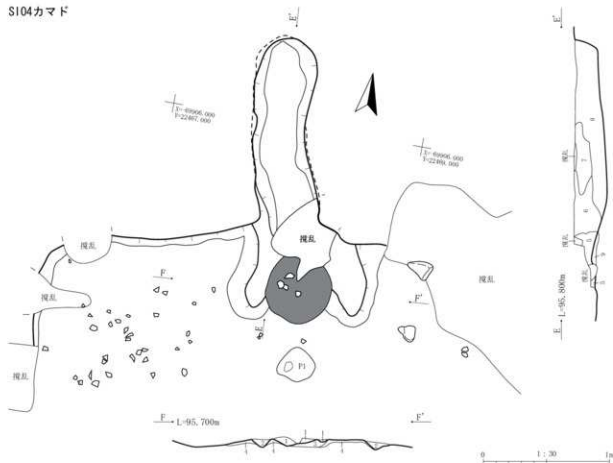
S104 P2



0 1:60 3m

第17図 S104・S104 P1・P2

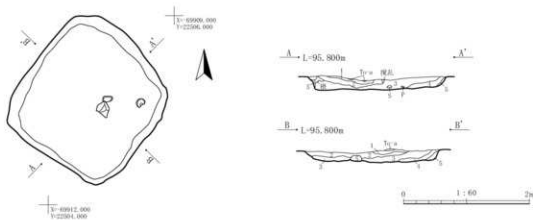
S104カマド



S104 カマド E-E' F-F'

- 1 10TR4/6 褐色シルト 粘性：弱 締り：中々硬 直径5m5TR5/8明幸褐色シルト10%含む カマド内土
- 2 10TR3/4 暗褐色シルト 粘性：弱 締り：中々硬 柱状埋土
- 3 5TR5/9 明幸褐色シルト 粘性：弱 締り：密 焼地面
- 4 10TR5/6 黄褐色シルト 粘性：弱 締り：密 カマド箱
- 5 10TR2/4 暗褐色シルト 粘性：弱 締り：密 燃焼部
- 6 10TR2/3 黒褐色シルト 粘性：弱 締り：中々硬
- 7 10TR3/3 暗褐色シルト 粘性：弱 締り：中々硬 元天开跡落土 直径2m～1cm10TR4/4 褐色土粒3%含む
- 8 10TR3/3 暗褐色シルト 粘性：中々強 締り：締 直径2m～5cm10TR4/4 褐色土粒30%、直径5m～1cm焼土粒3%含む
- 9 10TR4/4 褐色シルト 粘性：弱 締り：密 床

S103

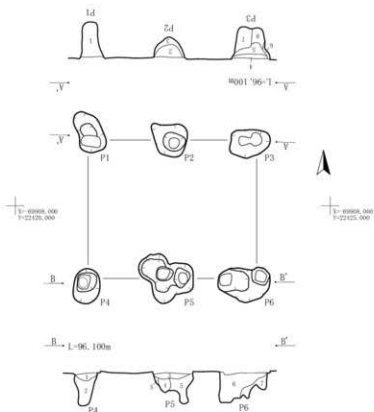


S103 A-A' B-B'

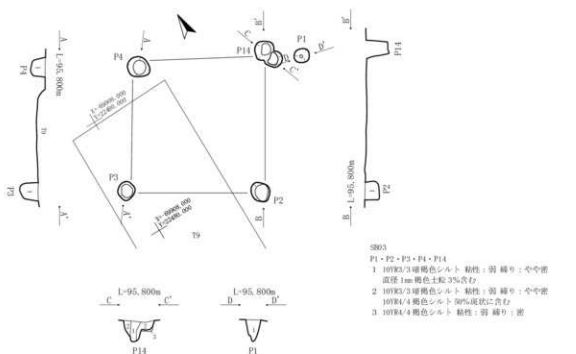
- 1 10TR2/2 黒褐色シルト 粘性：強 締り：締 Tr₀ブロック状に20%含む
- 2 10TR2/3 黒褐色シルト 粘性：強 締り：密
- 3 10TR2/4 暗褐色シルト 粘性：強 締り：中々密 直径1m褐色土粒2%、直径2m炭化物粒1%含む
- 4 10TR3/3 暗褐色シルト 粘性：強 締り：密 直径2m炭化物粒1%含む
- 5 10TR4/6 褐色シルト 粘性：強 締り：密 燃焼落土

第18図 S104カマド・S103

SB01

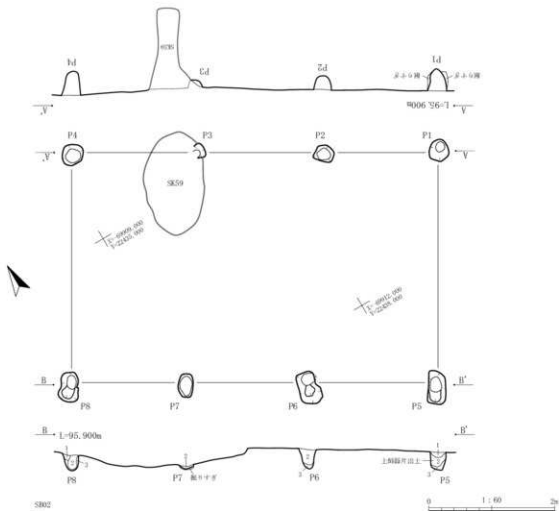


SB03



第19図 SB01・SB03

SB02



SB02

P1

103W3/2 黒褐色シルト 粘性: やや弱 締り: やや硬 ブロックなし

P2

103R3/2 黒褐色シルト 粘性: やや弱 締り: やや硬 直径1~3cm10R4/4褐色土(地山)ブロック5%、直径1cm炭化物3%以下含む

P3

103R2/3 黒褐色シルト 粘性: やや弱 締り: 中 直径1cm10R4/4褐色土(地山)ブロック5%含む

P4

103W3/2 黒褐色シルト 粘性: やや弱 締り: やや硬 ブロックなし

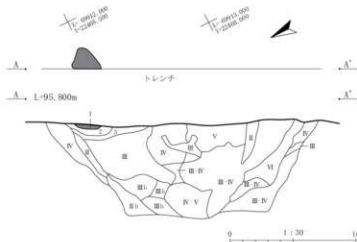
P5~8

1 103W3/2 黒褐色シルト 粘性: やや弱 締り: やや硬

2 103R2/3 黒褐色シルト 粘性: やや弱 締り: 中

3 103R2/3 黒褐色シルトと103R4/4褐色シルトの混合土 粘性: やや弱 締り: やや密

SN01



SN01 A-A'

II 103R2/3 黒褐色シルト 粘性: やや強 締り: やや密

III 103R2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: 密

IV 103R3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密

V 103R5/9 黄褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密

VI 103R6/8 明黄褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬

VII 103R2/3 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬

VIII 103R2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬

IX-V 103R4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬

III-IV 103R5/8 黄褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬

I 103R4/6 赤褐色シルト 粘性: 弱 締り: やや硬

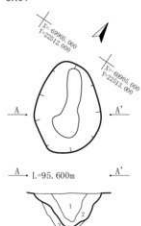
2 7.5R3/4 暗褐色シルト 粘性: 弱 締り: やや硬

3 103R2/3 黒褐色シルト 粘性: やや弱 締り: やや硬

第20図 SB02、SN01

2 検出遺構・出土遺物

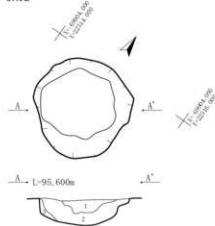
SK01



SK01 A-A'

- 1 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：強 締り：中
直径 1mm 以下褐色土粒 5%含む
- 2 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：強 締り：中や強 直径 1～2mm 褐色土粒 20%含む
- 3 10YR4/6 褐色シルト 粘性：強 締り：強 10YR2/2 黒褐色シルト 40%マール状を含む

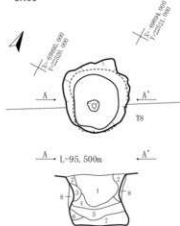
SK02



SK02 A-A'

- 1 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：強 締り：強 直径 1mm 以下褐色土粒 3%含む
- 2 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：強 締り：中や強 直径 1～2mm 褐色土粒 20%含む
- 3 10YR4/6 褐色シルト 粘性：強 締り：強 10YR2/2 黒褐色シルト 40%マール状を含む

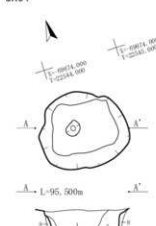
SK03



SK03 A-A'

- 1 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：強 締り：中や強 直径 1mm 以下褐色土粒 5%含む
- 2 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：中 締り：中や強 10YR4/4 褐色土ブロック 20%含む
- 3 10YR4/4 褐色シルト 粘性：中や強 締り：中や強
- 4 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：中や強 締り：中や強
- 5 10YR2/2 黒褐色シルト 40%マール状を含む
- 6 10YR4/4 褐色シルト 粘性：強 締り：強
- 7 10YR2/1 黒色シルト 粘性：強 締り：強
- 8 10YR4/6 褐色シルト 粘性：強 締り：密

SK04



SK04 A-A'

- 1 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：強 締り：中や強 直径 1mm 以下褐色土粒 5%含む
- 2 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：中や強 締り：中や強 10YR4/4 褐色シルト 40%マール状を含む
- 3 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：強 締り：強 直径 1～2mm 褐色土粒 10%含む
- 4 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：中や強 締り：中や強
- 5 10YR4/6 褐色シルト 粘性：強 締り：密
- 6 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：強 締り：強 直径 1～2mm 褐色土粒 3%含む
- 7 10YR4/6 褐色シルト 粘性：強 締り：中や強
- 8 10YR5/8 黄褐色シルト 粘性：強 締り：密

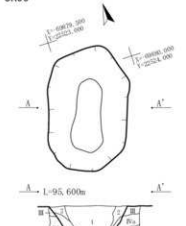
SK05



SK05 A-A'

- 1 10YR2/1 黒色シルト 粘性：中 締り：中 直径 1mm 以下褐色土粒 5%含む
- 2 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：中 締り：強 直径 2mm 褐色土粒 10%含む
- 3 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：強 締り：強
- 4 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：強 締り：中や強
- 5 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：強 締り：中や強
- 6 10YR2/1 黒色シルト 粘性：強 締り：中や強 直径 10～10YR4/4 褐色土ブロック 1%含む
- 7 10YR4/3 に近い黄褐色シルト 粘性：強 締り：密
- 8 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：強 締り：密
- 9 10YR4/4 褐色シルト 粘性：強 締り：密
- 10 10YR3/2 暗褐色シルト 粘性：強 締り：密
- 11 10YR4/4 褐色シルト 粘性：強 締り：強
- 12 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：強 締り：中や強
- 13 10YR4/4 褐色シルト 粘性：強 締り：強
- 14 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性：強 締り：密

SK06



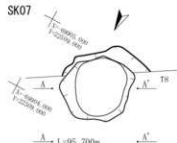
SK06 A-A'

- 1 10YR2/1 黒色シルト 粘性：中 締り：中や強 直径 1mm 以下褐色土粒 3%含む
- 2 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：中 締り：中や強
- 3 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：強 締り：密
- 4 10YR4/4 褐色シルト 粘性：強 締り：密
- IVa 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性：中や強 締り：密
- IVb 10YR5/8 黄褐色シルト 粘性：中や強 締り：密
- IVc 10YR5/8 黄褐色シルト 粘性：強 締り：密



第21図 SK01～06

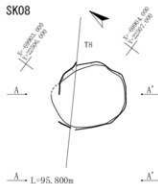
SK07



SK07 A-A'

- 1 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: やや硬 直径 1mm 以下褐色土粒 5% 含む
- 2 10YR2/3 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: やや硬 直径 2mm 褐色土粒 1% 含む
- 3 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密 直径 1mm 褐色土粒 2% 含む
- 4 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密 直径 1mm 褐色土粒 5% 含む
- 5 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密 直径 1mm 褐色土粒 5% 含む
- 6 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密

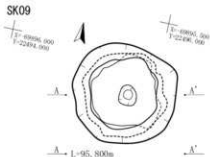
SK08



SK08 A-A'

- 1 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬
- 2 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや硬 10YR4/4 褐色シルト 50% 混状に含む
- 3 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや硬

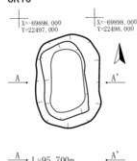
SK09



SK09 A-A'

- 1 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: やや硬 直径 1mm 以下褐色土粒 3% 含む
- 2 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: やや硬 直径 10cm 褐色土ブロック 10% 混状に含む
- 3 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬
- 4 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性: やや硬 締り: やや密 直径 5cm 褐色土ブロック 20% 混状に含む
- 5 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: やや硬
- 6 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密 10YR4/4 褐色シルト 50% 含む
- 7 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬
- 8 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬
- 9 10YR4/3 に二ノ項褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬
- 10 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや硬
- 11 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密

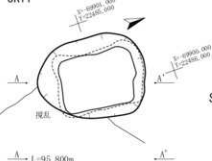
SK10



SK10 A-A'

- 1 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: やや硬 直径 1mm 褐色土粒 3% 含む
- 2 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密
- 3 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密 直径 5cm 褐色土ブロック 10% 含む
- 4 10YR2/1 黒色シルト 粘性: 強 締り: 硬 直径 3cm 褐色土ブロック 5% 含む
- 5 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密 10YR2/2 黒褐色土粒 50% オープン状に含む
- 6 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬
- 7 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密
- 8 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや硬
- 9 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: やや硬
- 10 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬

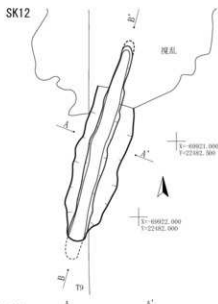
SK11



SK11 A-A'

- 1 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密 直径 1mm 褐色土粒 3% 含む
- 2 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや硬 10YR4/4 褐色シルト 50% 混状に含む
- 3 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: やや硬
- 4 10YR2/1 黒色シルト 粘性: 強 締り: やや密
- 5 10YR2/2 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密 直径 3cm 褐色土ブロック 5% 含む
- 6 10YR2/1 黒色シルト 粘性: 強 締り: やや密 直径 1mm 褐色土粒 5%, 直径 1mm 白色土粒 3% 含む
- 7 10YR2/2 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや硬
- 8 10YR2/1 黒色シルト 粘性: 強 締り: やや硬
- 9 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや硬
- 10 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや硬
- 11 10YR2/1 黒色シルト 粘性: 強 締り: 硬

SK12



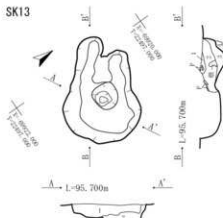
SK12 A-A'

- 1 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密
- 2 10YR3/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: 密
- 3 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや硬 10YR4/4 褐色シルト 50% 混状に含む
- 4 10YR2/2 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや硬 10YR4/4 褐色シルト 20% 混状に含む
- 5 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬 10YR2/3 暗褐色シルト 10% オープン状に含む
- 6 10YR2/1 黒色シルト 粘性: 強 締り: 硬

0 1:50 1m

第22図 SK07~12

SK13



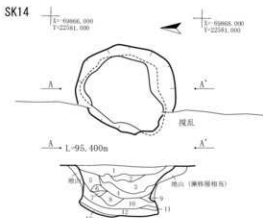
SK13 A-A'

- 1 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り; やや硬 直径 1mm 褐色土粒 5%、直径 2mm 炭化物粒 10% 含む
- 2 10YR3/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り; やや硬 10YR4/4 褐色シルト 50% 混状に含む

SK13 B-B'

- 1 10YR2/1 黒色シルト 粘性: 弱 締り; やや硬 土器多
- 2 10YR2/2 暗褐色シルト 粘性: 弱 締り; やや硬
- 3 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り; やや密
- 4 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り; 密

SK14

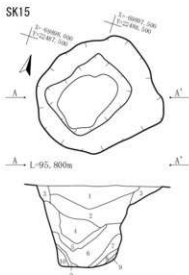


SK14 A-A'

- 1 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: やや強 締り; 密
- 2 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: やや強 締り; 硬 10YR4/4 褐色シルト 粉状 30% まばらに混じる
- 3 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り; 密 10YR4/4 褐色シルト 細粒 20% まばらに混じる 炭化物 散在含む

- 4 10YR2/3 黒褐色シルト 粘性: やや強 締り; やや硬 10YR4/4 褐色シルト 細粒 30% まばらに混じる
- 5 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: やや強 締り; やや密 10YR4/4 褐色シルト 10% 混状に含む
- 6 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り; 密
- 7 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: やや強 締り; やや硬 10YR4/4 褐色シルト 10% 混状に含む
- 8 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り; 密
- 9 10YR4/3 に近い黄褐色シルト 粘性: 強 締り; やや硬 地山起源の崩落土ブロック
- 10 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: やや強 締り; やや硬
- 11 10YR4/4 褐色シルト 粘性: やや強 締り; やや硬 地山起源の崩落土ブロック
- 12 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: やや強 締り; やや硬 細粒砂層少量含む
- 13 10YR4/2 灰黄褐色シルト 粘性: 強 締り; やや硬 10YR3/3 暗褐色シルト 10% 混状に含む

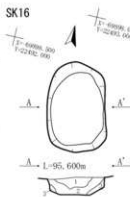
SK15



SK15 A-A'

- 1 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: やや強 締り; やや密
- 2 10YR2/1 黒色シルト 粘性: 強 締り; 硬
- 3 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: やや強 締り; やや硬 10YR4/4 褐色シルト 50% 混状に含む
- 4 10YR2/1 黒色シルト 粘性: 強 締り; 硬
- 5 10YR3/2 暗褐色シルト 粘性: 強 締り; やや密 直径 1mm 褐色土粒 20% 含む
- 6 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り; 密
- 7 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り; やや硬 10YR4/4 褐色シルト 30% 混状に含む
- 8 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り; やや密
- 9 10YR2/1 黒色シルト 粘性: 強 締り; やや硬
- 10 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り; 硬

SK16

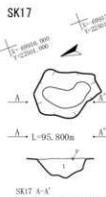


SK16 A-A'

- 1 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: やや強 締り; やや硬
- 2 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: やや弱 締り; 密 直径 10mm 10YR4/4 褐色土ブロック 3% 混状に含む

- 3 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り; やや密

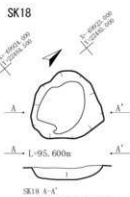
SK17



SK17 A-A'

- 1 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り; 密 直径 3mm 褐色土粒 3%、直径 5mm 炭化物粒 1% 含む

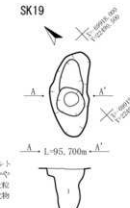
SK18



SK18 A-A'

- 1 10YR2/2 暗褐色シルト 粘性: やや弱 締り; やや硬 直径 1mm 10YR4/4 褐色シルト 20% 含む

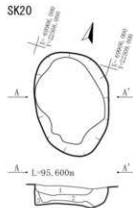
SK19



SK19 A-A'

- 1 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り; やや硬 直径 5mm 褐色土粒 3%、直径 5mm 炭化物 粒 3% 含む

SK20



SK20 A-A'

- 1 10YR2/2 暗褐色シルト 粘性: やや弱 締り; やや密 直径 1mm 以下 褐色土粒 5% 含む

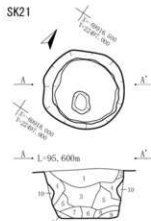
- 2 10YR2/1 黒色シルト 粘性: やや弱 締り; やや密 直径 1mm 褐色土粒 3% 含む

- 3 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り; 密 10YR3/2 黒褐色シルト 40% 混状に含む



第23図 SK13~20

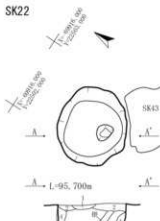
SK21



SK21 A-A'

- 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: やや弱 締り: やや密 直径 1mm 褐色土粒 3%含む
- 2 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 弱 締り: やや密 直径 1mm 褐色土粒 1%含む
- 3 10YR3/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: やや硬 直径 1mm 褐色土粒 3%含む
- 4 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: やや強 締り: やや密 10YR4/4 暗褐色シルト 50%混状に含む
- 5 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: やや弱 締り: 疎 直径 2mm 褐色土粒 3%含む
- 6 10YR3/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: 疎
- 7 10YR4/6 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 疎 10YR3/4 暗褐色シルト 10%含む
- 8 10YR4/6 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 疎 10YR3/4 暗褐色シルト 10%含む
- 9 10YR2/1 黒シルト 粘性: 強 締り: 疎 10YR3/4 暗褐色シルト 10%含む
- 10 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性: 強 締り: 密

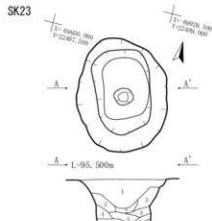
SK22



SK22 A-A'

- 1 10YR3/2 黒褐色シルト 粘性: やや弱 締り: やや密 直径 1mm 褐色土粒 3%含む
- 2 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 弱 締り: やや密 直径 1mm 褐色土粒 1%含む
- 3 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: 疎 直径 2mm 褐色土粒 5%含む
- 4 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 疎 10YR4/4 暗褐色シルト 50%混状に含む
- 5 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: 疎 10YR4/4 暗褐色シルト 50%混状に含む
- 6 10YR4/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 疎
- 7 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: 疎
- 8 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性: 強 締り: 密

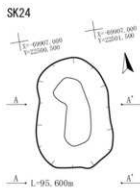
SK23



SK23 A-A'

- 1 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: やや弱 締り: やや密 直径 1mm 褐色土粒 3%含む
- 2 10YR3/2 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密 直径 10cm 10YR4/4 暗褐色シルト 30%混状に含む
- 3 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密 直径 10cm 10YR4/4 暗褐色シルト 30%混状に含む
- 4 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 密 直径 10cm 10YR4/4 暗褐色シルト 50%混状に含む
- 5 10YR2/1 黒シルト 粘性: 強 締り: やや硬 直径 10cm 10YR4/4 暗褐色シルト 10%混状に含む
- 6 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 密 直径 10cm 10YR4/4 暗褐色シルト 50%混状に含む
- 7 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: やや強 締り: やや密
- 8 10YR4/4 暗褐色シルト 粘性: やや強 締り: やや密
- 9 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: やや強 締り: 疎

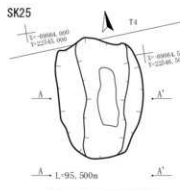
SK24



SK24 A-A'

- 1 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: やや弱 締り: やや密 直径 1mm 褐色土粒 3%含む
- 2 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: やや強 締り: やや密
- 3 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: やや強 締り: やや密
- 4 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや硬
- 5 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密 10YR4/4 暗褐色シルト 40%混状に含む
- 6 10YR4/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 密

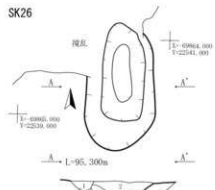
SK25



SK25 A-A'

- 1 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: やや強 締り: 密
- 2 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: 密 中心部は濃い赤褐色
- 3 10YR3/2 黒褐色シルト 粘性: やや強 締り: 密 微砂 5%含む
- 4 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: やや強 締り: やや硬
- 5 10YR3/1 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: やや硬
- 6 10YR4/3 赤い黄褐色シルト 粘性: やや強 締り: やや密 直径 10cm 大 10YR3/3 暗褐色シルト 5%混状に含む
- 7 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密 6のブロック上の一部のみ
- 8 10YR4/3 赤い黄褐色シルト 粘性: 強 締り: 密 直径 1cm 大 10YR8/8 黄褐色粘土 10%と大と混じる
- 9 10YR3/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: 密 直径 3cm 大 10YR8/8 黄褐色粘土 10%混状に含む

SK26

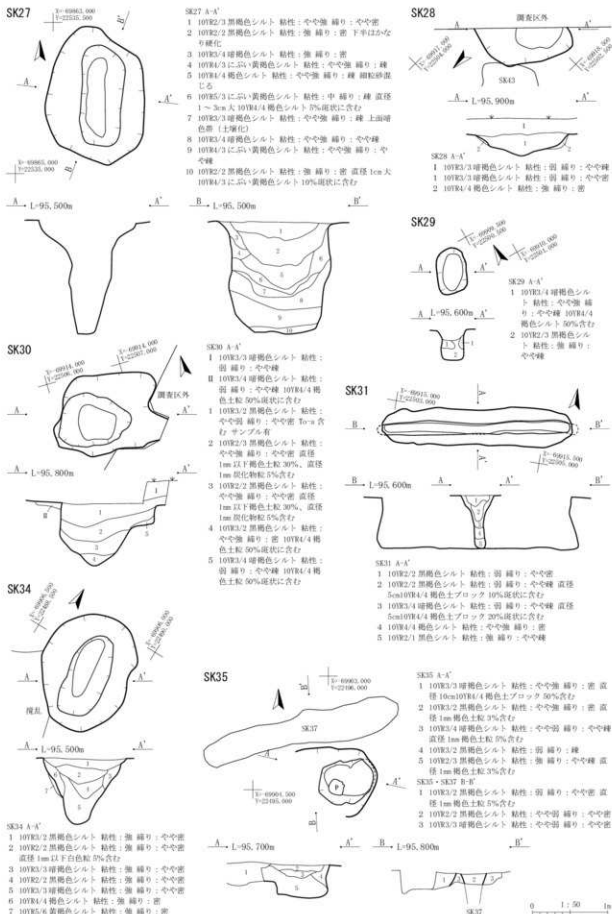


SK26 A-A'

- 1 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: やや強 締り: やや硬 植物による擾乱
- 2 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 密
- 3 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: 密
- 4 10YR4/3 赤い黄褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密
- 5 10YR4/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密
- 6 10YR4/4 暗褐色シルト 粘性: やや強 締り: 疎 崖上よりかぶりに緑色で締りがない
- 7 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: やや強 締り: やや硬 微砂 5%以下を含む
- 8 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: やや強 締り: 中
- 9 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密
- 10 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや硬
- 11 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 疎 直径 1cm 大 10YR3/4 暗褐色シルト 20%混状に含む
- 12 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 密 直径 3cm 大 10YR8/8 黄褐色粘土 10%混状に含む

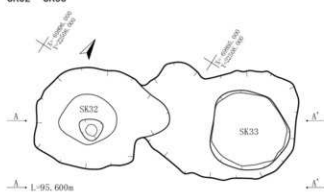
0 1:50 1m

第24図 SK21~26



第25図 SK27~31、SK34、SK35

SK32・SK33



SK32 A-A'

- 10IR2/2 黒色シルト 粘性:弱 締り:やや硬
- 10IR2/2 黒褐色シルト 粘性:やや弱 締り:やや硬
- 10IR3/3 暗褐色シルト 粘性:やや弱 締り:やや密 10IR4/4 褐色土粒 50%混状に含む
- 10IR3/3 暗褐色シルト 粘性:やや弱 締り:やや密
- 10IR3/3 暗褐色シルト 粘性:やや弱 締り:やや密 10IR4/4 褐色シルト 50%混状に含む
- 10IR2/1 黒色シルト 粘性:強 締り:やや硬 直径 1mm 褐色土粒 7%含む
- 10IR3/3 暗褐色シルト 粘性:強 締り:やや硬 10IR4/4 褐色シルト 50%混状に含む
- 10IR3/2 黒褐色シルト 粘性:やや弱 締り:やや密
- 10IR3/2 黒褐色シルト 粘性:強 締り:やや硬 10IR4/4 褐色シルト 50%混状に含む
- 10IR2/2 黒褐色シルト 粘性:強 締り:やや密
- 10IR3/2 黒褐色シルト 粘性:強 締り:やや密 10IR4/4 褐色シルト 50%混状に含む
- 10IR4/4 褐色シルト 粘性:強 締り:密
- 10IR3/4 暗褐色シルト 粘性:弱 締り:やや密
- 10IR2/2 黒褐色シルト 粘性:弱 締り:やや密
- 10IR3/2 暗褐色シルト 粘性:弱 締り:やや硬

SK33 A-A'

- 10IR2/2 黒褐色シルト 粘性:弱 締り:やや密 直径 1mm 褐色土粒 3%含む
- 10IR2/2 黒褐色シルト 粘性:強 締り:硬 直径 1mm ~ 1cm 褐色土粒 3%含む
- 10IR3/2 暗褐色シルト 粘性:強 締り:やや硬 直径 2 ~ 3mm 褐色土粒 20%含む
- 10IR4/4 褐色シルト 粘性:強 締り:やや密 10IR4/4 褐色土プロック 10%含む
- 10IR2/2 暗褐色シルト 粘性:強 締り:やや硬 直径 1 ~ 5mm 褐色土粒 20%含む
- 10IR3/3 暗褐色シルト 粘性:強 締り:やや密 10IR4/4 褐色シルト 50%含む
- 10IR3/2 暗褐色シルト 粘性:強 締り:やや密 10IR4/4 褐色シルト 50%含む
- 10IR3/2 暗褐色シルト 粘性:弱 締り:やや密 直径 2 ~ 3mm 褐色土粒 20%含む
- 10IR3/2 暗褐色シルト 粘性:弱 締り:やや硬 直径 1 ~ 5mm 褐色土粒 20%含む
- 10IR3/6 黄褐色シルト 粘性:強 締り:やや硬
- 10IR3/3 暗褐色シルト 粘性:強 締り:硬
- 10IR3/6 黄褐色シルト 粘性:強 締り:やや密
- 10IR3/3 暗褐色シルト 粘性:強 締り:やや硬
- 10IR3/6 黄褐色シルト 粘性:強 締り:硬
- 10IR3/3 暗褐色シルト 粘性:強 締り:硬
- 10IR4/4 褐色シルト 粘性:弱 締り:硬
- 10IR3/6 黄褐色シルト 粘性:やや硬 締り:密

SK38

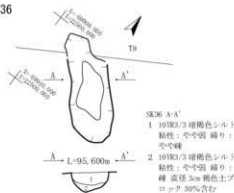


SK38 A-A'

- 10IR2/3 黒褐色シルト 粘性:中 締り:やや密
- 10IR3/2 黒褐色シルト 粘性:やや強 締り:やや密
- 10IR3/4 暗褐色シルト 粘性:やや強 締り:硬 直径 1cm 大 10IR4/4 褐色シルト 10%混状に含む

0 1:50 1m

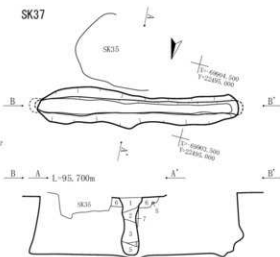
SK36



SK36 A-A'

- 10IR2/3 暗褐色シルト 粘性:やや弱 締り:やや硬
- 10IR3/3 暗褐色シルト 粘性:やや弱 締り:硬 直径 3mm 褐色土プロック 30%含む

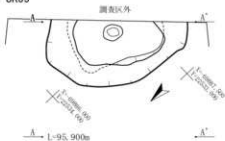
SK37



SK37 A-A'

- 10IR2/2 黒褐色シルト 粘性:強 締り:やや密
- 10IR2/2 黒褐色シルト 粘性:強 締り:やや硬 直径 3cm 10IR4/4 褐色土プロック 5%含む
- 10IR3/2 暗褐色シルト 粘性:強 締り:やや硬 直径 1mm 10IR4/4 褐色土粒 20%含む
- 10IR3/2 暗褐色シルト 粘性:強 締り:硬
- 10IR4/4 褐色シルト 粘性:強 締り:硬
- 10IR3/3 暗褐色シルト 粘性:強 締り:やや密
- 10IR4/4 褐色シルト 粘性:強 締り:密

SK39



調査区外

SK39 A-A'

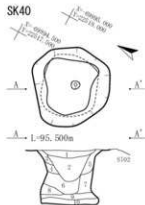
- 10IR2/2 黒褐色シルト 粘性:強 締り:やや硬
- 10IR3/3 暗褐色シルト 粘性:強 締り:やや密
- 10IR3/3 暗褐色シルト 粘性:強 締り:密
- 10IR4/4 褐色シルト 粘性:強 締り:硬
- 10IR2/2 黒褐色シルト 粘性:強 締り:やや密

SK39 A-A'

- 表土 粘性:やや強 締り:やや硬
- 10IR2/2 黒褐色シルト 粘性:やや強 締り:密 直径 3cm 大 10IR4/4 褐色シルト 5%点状に含む
- 10IR2/1 黒色シルト 粘性:やや強 締り:やや密 下平直径 5 ~ 10cm 大 10IR5/6 黄褐色シルト 10%混状に含む
- 10IR3/3 暗褐色シルト 粘性:やや強 締り:やや硬 直径 5 ~ 10cm 大 10IR4/3 に混入黄褐色シルト 20%混状に含む
- 10IR2/2 黒褐色シルト 粘性:強 締り:やや硬 直径 5cm 大 10IR4/4 褐色シルト 40%混状に含む
- 10IR2/2 黒褐色シルト 粘性:強 締り:やや密 直径 1cm 大 10IR4/4 褐色シルト 40%点状に含む
- 10IR2/3 暗褐色シルト 粘性:強 締り:やや密
- 10IR4/4 褐色シルトと 10IR3/3 暗褐色シルトの混入土 粘性:やや強 締り:硬
- 10IR2/3 暗褐色シルト 粘性:やや強 締り:密
- 10IR3/4 暗褐色シルト 粘性:やや強 締り:やや密
- 10IR2/2 黒褐色シルト 粘性:強 締り:やや密

第26図 SK32、SK33、SK36~39

SK40



SK40 A-A'

- 1 10YR2/3 黒褐色シルト 粘性: やや強 締り: やや密
- 2 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: やや強 締り: やや密
- 3 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: やや強 締り: やや疎
- 4 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや疎 直径 3cm 大 10YR4/4 褐色シルト 10% 混状に含む
- 5 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや疎
- 6 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: やや疎
- 7 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや疎
- 8 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: 疎
- 9 10YR4/3 に近い黄褐色シルト 粘性: やや強 締り: やや密 直径 1cm 大 10YR3/4 暗褐色シルト 10% 混状に含む
- 10 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: やや疎 直径 1cm 大 10YR4/4 褐色シルト 5% 粉状に含む

SK41



SK41 A-A'

- 1 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 中 締り: やや密
- 2 10YR2/1 黒褐色シルト 粘性: やや強 締り: やや密 細粒砂礫少量混じる
- 3 10YR2/1 黒褐色シルト 粘性: やや強 締り: やや疎 下部に直径 1cm 大 10YR4/3 に近い黄褐色シルト 20% 混状に含む
- 4 10YR2/3 黒褐色シルト 粘性: やや強 締り: やや疎 直径 1cm 大 10YR4/4 褐色シルト 30% 混状に含む
- 5 10YR4/4 褐色シルト 粘性: やや強 締り: やや疎 直径 3cm 大 10YR2/3 黒褐色シルト 20% 混状に含む
- 6 10YR4/3 に近い黄褐色シルト 粘性: やや強 締り: やや密 細粒砂礫少量混じる
- 7 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: やや強 締り: やや疎 直径 1cm 大 10YR4/3 に近い黄褐色シルト 25% 粉状に含む
- 8 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 密 直径 3cm 大 10YR3/8 黄褐色シルト 30% 混状に含む

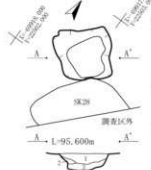
SK42



SK42 A-A'

- 1 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: やや弱 締り: やや密 直径 1cm 褐色土粒 5% 含む
- 2 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: やや弱 締り: やや疎 直径 1 ~ 2cm 褐色土粒 5% 含む
- 3 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: やや弱 締り: やや疎 直径 10YR4/4 褐色土ブロック 50% 混状に含む
- 4 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: やや疎 直径 1 ~ 2cm 褐色土粒 3% 含む
- 5 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: やや疎
- 6 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: やや疎
- 7 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密
- 8 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: 疎
- 9 10YR2/3 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密
- 10 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密
- 11 10YR2/1 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: やや疎
- 12 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや疎

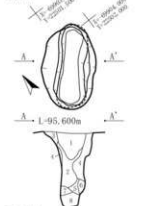
SK43



SK43 A-A'

- 1 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 弱 締り: やや密 直径 5mm 土粒 1%, 直径 1mm 褐色土粒 10% 含む
- 2 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 弱 締り: やや密 直径 1mm 褐色土粒 20% 含む
- 3 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 弱 締り: やや疎 直径 5cm 10YR4/4 褐色土ブロック 50% 混状に含む

SK44



SK44 A-A'

- 1 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: やや弱 締り: やや密 10YR4/4 褐色土ブロック 1% 混状に含む
- 2 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: やや強 締り: やや疎
- 3 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: やや密 締り: やや密
- 4 10YR4/4 褐色シルト 粘性: やや強 締り: やや疎
- 5 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや疎
- 6 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: やや疎
- 7 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: やや強 締り: やや疎
- 8 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 疎

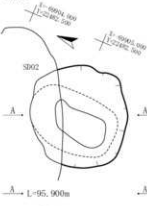
SK45



SK45 A-A'

- 1 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密 直径 5cm 10YR4/4 褐色土ブロック 50% 混状に含む
- 2 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密

SK46

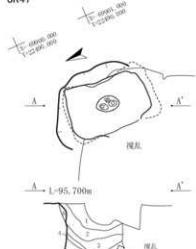


SK46 A-A'

- 1 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 弱 締り: やや密 直径 1 ~ 5mm 褐色土粒 3% 含む
- 2 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性: やや強 締り: やや疎
- 3 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: やや弱 締り: やや密 直径 1mm 褐色土粒 3% 含む
- 4 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 弱 締り: やや疎 直径 1mm 褐色土粒 3% 含む
- 5 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや疎 直径 1mm 褐色土粒 10% 含む
- 6 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: やや疎
- 7 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密
- 8 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: やや密
- 9 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: やや疎
- 10 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性: 強 締り: 疎
- 11 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: 疎 10YR2/2 黒褐色シルト 50% 含む
- 12 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性: 強 締り: 疎
- 13 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: 疎 10YR2/2 黒褐色シルト 50% 含む
- 14 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性: 強 締り: 疎
- 15 10YR6/6 明黄褐色シルト 粘性: 強 締り: 密

第27図 SK40~46

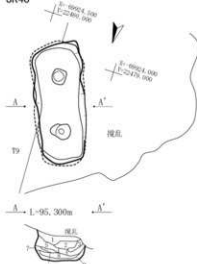
SK47



SK47 A-A'

- 1 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 中~弱 締り: 中~硬
- 2 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 中~強 締り: 中~硬 直径 1mm 褐色土粒 30% 含む
- 3 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬
- 4 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬
- 5 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬
- 6 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬
- 7 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬
- 8 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: 密
- 9 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬

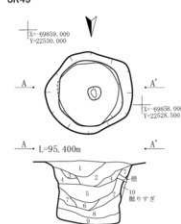
SK48



SK48 A-A'

- 1 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬
- 2 10YR3/2 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬
- 3 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 中~強 締り: 硬
- 4 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬
- 5 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬 直径 3mm 大 10YR4/4 褐色土ブロック 10% 混状に含む
- 6 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬
- 7 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 中~強 締り: 硬
- 8 10YR2/1 黒色シルト 粘性: 強 締り: 硬
- 9 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性: 弱 締り: 硬

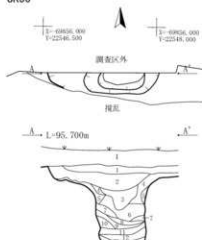
SK49



SK49 A-A'

- 1 10YR3/2 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬 直径 1mm 褐色土粒 10% 含む
- 2 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬
- 3 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬
- 4 10YR2/2 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬 直径 10mm 大 10YR3/3 暗褐色土ブロック 20% 含む
- 5 10YR2/2 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬 直径 10mm 大 10YR4/4 褐色土ブロック 3% 含む
- 6 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬 直径 1mm ~ 5mm 褐色土粒 20% 含む
- 7 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬
- 8 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性: 中~強 締り: 中~硬
- 9 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬
- 10 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性: 強 締り: 密

SK50

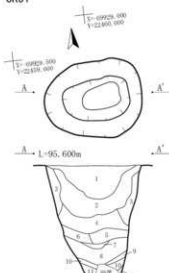


SK50 A-A'

- 1 2.5Y3/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: 密 砂状 70%
- 1 10YR3/2 暗褐色シルト 粘性: 中~強 締り: 密
- 2 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 中~強 締り: 密
- 3 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性: 中~強 締り: 中~硬
- 4 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 中~強 締り: 中~硬
- 5 10YR4/4 褐色シルト 50% 混状に含む
- 6 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 中~強 締り: 硬
- 7 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬
- 8 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬
- 9 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬
- 10 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬
- 11 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬
- 12 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬
- 13 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬

0 1:50 1m

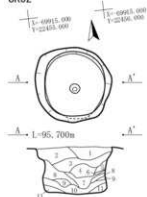
SK51



SK51 A-A'

- 1 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 弱 締り: 硬
- 2 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 中~弱 締り: 中~硬
- 3 10YR4/6 褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬
- 4 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬
- 5 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬 10YR7/4 に 5% 黄褐色砂質 50% 含む
- 6 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬
- 7 10YR6/8 明黄褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬
- 8 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬
- 9 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: 硬
- 10 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬
- 11 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬

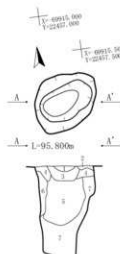
SK52



SK52 A-A'

- 1 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 中~強 締り: 中~硬 直径 5mm 炭化粉粒 3% 含む
- 2 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 中~強 締り: 密
- 3 10YR3/2 暗褐色シルト 粘性: 中~強 締り: 密 直径 1mm 褐色土粒 2% 含む
- 4 10YR2/2 暗褐色シルト 粘性: 中~強 締り: 密 直径 3mm 炭化粉粒 1% 含む
- 5 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 中~強 締り: 中~硬
- 6 10YR2/2 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬
- 7 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬 中~硬 10YR3/3 暗褐色シルト 30% 混状に含む
- 8 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬
- 9 10YR4/6 褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬
- 10 10YR2/1 黒色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬
- 11 10YR4/6 褐色シルト 粘性: 強 締り: 中~硬

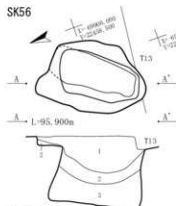
SK53



SK53 A-A'

- 1 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性:弱 締り:密
- 2 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性:強 締り:中々密
- 3 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性:中々強 締り:中々密
- 4 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性:中々強 締り:中々密
- 5 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性:中々強 締り:中々疎
- 6 10YR4/6 褐色シルト 粘性:中々弱 締り:中々疎
- 7 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性:中々強 締り:中々密

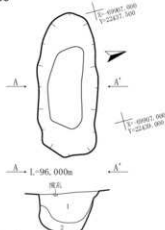
SK56



SK56 A-A'

- 1 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性:中々強 締り:中々疎
- 2 10YR4/6 褐色シルト 粘性:強 締り:中々疎
- 3 10YR4/4 褐色シルト 粘性:強 締り:疎

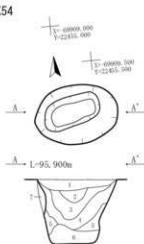
SK58



SK58 A-A'

- 1 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性:中々強 締り:中々疎
 - 2 10YR4/4 褐色シルト 粘性:中々強 締り:中々疎
- 直径1cmの10YR2/3 暗褐色シルト10%混状を含む

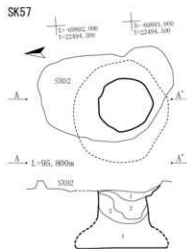
SK54



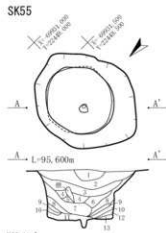
SK54 A-A'

- 1 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性:中々強 締り:中々密
- 2 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性:中々強 締り:中々密
- 3 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性:中々強 締り:密
- 4 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性:強 締り:中々密
- 5 7.5YR3/4 暗褐色シルト 粘性:強 締り:中々疎
- 6 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性:強 締り:中々疎
- 7 10YR4/4 褐色シルト 粘性:強 締り:密

SK57



SK55



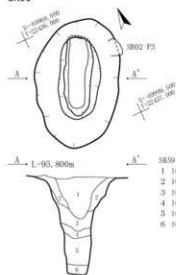
SK55 A-A'

- 1 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性:中々強 締り:中々密
- 2 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性:強 締り:密
- 3 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性:強 締り:密
- 4 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性:強 締り:疎
- 5 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性:強 締り:疎
- 6 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性:強 締り:中々疎
- 7 10YR3/2 暗褐色シルト 粘性:中々強 締り:中々疎
- 8 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性:強 締り:中々疎
- 9 10YR3/2 暗褐色シルト 粘性:強 締り:疎
- 10 10YR4/4 褐色土粒30%混状を含む
- 11 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性:強 締り:疎
- 12 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性:強 締り:疎
- 13 10YR4/4 褐色シルト 粘性:強 締り:疎

SK57 A-A'

- 1 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性:弱 締り:中々密
 - 2 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性:強 締り:中々密
 - 3 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性:弱 締り:中々密
- 直径5mm~2mm土粒3%, 直径5mm以下粒3%含む
- 4 10YR4/4 褐色シルト 粘性:中々強 締り:中々密
- 10YR3/3 暗褐色シルトを含む

SK59



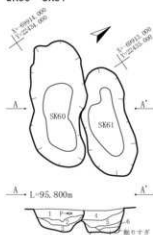
SK59 A-A'

- 1 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性:中々強 締り:中々疎
- 2 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性:中 締り:中々密
- 3 10YR4/4 褐色シルト 粘性:強 締り:中々疎
- 4 10YR4/3 に近い黄褐色シルト 粘性:中々強 締り:疎
- 5 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性:中々強 締り:中々疎
- 6 10YR2/2 暗褐色シルト 粘性:強 締り:密

0 1:50 1m

第29図 SK53~59

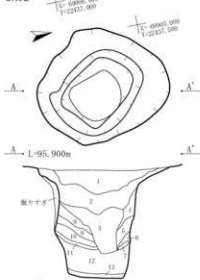
SK60・SK61



SK60・SK61 A-A'

- 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬
- 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬 直径1cm大10YR4/4 褐色シルト10%混在含む
- 10YR3/3 暗褐色シルトと10YR4/4 褐色シルトの混合土
- 10YR2/3 黒褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬
- 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬
- 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：強 締り：硬
- 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：強 締り：硬
- 10YR4/3 に多い黄褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬

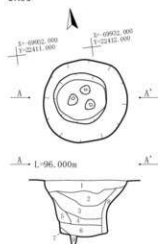
SK62



SK62 A-A'

- 10YR2/1 黒色シルト 粘性：強 締り：硬
- 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬
- 10YR2/1 黒色シルト 粘性：強 締り：やや硬
- 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬 直径3cm大10YR4/4 褐色シルト10%含む
- 10YR4/3 に多い黄褐色シルト 粘性：やや強 締り：硬
- 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：強 締り：やや硬
- 10YR4/6 褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬
- 10YR4/3 に多い黄褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬
- 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：中
- 10YR4/3 に多い黄褐色シルト 粘性：やや強 締り：中
- 10YR3/2 黒褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬
- 10YR4/4 褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬
- 10YR2/1 黒色シルト 粘性：強 締り：硬

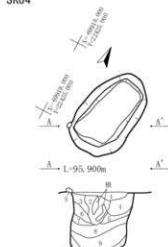
SK63



SK63 A-A'

- 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬
- 10YR2/2 暗褐色シルト 粘性：強 締り：密
- 10YR2/1 黒色シルト 粘性：強 締り：密
- 10YR2/2 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬
- 10YR4/4 褐色シルト 粘性：やや強 締り：硬
- 10YR2/2 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：硬
- 10YR4/4 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：密
- 10YR2/1 黒色シルト 粘性：強 締り：硬

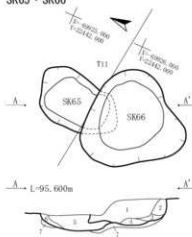
SK64



SK64 A-A'

- 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：やや弱 締り：硬
- 10YR2/1 黒色シルト 粘性：強 締り：硬
- 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬
- 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：強 締り：やや硬
- 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：強 締り：やや硬
- 10YR4/4 褐色シルト 粘性：強 締り：やや硬
- 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬
- 10YR4/6 褐色シルト 粘性：強 締り：やや硬
- 10YR4/4 褐色シルト 粘性：強 締り：密
- 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：強 締り：やや硬
- 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性：強 締り：やや硬

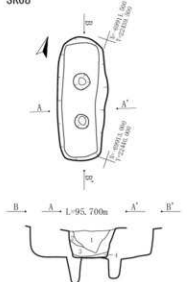
SK65・SK66



SK65・SK66 A-A'

- 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬
- 10YR4/4 褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬
- 10YR4/4 褐色シルト 粘性：強 締り：やや硬
- 10YR4/4 褐色シルト 粘性：強 締り：やや硬
- 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬
- 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：強 締り：やや硬
- 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性：強 締り：密

SK68

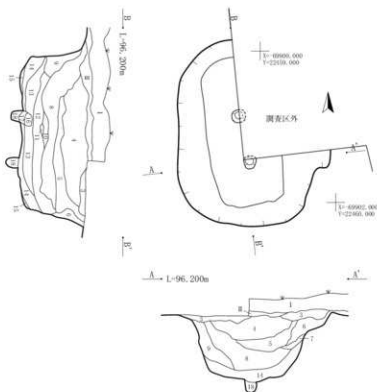


SK68 A-A'

- 10YR2/2 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：硬
- 10YR4/3 に多い黄褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬
- 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬
- 10YR4/6 褐色シルト 粘性：やや強 締り：硬

0 1:50 1m

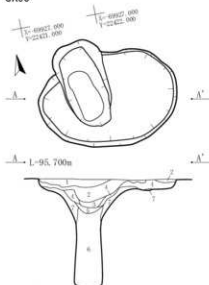
SK67



SK67 A-A' B-B'

- 1 10YR2/3 黒褐色シルト 粘性：中～弱 締り：密
- 2 10YR3/2 黒褐色シルト 粘性：中～強 締り：中～硬
- 3 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：中～強 締り：中～硬
- 4 10YR2/1 黒色シルト 粘性：中～強 締り：中～硬
- 5 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：強 締り：硬
- 6 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：強 締り：中～硬
- 10YR4/4 褐色シルト 50%含む
- 7 10YR4/4 褐色シルト 粘性：弱 締り：中～硬
- 8 10YR2/1 黒色シルト 粘性：強 締り：硬
- 9 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：強 締り：中～硬
- 10YR4/4 褐色シルト 50%含む
- 10 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：強 締り：硬
- 11 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：強 締り：硬 10YR4/4 褐色シルト 50%含む
- 12 10YR2/1 黒色シルト 粘性：強 締り：中～硬
- 13 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：強 締り：硬
- 14 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性：強 締り：密
- 15 10YR4/3 赤い黄褐色シルト 粘性：強 締り：密
- 16 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：強 締り：硬
- 17 10YR2/1 黒色シルト 粘性：強 締り：硬
- 18 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：強 締り：硬

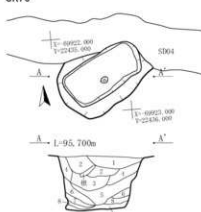
SK69



SK69 A-A'

- 1 10YR3/2 黒褐色シルト 粘性：弱 締り：中～密
- 2 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：弱 締り：中～密
- 3 10YR4/4 暗褐色シルト 粘性：弱 締り：中～密
- 4 10YR4/4 褐色シルト 粘性：弱 締り：密
- 5 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：弱 締り：密
- 6 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：弱 締り：密
- 7 10YR4/4 褐色シルト 粘性：弱 締り：密

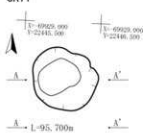
SK70



SK70 A-A'

- 1 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：中～弱 締り：中～硬
- 2 10YR2/1 黒色シルト 粘性：中～弱 締り：中～硬
- 3 10YR3/2 黒褐色シルト 粘性：中～弱 締り：中～硬
- 4 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：中～弱 締り：中～硬
- 5 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：中～強 締り：中～硬
- 6 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性：強 締り：中～硬
- 7 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：強 締り：中～硬
- 8 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：強 締り：中～硬
- 9 10YR4/4 褐色シルト 粘性：中～弱 締り：中～硬

SK71



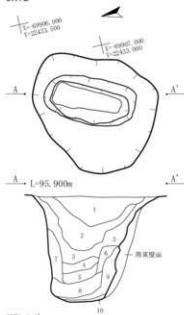
SK71 A-A'

- 1 10YR2/3 黒褐色シルト 粘性：中～強 締り：中～密
- 2 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：強 締り：中～密
- 3 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：強 締り：密
- 4 10YR4/4 褐色シルト 粘性：強 締り：中～密



第31図 SK67、SK69～71

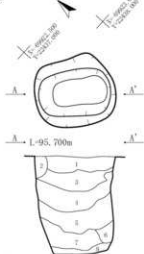
SK72



SK72 A-A'

- 1 10YK3/4 暗褐色シルト 粘性：やや弱 締り：密
- 2 10YK3/3 暗褐色シルト 粘性：中 締り：やや密
- 3 10YK4/4 褐色シルト 粘性：やや強 締り：疎
- 4 10YK5/3 に近い黄褐色シルト 粘性：強 締り：中
- 5 10YK6.0 明黄褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや疎
- 6 10YK3/4 暗褐色シルト 粘性：中 締り：疎
- 7 10YK3.5 に近い黄褐色シルト 粘性：やや強 締り：疎
- 8 10YK4/4 褐色シルト 粘性：やや弱 締り：疎
- 9 10YK6.0 明黄褐色シルト 粘性：強 締り：疎
- 10 10YK2/1 黒色シルト 粘性：強 締り：密

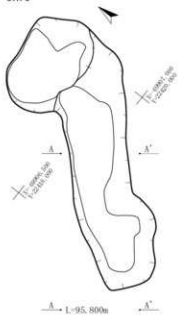
SK75



SK75 A-A'

- 1 10YK3/3 暗褐色シルト 粘性：弱 締り：やや疎
- 2 10YK3/4 暗褐色シルト 粘性：弱 締り：やや密
- 3 10YK3/2 黒褐色シルト 粘性：弱 締り：やや疎
- 4 10YK4/4 褐色シルト 粘性：弱 締り：やや密
- 5 10YK3/4 暗褐色シルト 粘性：弱 締り：やや疎
- 6 10YK4/4 褐色シルト 粘性：強 締り：やや疎
- 7 10YK3/3 暗褐色シルト 粘性：強 締り：やや疎
- 8 10YK2/3 黒褐色シルト 粘性：強 締り：密

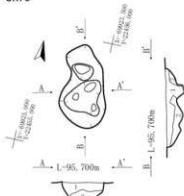
SK73



SK73 A-A'

- 1 10YK2/3 黒褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや疎
- 2 10YK4/4 褐色シルト 粘性：やや弱 締り：やや疎 藍住 1cm 10YK3/3 暗褐色土ブロック 10% 含む（下位のみ）

SK76

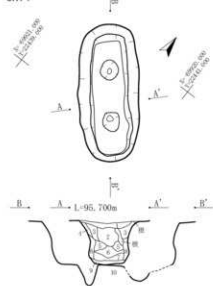


SK76 A-A' B-B'

- 1 10YK3/4 暗褐色シルト 粘性：弱 締り：やや疎
- 2 10YK4/4 褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや密

0 1:30 1m

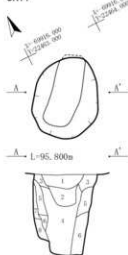
SK74



SK74 A-A'

- 1 10YK2/3 黒褐色シルト 粘性：弱 締り：やや疎
- 2 10YK2/3 黒褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや疎
- 3 10YK3/4 暗褐色シルト 粘性：やや弱 締り：やや疎
- 4 10YK4.6 褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや疎
- 5 10YK4.6 褐色シルト 粘性：強 締り：やや密
- 6 10YK3/4 暗褐色シルト 粘性：やや弱 締り：やや疎
- 7 10YK4.6 褐色シルト 粘性：強 締り：やや疎
- 8 10YK5.6 黄褐色シルト 粘性：強 締り：やや疎
- 9 10YK3/3 暗褐色シルト 粘性：強 締り：やや疎
- 10 10YK6.0 明黄褐色シルト 粘性：強 締り：密

SK77

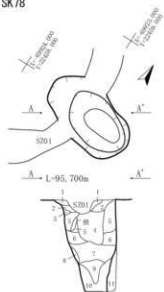


SK77 A-A'

- 1 10YK2/3 黒褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや密
- 2 10YK3/3 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや密
- 3 10YK4/4 褐色シルト 粘性：強 締り：やや疎
- 4 10YK4/4 褐色シルト 粘性：強 締り：やや疎
- 5 10YK5.6 黄褐色シルト 粘性：強 締り：やや疎
- 6 10YK4.6 褐色シルト 粘性：強 締り：やや疎
- 7 10YK5.9 黄褐色シルト 粘性：強 締り：密 締りすぎ
- 8 10YK6.0 明黄褐色シルト 粘性：強 締り：密 締りすぎ

第32図 SK72~77

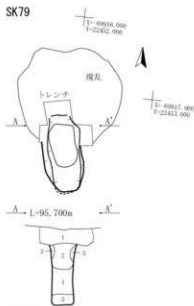
SK78



SK78 A-A'

- 1 10YR3/3暗褐色シルト 粘性:弱 締り:やや硬
- 2 10YR3/4暗褐色シルト 粘性:強 締り:やや密
- 3 10YR4/4褐色シルト 粘性:やや強 締り:やや硬
- 4 10YR3/3暗褐色シルト 粘性:やや強 締り:やや硬
- 5 10YR4/4褐色シルト 粘性:やや強 締り:やや密
- 6 10YR3/4暗褐色シルト 粘性:やや強 締り:やや硬
- 7 10YR3/4暗褐色シルト 粘性:強 締り:硬
- 8 10YR3/6黄褐色シルト 粘性:強 締り:硬
- 9 10YR3/4暗褐色シルト 粘性:強 締り:硬
- 10 10YR3/3暗褐色シルト 粘性:強 締り:密
- 11 10YR6.6明黄褐色シルト 粘性:強 締り:密

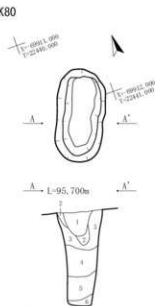
SK79



SK79 A-A'

- 1 10YR3/3暗褐色シルト 粘性:やや弱 締り:密
- 2 10YR3/4暗褐色シルト 粘性:強 締り:やや密
- 3 10YR4/6褐色シルト 粘性:強 締り:やや硬
- 4 10YR4/6褐色シルト 粘性:強 締り:硬
- 5 10YR2/3黒褐色シルト 粘性:強 締り:やや密

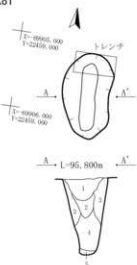
SK80



SK80 A-A'

- 1 10YR2/3黒褐色シルト 粘性:やや弱 締り:やや硬 直径3mm炭化粒約2%含む
- 2 10YR3/3暗褐色シルト 粘性:やや弱 締り:やや硬
- 3 10YR4/6褐色シルト 粘性:やや強 締り:やや密 直径2mm炭化粒約1%含む
- 4 10YR5/6黄褐色シルト 粘性:強 締り:やや硬 直径2mm炭化粒約1%含む
- 5 10YR5/6黄褐色シルト 粘性:強 締り:硬
- 6 10YR4/4褐色シルト 粘性:強 締り:密

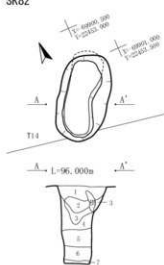
SK81



SK81 A-A'

- 1 10YR3/3暗褐色シルト 粘性:やや強 締り:やや硬
- 2 10YR3/4暗褐色シルト 粘性:強 締り:やや密
- 3 10YR4/6褐色シルト 粘性:弱 締り:やや密
- 4 10YR4/6褐色シルト 粘性:やや強 締り:硬
- 5 10YR3/4暗褐色シルト 粘性:強 締り:密

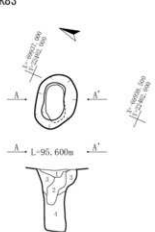
SK82



SK82 A-A'

- 1 10YR3/3暗褐色シルト 粘性:強 締り:やや密
- 2 10YR2/3黒褐色シルト 粘性:強 締り:やや硬
- 3 10YR3/4暗褐色シルト 粘性:強 締り:硬
- 4 10YR4/6褐色シルト 粘性:強 締り:やや密
- 5 10YR4/4褐色シルト 粘性:強 締り:やや硬
- 6 10YR4/6褐色シルト 粘性:強 締り:硬
- 7 10YR3/4暗褐色シルト 粘性:強 締り:密

SK83



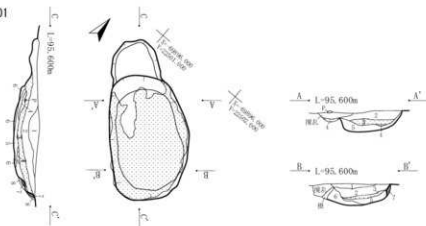
SK83 A-A'

- 1 10YR2/2黒褐色シルト 粘性:やや強 締り:やや硬
- 2 10YR2/3黒褐色シルト 粘性:やや強 締り:やや硬
- 3 10YR3/4暗褐色シルト 粘性:やや強 締り:やや硬 直径1mm褐色土粒1%含む
- 4 10YR3/4暗褐色シルト 粘性:やや強 締り:やや硬

0 1:50 1m

第33図 SK78~83

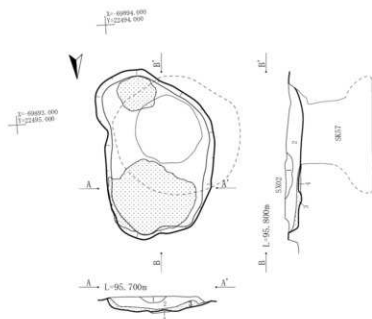
SX01



SX01 A-A' B-B' C-C'

- 1 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り; 中々密 直径 1mm 褐色土粒 3% 含む
- 2 10YR3/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り; 密 10YR3/4 暗褐色シルト (部分的にブロック) 30%混状, 下に堆土粒 10%含む
- 3 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 弱 締り; 疎 直径 1mm ~ 1cm 堆土粒 30% 含む
- 4 5YR5/8 明赤褐色シルト 粘性: 中々 弱 締り; 疎 直径 1mm 炭化物粒 5% 含む
- 5 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 弱 締り; 疎 直径 1mm 炭化物粒 5%, 直径 1mm ~ 2cm 堆土粒 30% 含む
- 6 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 中々強 締り; 中々密
- 7 5YR5/8 明赤褐色シルト ~ 5YR4/6 赤褐色シルト 粘性: 中々強 締り; 密
- 8 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 強 締り; 密

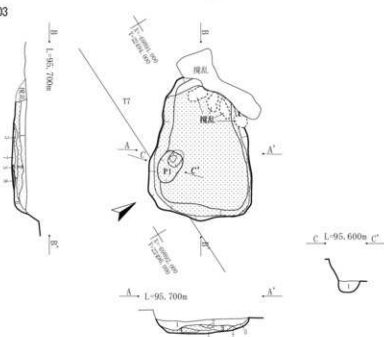
SX02



SX02 A-A' B-B'

- 1 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 弱 締り; 中々密
- 2 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 強 締り; 中々密
- 3 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性: 弱 締り; 中々密 直径 5mm ~ 2cm 堆土粒 3%, 直径 5mm 炭粒 3% 含む
- 4 10YR4/4 褐色シルト 粘性: 弱 締り; 密

SX03



SX03 A-A' B-B'

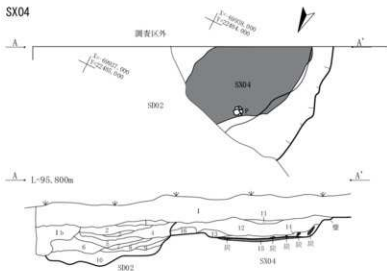
- 1 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 強 締り; 中々密 直径 2mm ~ 2cm 堆土粒 10%, 直径 3mm 褐色土粒 10% 含む
- 2 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 弱 締り; 中々密 直径 2mm 堆土粒 5%, 直径 3mm 褐色土粒 3% 含む
- 3 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 弱 締り; 中々密 直径 2mm 堆土粒 50% 含む
- 4 5YR5/8 明赤褐色シルト 粘性: 弱 締り; 密
- 5 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 中々 弱 締り; 中々疎 直径 2mm 堆土粒 50%, 炭化物粒多量に含む
- 6 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性: 中々 強 締り; 中々疎
- 7 10YR2/3 黒褐色シルト 粘性: 中々 強 締り; 中々疎 直径 5mm 堆土粒 5% 含む
- 8 5YR5/8 明赤褐色シルト 粘性: 弱 締り; 中々疎

SX03 P1 C-C'

- 1 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性: 中々 弱 締り; 疎 直径 5mm 堆土粒 5%, 直径 3mm 炭化物粒 3%, 直径 1cm 褐色土粒 3% 含む

0 1:40 1m

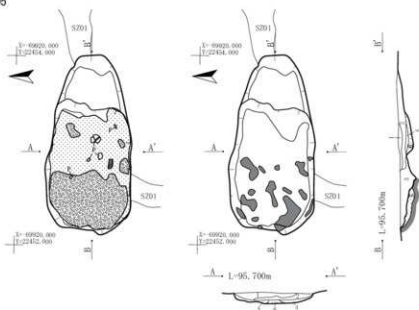
SX04



SX04+S002 A-A'

- 1 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや密
- 1b 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや疎
- 2 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：弱 締り：やや密
- 3 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：弱 締り：密
- 4 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：弱 締り：密
- 5 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：弱 締り：密
- 6 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：やや弱 締り：やや疎
- 7 10YR4/4 褐色シルト 粘性：やや弱 締り：密
- 10YR4/4 褐色シルト 50% 硬状を含む
- 8 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや密
- 9 10YR4/4 褐色シルト 粘性：やや弱 締り：やや密
- 10 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：強 締り：やや疎
- 10YR4/4 褐色土ブロック 直径 3~50% 硬状を含む
- 11 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：やや弱 締り：やや密
- 12 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：やや弱 締り：やや密
直径 1mm 褐色土粒 3% 含む
- 13 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：やや弱 締り：密
- 14 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：強 締り：やや疎 炭化材 20% 含む
- 15 5YR4/6 赤褐色シルト 粘性：弱 締り：やや疎
- 16 10YR4/4 褐色シルト 粘性：弱 締り：密

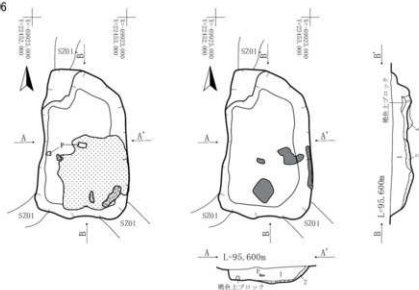
SX05



SX05 A-A' B-B'

- 1 10YR2/3 黒褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや密
- 2 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや密 直径 2cm 炭化材 3%、直径 1~5mm 褐色土粒 10% 含む
- 3 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや疎
- 4 10YR4/4 褐色シルト 粘性：やや強 締り：密 直径 5mm~3cm 5YR4/6 赤褐色土ブロック 50% 含む
- 5 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：強 締り：やや密 炭粒 70% 含む
- 6 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：強 締り：やや疎

SX06

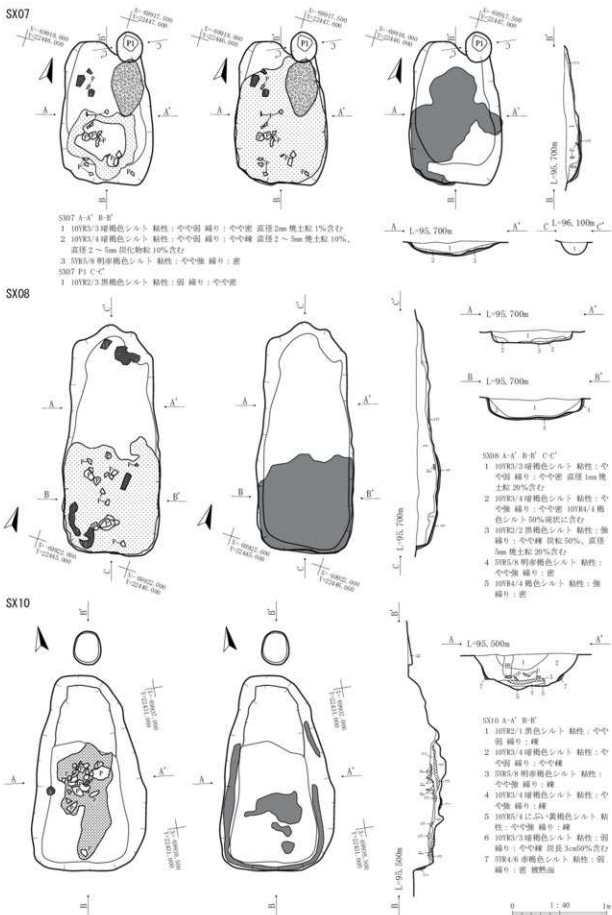


SX06 A-A' B-B'

- 1 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや疎 直径 2mm 黄土粒 3% 含む
- 2 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや疎 直径 3~5cm 黄土粒 20% 含む
- 3 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや疎
- 4 10YR4/4 褐色シルト 粘性：強 締り：やや密

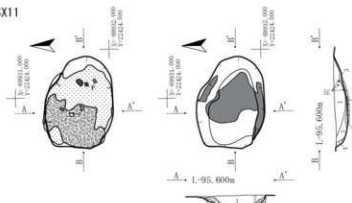


第35図 SX04~06



第36図 SX07、SX08、SX10

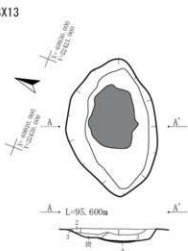
SX11



SX11 A-A' B-B'

- 1 10YR2/3 黒褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬
- 2 5YR5/6 明赤褐色シルト 粘性：弱 締り：硬 地上部厚土
- 3 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：やや弱 締り：やや硬 灰50%含む
- 4 5YR5/6 明赤褐色シルト 粘性：弱 締り：密
- 5 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬
- 6 5YR5/6 明赤褐色シルト 粘性：弱 締り：密
- 7 5YR5/8 明赤褐色シルト 粘性：弱 締り：硬

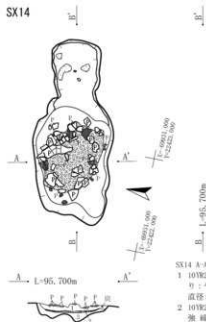
SX13



SX13 A-A'

- 1 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや密
- 2 10YR3/2 黒褐色シルト 粘性：やや強 締り：硬
- 3 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：やや強 締り：硬
- 4 5YR4/8 赤褐色シルト 粘性：やや強 締り：密

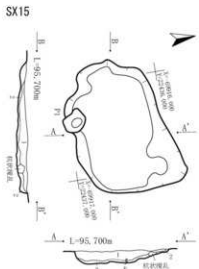
SX14



SX14 A-A' B-B'

- 1 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：強 締り：やや硬 直径5mm 焼土粒3%、直径2mm 炭化物粒3%含む
- 2 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬 灰50%含む
- 3 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬 褐色土粒1%含む

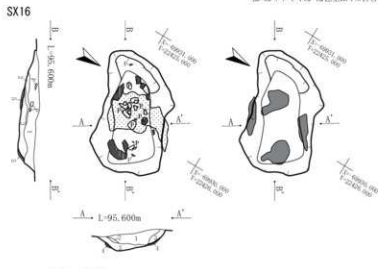
SX15



SX15 A-A' B-B'

- 1 10YR2/3 黒褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや密 炭化物焼土層含む
- 2 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや密 直径1cm 炭化物粒5%、直径1~5cm 大焼土粒（下部を中心に密度高く）40%混、層状に堆積する

SX16



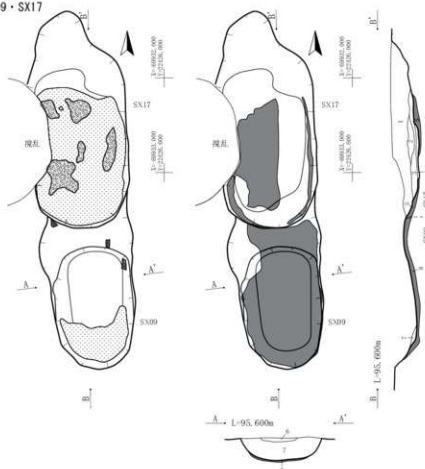
SX16 A-A' B-B'

- 1 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：弱 締り：やや硬
- 2 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：やや弱 締り：やや硬 直径2~5mm 焼土粒30%、直径2~5mm 炭30%含む
- 3 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：弱 締り：やや硬 直径2~5mm 焼土粒30%、直径2~5mm 炭30%含む
- 4 5YR5/6 明赤褐色シルト 粘性：弱 締り：硬
- 5 5YR4/8 赤褐色シルト 粘性：弱 締り：やや密

0 1:40 1m

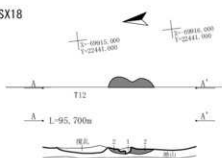
第37図 SX11、SX13~16

SX09・SX17



- SX09・17 A-A' B-B'
- 1 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：弱 締り：やや強 直径 5mm 炭 10%、直径 3～5mm 焼土粒 20%、直径 2～5mm 10YR4/6 褐色土粒 10%含む
 - 2 10YR4/6 褐色シルト 粘性：弱 締り：密
 - 3 10YR2/3 黒褐色シルト 粘性：やや弱 締り：やや強 直径 5mm 炭 5%含む
 - 4 10YR6/6 明黄褐色シルト 粘性：弱 締り：密
 - 5 5YR5/6 明赤褐色シルト 粘性：弱 締り：密
 - 6 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや強
 - 7 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや密 直径 3mm 褐色土粒 1%、直径 5mm 炭化物粒 1%含む
 - 8 5YR5/6 明赤褐色シルト 粘性：弱 締り：密

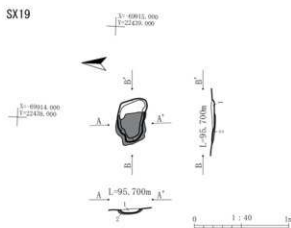
SX18



SX18 A-A'

- 1 10YR3/2 黒褐色シルト 粘性：弱 締り：やや強 直径 1～3cm 炭化物粒、直径 1～3cm 焼土ブロック、合計 20%含む
- 2 7.5YR4/6 褐色シルト 粘性：弱 締り：密 10YR4/4 褐色シルトの串化

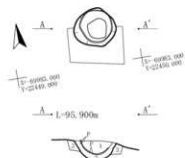
SX19



SX19 A-A' B-B'

- 1 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや強 直径 2mm 焼土粒 3%含む
- 2 5YR4/6 赤褐色シルト 粘性：弱 締り：やや強 焼熟面

SX12

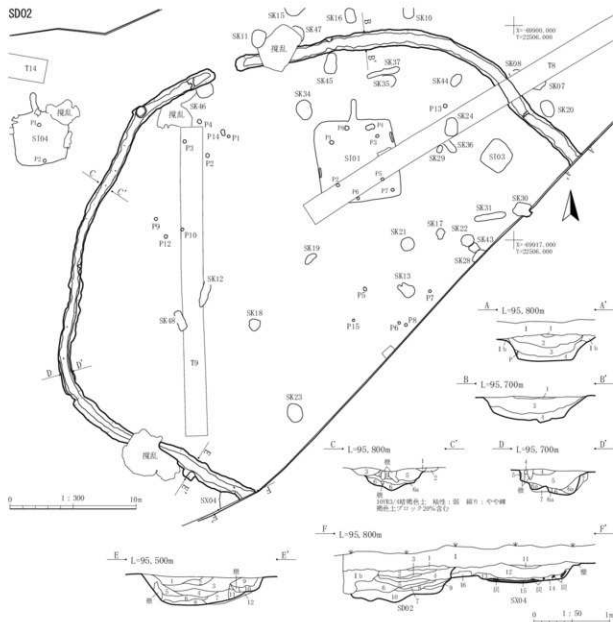


SX12 A-A'

- 1 10YR4/4 褐色シルト 粘性：弱 締り：やや密 直径 3mm 炭化物粒 10%含む
- 2 10YR4/6 褐色シルト 粘性：弱 締り：密
- 3 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性：強 締り：密

第38図 SX09、SX17～19、SX12

SD02



SD02 A-A' B-B'

- 1 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性:弱 締り:やや密
- 1b 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性:弱 締り:やや密
- 2 10YR2/1 黒色シルト 粘性:強 締り:やや硬 土中散在
- 3 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性:強 締り:やや硬
- 3 10YR2/3 黒褐色シルト 粘性:強 締り:やや硬 直径1mm褐色土粒10%含む
- 4 10YR3/4 褐色シルト 粘性:強 締り:やや密 10YR4/4 褐色シルト50%混状に含む

SD02 E-E'

- 1 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性:やや弱 締り:やや密
- 2 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性:強 締り:やや密
- 3 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性:強 締り:やや硬 直径2mm褐色土粒3%含む
- 4 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性:強 締り:密 直径5mm褐色土粒3%含む
- 5 10YR2/4 褐色シルト 粘性:強 締り:やや硬
- 6 10YR4/4 褐色シルト 粘性:強 締り:密 10YR3/3 暗褐色シルト30%混状に含む
- 7 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性:強 締り:やや密 10YR4/4 褐色シルト5%混状に含む
- 8 10YR3/6 黄褐色シルト 粘性:強 締り:やや密
- 9 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性:強 締り:密
- 10 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性:強 締り:やや密 10YR3/3 暗褐色シルト50%混状に含む
- 11 10YR4/4 褐色シルト 粘性:強 締り:やや硬 10YR3/3 暗褐色シルト50%混状に含む
- 12 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性:強 締り:硬

SD02 C-C' D-D'

- 1 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性:弱 締り:密 印道
- 2 10YR4/4 褐色シルト 粘性:弱 締り:密 印道
- 3 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性:弱 締り:密 印道
- 4 10YR2/3 黒褐色シルト 粘性:弱 締り:やや硬 直径1mm褐色土粒1%含む
- 5 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性:やや弱 締り:密 直径1mm褐色土粒3%含む
- 6a 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性:やや弱 締り:硬 直径3mm褐色土粒10%含む
- 6 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性:やや弱 締り:やや密 直径3mm褐色土ブロック30%混状に含む
- 7 10YR4/4 褐色シルト 粘性:強 締り:密

SD02 F-F'

- 1 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性:やや弱 締り:やや密
- 1b 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性:やや強 締り:やや硬
- 1 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性:弱 締り:やや密
- 2 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性:弱 締り:密
- 3 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性:弱 締り:やや密
- 4 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性:弱 締り:密
- 5 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性:弱 締り:密
- 6 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性:やや弱 締り:やや硬
- 7 10YR4/4 褐色シルト 粘性:やや弱 締り:密 10YR4/4 褐色シルト50%混状に含む
- 8 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性:やや弱 締り:やや密
- 9 10YR4/4 褐色シルト 粘性:やや弱 締り:やや密
- 10 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性:強 締り:やや密 直径3mm褐色土ブロック50%混状に含む
- 11 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性:やや弱 締り:やや密
- 12 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性:やや弱 締り:やや密 直径1mm褐色土粒3%含む
- 13 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性:やや弱 締り:密
- 14 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性:強 締り:やや硬 炭化材20%含む
- 15 10YR4/6 褐色シルト 粘性:弱 締り:やや硬
- 16 10YR4/4 褐色シルト 粘性:弱 締り:密

第40図 SD02

SD04~07



SD04 A-A' L-95,800m A' A'
SD04 B-B' L-95,700m B' B'
SD04 C-C' L-95,700m C' C'



SD04 A-A' B-B' C-C'

- 1 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬 直径3～5mm 褐色土粒 3%含む
- 2 10YR3/2 黒褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬
- 3 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：硬 直径1mm10YR4/4 褐色土粒 50%含む

SD05 A-A' L-95,800m A' A'



SD05 A-A'

- 1 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬 直径3～5mm 褐色土粒 3%含む
- 2 10YR3/2 黒褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬

SD06 A-A' L-96,500m A' A'
SD06 B-B' L-96,200m B' B'



SD06 A-A' B-B'

- 1 10YR3/2 黒褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬
- 2 10YR4/3 上に5%黄褐色シルト 粘性：やや強 締り：やや硬

SD07 A-A' L-95,700m A' A'



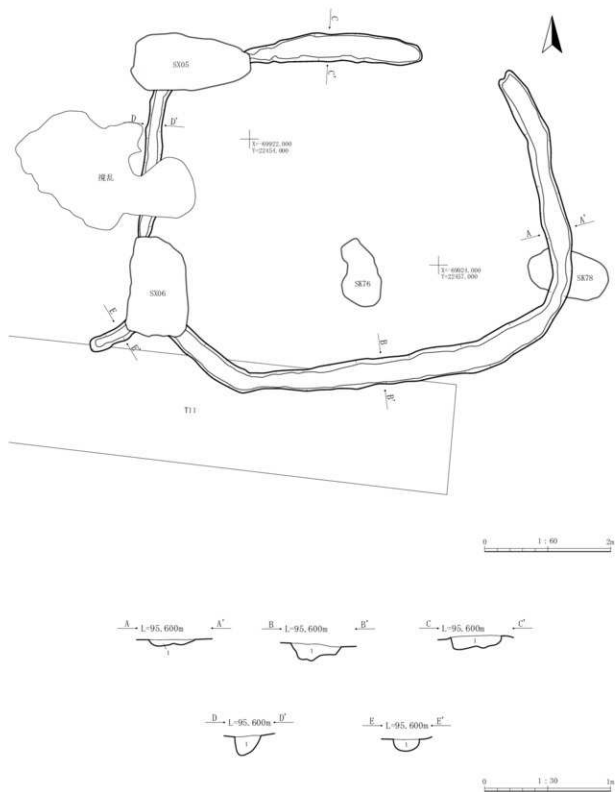
SD07 A-A'

- 1 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性：弱 締り：硬 直径1～5mm10YR5/6 黄褐色土ブロック 20%混在を含む
- 2 10YR5/6 黄褐色シルト 粘性：強 締り：密 均質

0 1:30 1m

第41図 SD04~07

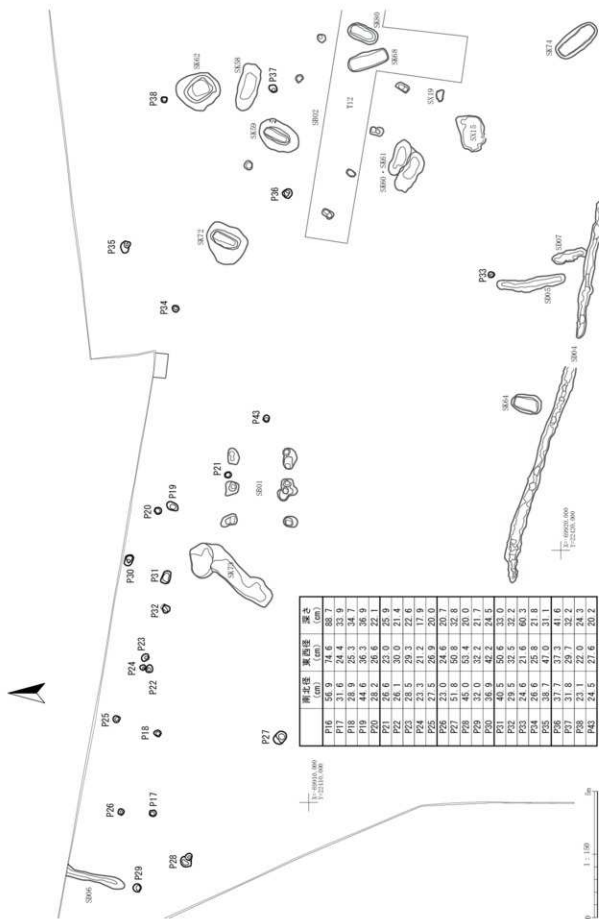
SZ01



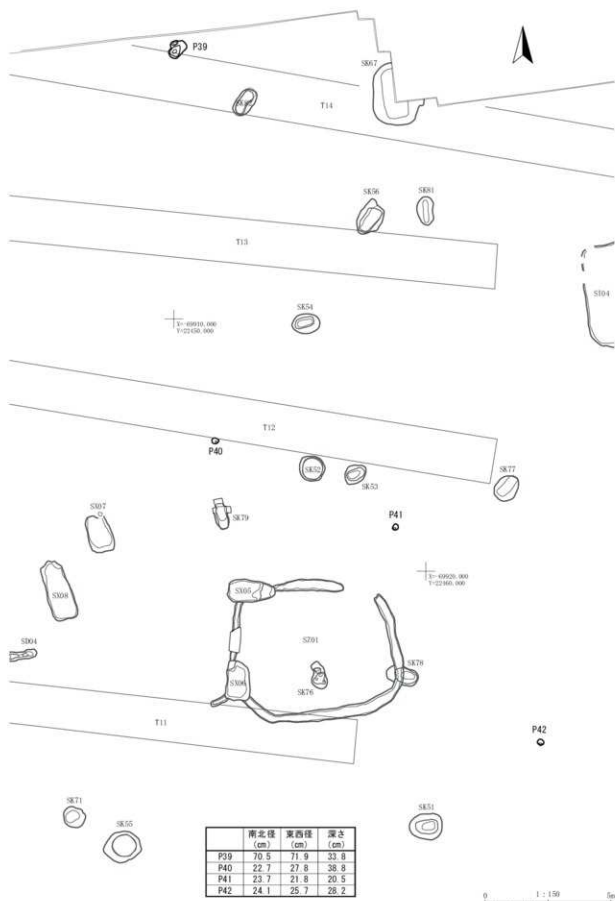
SZ01 A~E

T 101K3/3 緑褐色シルト・黏土：黒り・やや緑 直径3~5mm 101K5/6 黄褐色シルト 10% 含む

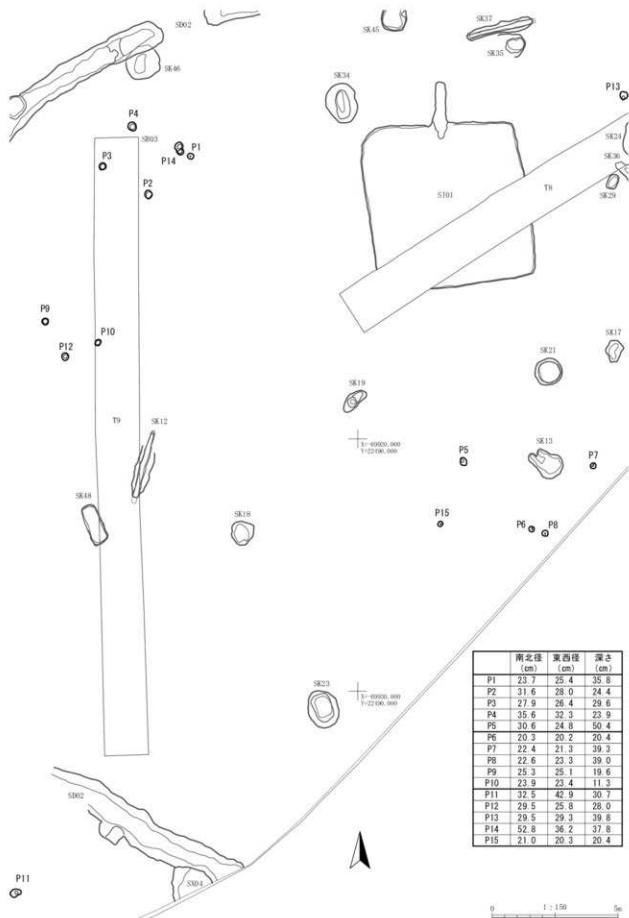
第42図 SZ01



第43回 柱穴状小土坑(1)



第44図 柱穴状小土坑(2)



第45図 柱穴状小土坑(3)

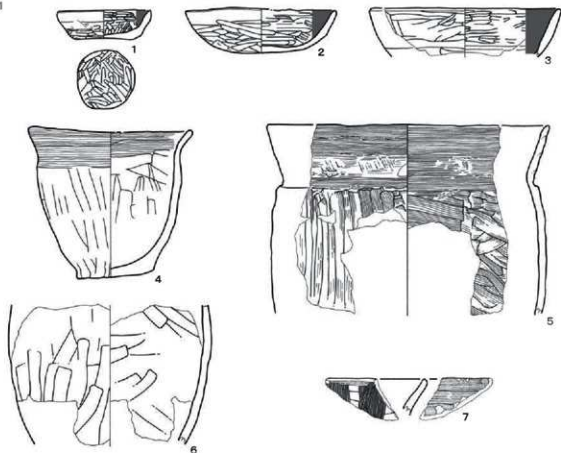
第2表 不掲載土器一覧

遺構名	土師器(外)環			土師器(内黒)環			土師器(内赤黒)環			土師器(赤)			赤彩環			赤彩壺			その他	
	口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部		
SI01	1									2	31		2					1		
SI02											33									
SI04	2	2	1	1	6	2				9	149	2		11				7	2	縄文5
SI03											4									縄文4
SI01F1											1									
SI02																				
SI03																				
SK01																				
SK02																				
SK03																				
SK04																				
SK05																				
SK06																				
SK07																				
SK08																				
SK09																				
SK10																				
SK11																				
SK12																				
SK13							1			1	34								5	
SK14																				
SK15																				
SK16																				
SK17						1				4	25	2								
SK18																				
SK19																				3
SK20																				
SK21																				
SK22																				
SK23																				
SK24																				
SK25																				
SK26																				
SK27																				
SK28										1										
SK29																				
SK30						1					10							1	9	縄文1
SK31																				
SK32																				
SK33																				
SK34																				
SK35											2									
SK36																				
SK37																				
SK38										4	1									
SK39																				
SK40																				
SK41																				
SK42																				
SK43																				
SK44																				
SK45																				
SK46																				
SK47																				
SK48																				
SK49																				
SK50																				
SK51																				
SK52																				
SK53																				
SK54																				
SK55																				
SK56																				
SK57																				
SK58						3	2				23								4	

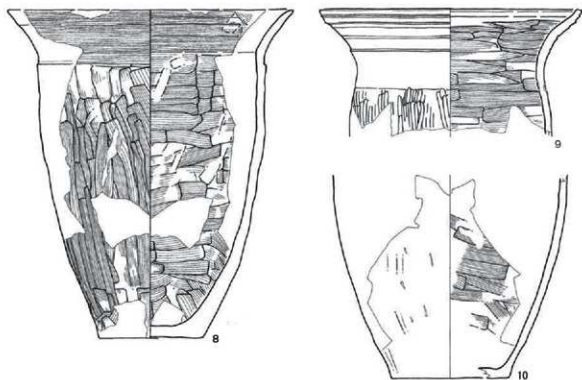
2 検出遺構・出土遺物

遺構名	土師器(外)			土師器(内黒)環			土師器(内外黒)環			土師器甕			赤彩杯			赤彩壺			その他
	口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	
SK59																			
SK60						2	1					4	1						
SK61																			
SK62																			
SK63																			
SK64																			
SK65																			
SK66																			
SK67																			
SK68																			
SK69																			
SK70																			
SK71																			
SK72																			
SK73																			
SK74																			
SK75																			
SK76																			
SK77																			
SK78																			
SK79																			
SK80																			
SK81																			
SK82																			
SX01											1								
SX02					1						11	1							縄文1
SX03	2						1					2							
SX04					1						3	5	3						
SX05												10	2						
SX06																		1	縄文2
SX07											4	8	2						
SX08	1										5	1	1	1			1	7	
SX09					2						1	1	1					1	
SX10	1										1	6	1					2	
SX11					1	1					1								
SX13											3	1							
SX14																			
SX15											2	1							
SX16	2				2	2	1				4	4						1	
SX17					1						1			1					
SX18																			
SX19																			
SX12																			縄文33
SD01											5							3	縄文8
SD02					1						8	25						1	縄文2
SD04						11								1					器具?
SD05											1								
SD06					1						1								
SD07																			
P6											1								
P16											2								
P20											1								
P22											1								
P23											1								
P24											2								
P26											1								
P39											1								
T8											4	9							
T14											4								
西区					2	4	2				1	30	3		2				須恵器壺1・縄文7
東区					1						1	30	2		1			1	須恵器小豆状罎1・縄文22
埋戻、表採								1			2								須恵器埋戻1
合計	9	2	1	9	37	7	2	1	0	46	493	26	4	15			2	45	3

S101



S102



0 1:3 10cm

第46図 S101・S102 出土土器

S104



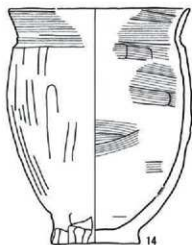
11



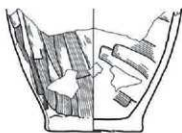
12



13



14



15



16



17



18



19

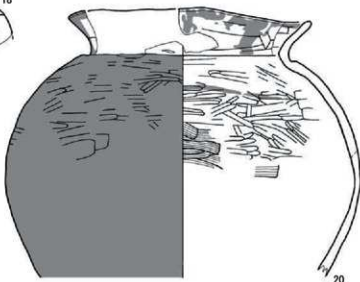
S103



22



23



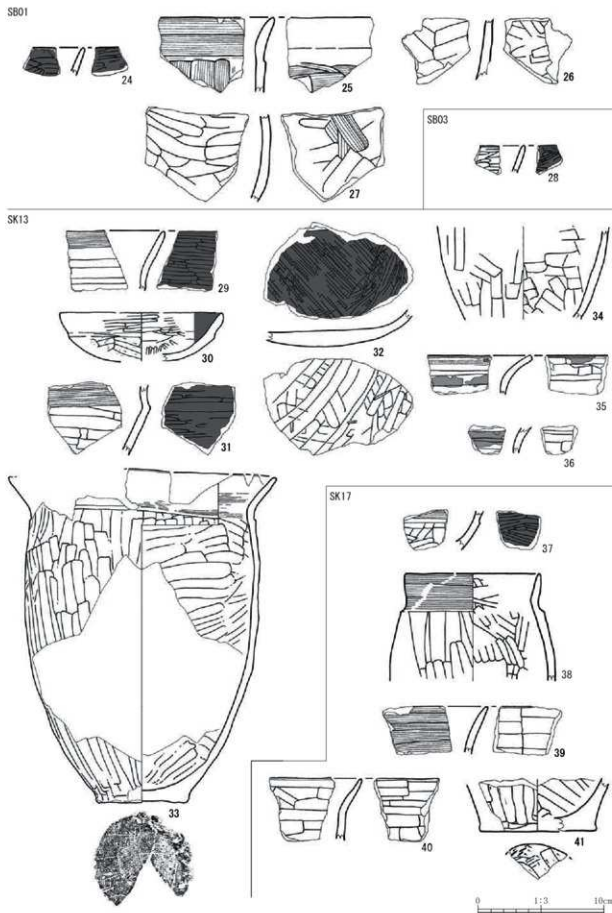
20



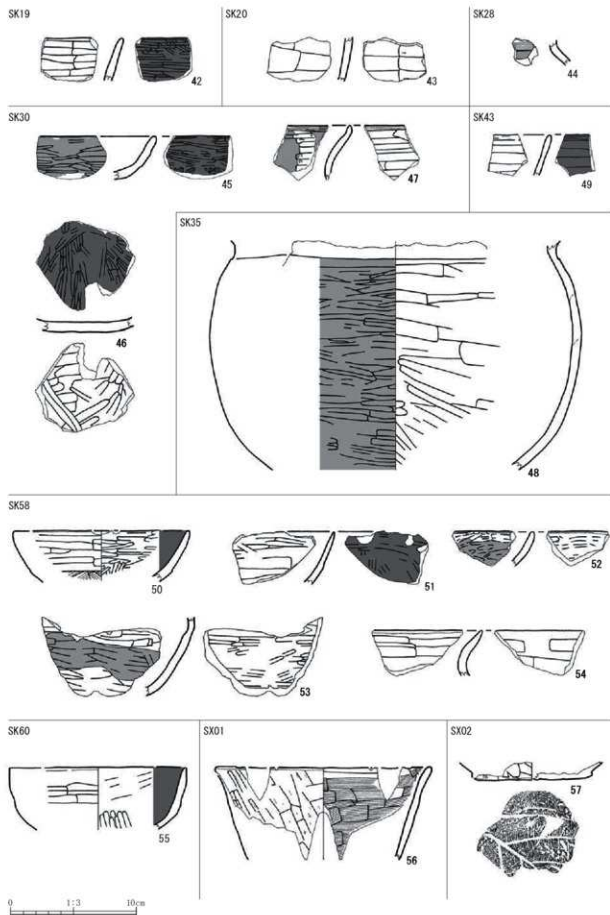
21



第47図 S103・S104 出土土器

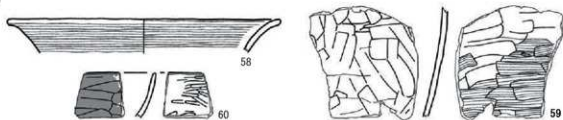


第48回 SB01・SB03、SK13・SK17 出土土器



第49図 SK19・SK20・SK28・SK30・SK35・SK43・SK58・SK60・SX01・SX02 出土土器

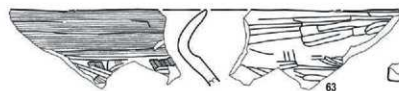
SX03



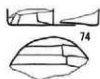
SX06



SX07



SX08

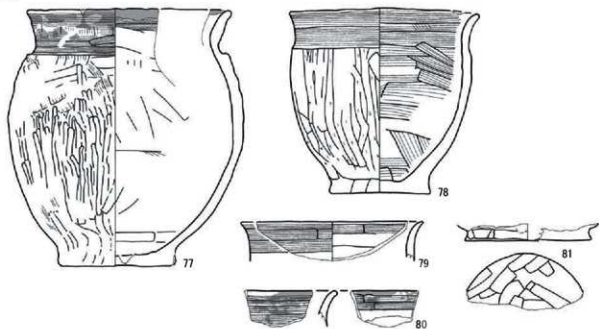


SX09

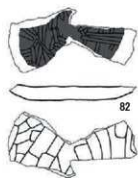


第50図 SX03・SX06～SX09 出土土器

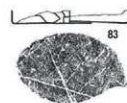
SX10



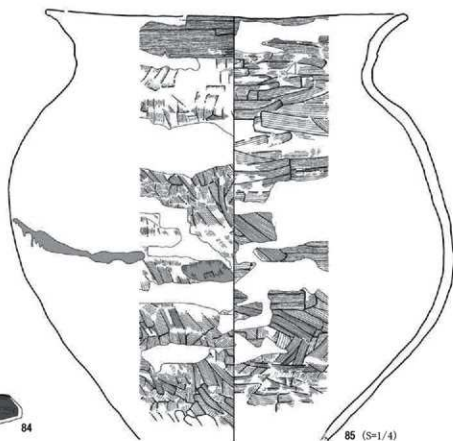
SX11



SX13

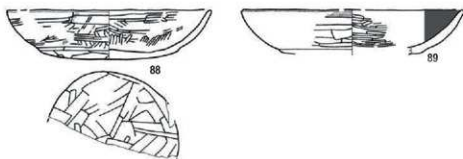


SX14

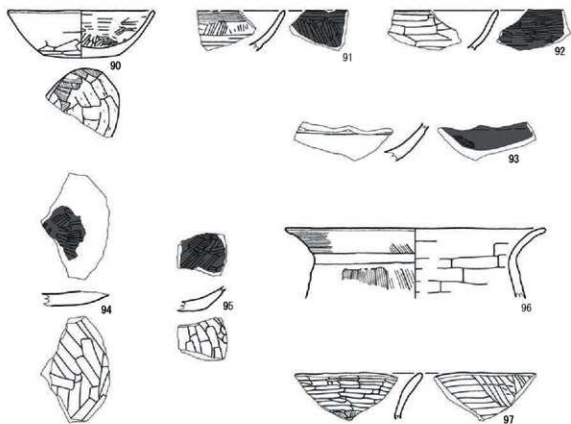


第51図 SX10・SX11・SX13・SX14 出土土器

SX15



SX16



SX17

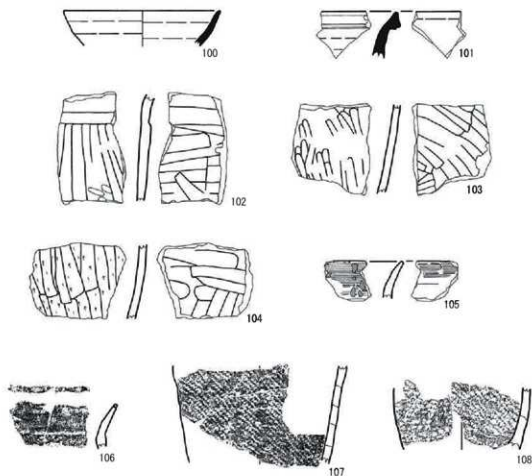


SX12

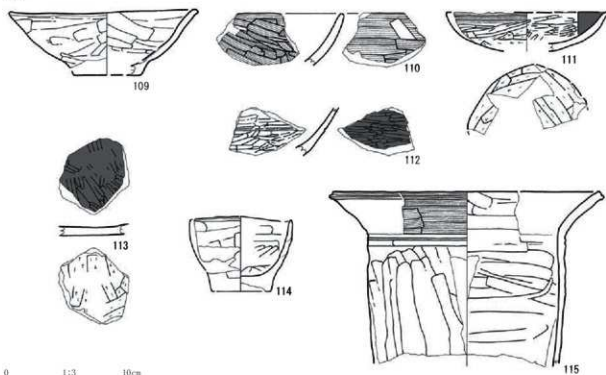


第52図 SX15～SX17・SX12 出土土器

SD01



SD02

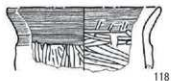


第53図 SD01・SD02 出土土器

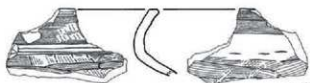
SD02



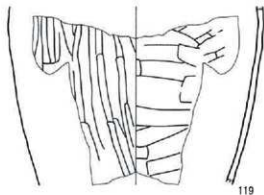
116



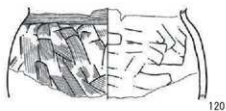
118



117



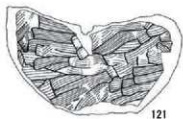
119



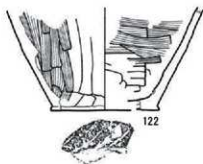
120



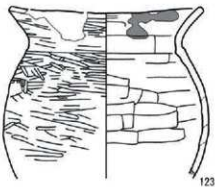
122



121

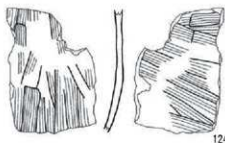


122

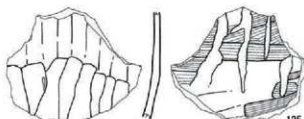


123

SD04



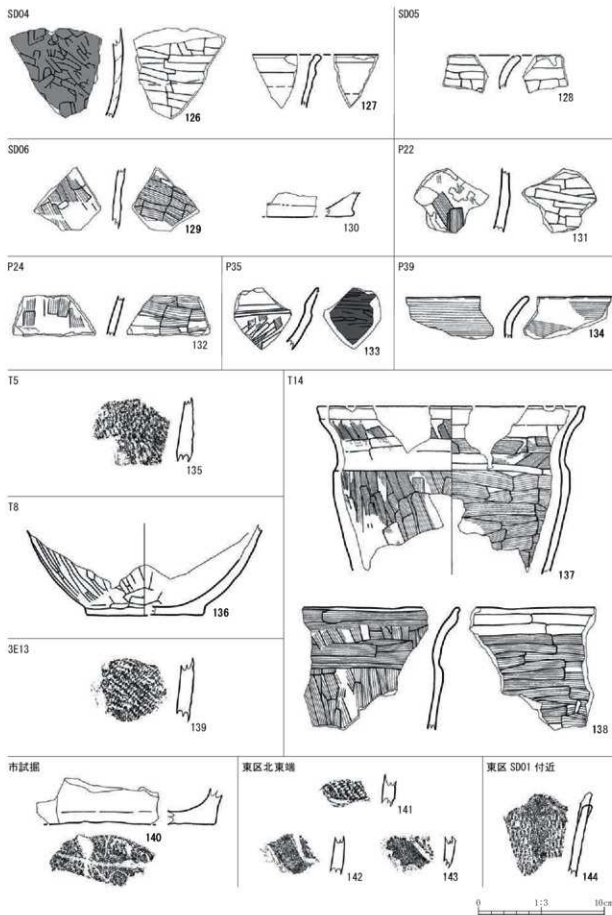
124



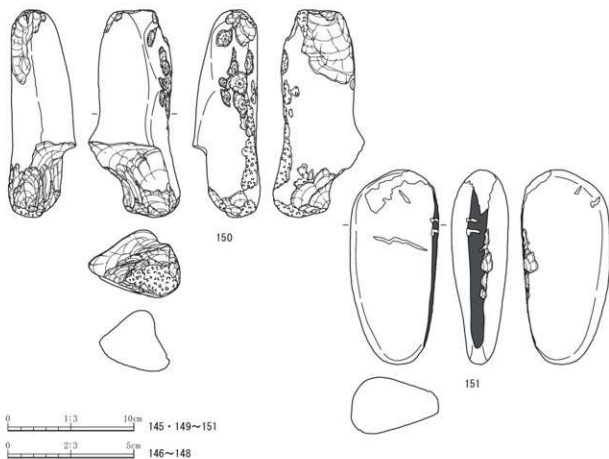
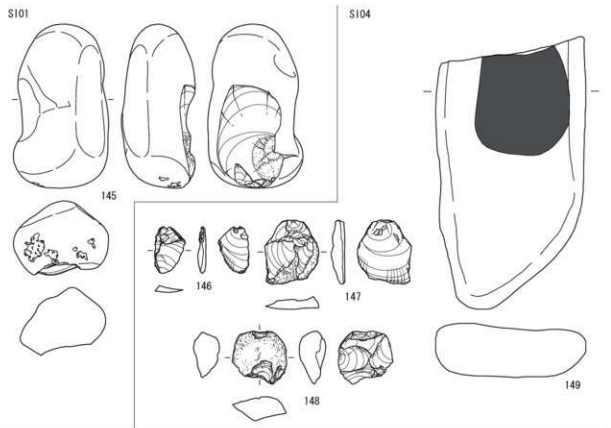
125



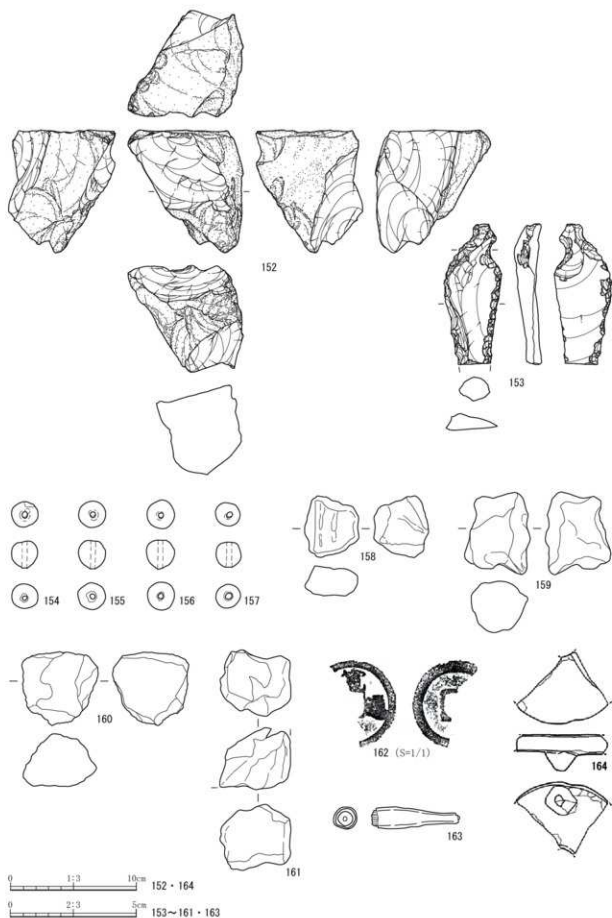
第54図 SD02・SD04 出土土器



第55図 SD04～SD06、P22・P24・P35・P39、試掘トレンチ他遺構外出土土器



第56図 出土石器(1)



第57図 出土石器(2)・土製品・錢貨・金屬製品

第3表 土器観察表

図録 番号	写真 回数	出土地/層位	種類	部位	重量 (g)	口径 (cm)	底径 (cm)	外周線跡・支線		内周線跡	備考
								口縁部一断面	口縁部一底面		
1	46	43 S01Q1/カマド東側	土師器 (内面)	杯	37.4	16.1	2.3	8.6	口：楕円ナギナ、胴：楕円ハケミ一線	口：楕円ナギナ、胴：ハケナギ	底面
2	46	43 S01Q1/カマド東側	土師器 (内面)	杯	25.4	11.7	3.4	6.0	口：楕円ナギナ、胴：楕円ハケミナギ 底面：ハケミナギ	口：楕円ナギナ、胴：楕円ハケミナギ	口：楕円ハケミナギ
3	46	43 S01Q3/埋土/埋土層上・青レンガ	土師器 (内面)	杯	125.4	14.8	<3.5>	-	楕円ハケミナギ	楕円ハケミナギ	
4	46	43 S01Q/カマド内・カマド東側	土師器	裏	423.2	13.1	11.9	6.1	口：楕円ハケナギ、胴：楕円ナギ	口：楕円ハケナギ、胴：楕円ハケナギ	口：楕円ハケナギ、胴：楕円ハケナギ
5	46	43 S01Q/カマド内・カマド東側	土師器	裏	112.6	22.2	<13.4>	-	口：楕円ハケナギ一線/楕円ハケミ、胴：楕円ハケミ	口：楕円ハケナギ、胴：楕円ハケナギ	口：楕円ハケナギ、胴：楕円ハケナギ
6	46	43 S01Q/カマド内・カマド内	土師器	裏	122.4	-	<11.0>	-	胴：ハケナギ	胴：ハケナギ	胴：ハケナギ
7	46	43 S01Q1/埋土上	赤彩土師器	底	9.8	-	<2.5>	-	胴：楕円ハケミナギ、赤彩線跡	胴：楕円ナギ	所謂「赤彩急須型」
8	46	43 S01Q/埋土層上	土師器	裏	609.5	22.4	26.0	8.2	口：楕円ハケナギ、胴：楕円ハケナギ	口：楕円ハケナギ、胴：楕円ハケナギ	口：楕円ハケナギ、胴：楕円ハケナギ
9	46	43 S01Q/埋土層上	土師器	裏	196.9	20.8	<10.0>	-	口：楕円ハケナギ一線/楕円ハケミ、胴：楕円ハケミ	口：楕円ハケナギ、胴：楕円ハケナギ	口：楕円ハケナギ、胴：楕円ハケナギ
10	46	43 S01Q/埋土層上	土師器	裏	131.7	-	<16.1>	(9.2)	胴：楕円ハケナギ	胴：楕円ハケナギ	胴：楕円ハケナギ
11	47	43 S04a-5/1m西/椀部	土師器	杯 立	77.2	15.8	5.0	5.7	口：楕円ハケナギ、胴：楕円ハケナギ	口：楕円ハケナギ、胴：楕円ハケナギ	口：楕円ハケナギ、胴：楕円ハケナギ
12	47	43 S04a/椀部	土師器 (内面)	杯	32.9	15.6	<4.5>	-	楕円ナギナ一線/ハケナギ	楕円ハケミナギ	楕円ハケミナギ
13	47	43 S04 Q埋土	赤彩土師器 (内面)	杯 立	32.1	14.6	4.9	7.0	楕円ハケミナギ	楕円ハケミナギ	楕円ハケミナギ
14	47	43 S04Q/椀	土師器	裏	374.4	14.3	18.7	7.0	口：楕円ナギ、胴：楕円ハケナギ	口：楕円ナギ、胴：楕円ハケナギ	口：楕円ナギ、胴：楕円ハケナギ
15	47	43 S04Q3/埋土	土師器	裏	148.5	-	<9.7>	7.6	胴：楕円ハケナギ	胴：楕円ハケナギ、底面：ハケナギ	胴：楕円ハケナギ、底面：ハケナギ
16	47	43 S04Q3/埋土	土師器	裏 立	132.3	-	<2.3>	8.0	胴：楕円ハケナギ、底面：ハケナギ	胴：楕円ハケナギ	胴：楕円ハケナギ
17	47	43 S04Q3/埋土	土師器	裏 底面	47.5	-	<1.7>	(9.8)	ナギ		
18	47	43 S04Q3/埋土	土師器	裏 底面	40.7	-	<1.80>	(7.0)	ナギ、底：ハケナギ		
19	47	44 S04Q1/埋土	土師器	裏	24.5	-	<2.4>	-	楕円ナギ一線/楕円ナギ	楕円ナギ	楕円ナギ
20	47	44 S04 Q埋土・Q2/埋土・Q1/2層	赤彩土師器	唇	629.0	19.2	<21.3>	-	口：楕円ナギ、胴：楕円ハケミナギ	口：楕円ナギ、胴：楕円ハケミナギ	所謂「赤彩急須型」、線形分析
21	47	44 S04Q1/埋土/埋土層上	縄文土器	漆鉢 胴部	35.8	-	-	-	LBL		
22	47	44 S03-Q3埋土中位・Q1埋土中位	土師器	杯	71.8	11.5	2.6	4.5	口：楕円ハケナギ、胴：ハケナギ	口：楕円ハケナギ、胴：楕円ハケミナギ	口：楕円ハケナギ、胴：楕円ハケミナギ
23	47	44 S03Q1/埋土中位	赤彩土師器	笠	16.2	-	<3.3>	-	ハケナギ	楕円ナギ	所謂「赤彩急須型」
24	48	44 S001P/埋土層上層	土師器(内外面)	杯	4.3	-	<2.1>	-	口：楕円ハケミナギ	口：楕円ハケミナギ	口：楕円ハケミナギ
25	48	44 S001P/埋土層上層	土師器	裏	30.1	-	<5.5>	-	口：楕円ナギ、胴：楕円ハケナギ	口：楕円ナギ、胴：楕円ハケナギ	口：楕円ナギ、胴：楕円ハケナギ
26	48	44 S001P/埋土層上層	土師器	裏	30.2	-	<5.2>	-	胴：ハケナギ	胴：ハケナギ	胴：ハケナギ

図面 番号	図面 回数	写真 回数	出土地点/層位	種類	部構	部位	重量 (g)	口径 (cm)	高さ (cm)	底径 (cm)	外周形状・文様	内周形状	備考
27	48	44	SK015/埋土	土師器	甕	胴部	4.3	-	<7.4>	-	胴：ナナ	胴：ナナ・ハナメ	
28	48	44	SK032/埋土上位	土師器(内周)	杯	口縁部	2.8	-	<2.1>	-	口：横位ヘナメ	口：ヘナメ	
29	48	44	SK13/埋土上位	土師器(内周)	杯	口縁部	17.3	-	<4.7>	-	口：横位ナナ	口縁部ヘナメ	
30	48	44	SK13/埋土中位	土師器(内周)	杯	口縁部	29.2	(12.8)	<3.7>	-	口：横位ヘナメ	口：横位ヘナメ	
31	48	44	SK13/埋土上位/中位	土師器(内周)	杯	底部	26.5	-	<5.5>	-	口：横位ナナ、胴：ヘナナ	口：横位ヘナメ	
32	48	44	SK13/埋土上位	土師器(内周)	杯	底部	113.7	-	<5>	-	底：ヘナナ	底：横位ヘナメ	
33	48	44	SK13/埋土上位/中位・1層	土師器	壺	立	507.1	(21.1)	26.4	(7.0)	口：横位ナナ、胴：横位ヘナナ、 底：丸蓋	口：横位ナナ、胴：横位ヘナナ	
34	48	44	SK13/埋土上位/下位	土師器	甕	胴部	55.0	-	<7.3>	-	胴：横位ヘナナ	胴：ヘナナ、横位ナナ	
35	48	44	SK13/埋土上位/下位	赤彩土師器	壺	口縁部	15.1	-	<3.1>	-	口：横位ナナ	口：横位ナナ	所謂「赤彩急須類」
36	48	44	SK13/埋土上位	赤彩土師器	壺	口縁部	9.2	-	<2.2>	-	口：横位ナナ	口：横位ナナ	所謂「赤彩急須類」
37	48	44	SK17/埋土	土師器(内周)	杯	胴部	5.4	-	<3.1>	-	口：横位ナナ、胴：ヘナナ	口：横位ナナ、胴：横位ヘナメ	
38	48	44	SK17/埋土	土師器	甕	口縁部	51.4	(10.8)	<8.5>	-	口：横位ナナ、胴：横位ヘナナ	口：横位ナナ、胴：横位ヘナナ	
39	48	44	SK17/埋土	土師器	壺	口縁部	15.9	-	<3.6>	-	口：横位ナナ	口：横位ナナ	
40	48	44	SK17/埋土	土師器	壺	口縁部	17.3	-	<5>	-	口：横位ナナ	口：横位ナナ	
41	48	44	SK17/埋土	土師器	甕	底部	44.2	-	<4.15>	(9.2)	胴：横位ヘナナ	胴：ヘナナ	
42	49	44	SK19/埋土上位	土師器(内周)	杯	口縁部	15.1	-	<3.4>	-	口：横位ナナ	口：横位ヘナメ	
43	49	44	SK20/埋土下位	土師器	壺	胴部	11.4	-	<2.1>	-	胴：横位ナナ	胴：横位ナナ	
44	49	44	SK28/埋土	赤彩土師器	壺	胴部	3.4	-	<2.1>	-	口：横位ナナ、胴：ナナ	胴：ナナ	所謂「赤彩急須類」
45	49	44	SK30/埋土上位	土師器(内周)	杯	口縁部	22.0	-	<3.4>	-	口：横位ヘナメ	口：横位ヘナメ	
46	49	44	SK30/埋土上位/下位	土師器(内周)	杯	底部	40.3	-	<1.2>	6.0	底：ヘナナ	底：横位ヘナメ	
47	49	44	SK30/埋土上位	赤彩土師器	壺	口縁部	11.8	-	<4.3>	-	口：横位ナナ	口：横位ナナ	所謂「赤彩急須類」
48	49	44	SK35/埋土下位・横断面	赤彩土師器	壺	立	503.3	-	<17.6>	-	口：横位ナナ、胴：横位ナナ	口：横位ナナ、胴：横位ナナ	所謂「赤彩急須類」
49	49	45	SK35/横断面	土師器(内周)	杯	口縁部	5.8	-	<3.2>	-	口：横位ナナ	口：横位ナナ	
50	49	45	SK38/埋土上層	土師器(内周)	杯	口縁部	37.2	(13.7)	<4.1>	-	口：横位ナナ、胴：ヘナメ	口：横位ヘナメ	
51	49	45	SK38/埋土上層	土師器(内周)	杯	口縁部	15.3	-	<4.1>	-	口：横位ナナ	口：横位ナナ	
52	49	45	SK38/埋土上層	赤彩土師器	杯	口縁部	8.8	-	<2.7>	-	口：横位ヘナメ	口：横位ヘナメ	
53	49	45	SK38/埋土上層	赤彩土師器	杯	口縁部	46.0	-	<6.2>	-	胴：ヘナメ	胴：ヘナメ	

図帳番号	写真 図版	出土地点/層位	種類	部材	部位	重量 (g)	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	外周図形・文様	内周図形	備考
54	49 45	SK06/埋土上層	土師器	壺	口縁部	17.3	-	<3.6>	-	口：横位ハナナデ	口：横位ハナナデ	
55	49 45	SK06/埋土上層	土師器 (内皿)	坏	口縁部	23.4	14.0	<4.9>	-	横位ハナナデ	横位ハナナデ	
56	49 45	SK07/埋土中位	土師器	壺	口縁部	40.9	16.2	<7.3>	-	口：ナデ、底：本舞臺	横位ハナナデ	
57	49 45	SK02/埋土中位	土師器	壺	底部	28.2	-	<1.4>	(9.6)	口：ナデ、底：本舞臺	横位ハナナデ	
58	50 45	SK03/埋土下位	土師器	壺	口縁部	29.0	21.6	<2.7>	-	横位ハナナデ	横位ハナナデ	
59	50 45	SK03/埋土上位	土師器	壺	胴部	41.7	-	<8.7>	-	ナデ	横位ハナナデ、ハナナデ	
60	50 45	SK03/埋土上位	赤彩土師器	坏	口縁部	8.1	-	<3.5>	-	口：横位ハナナデ	口：横位ハナナデ	
61	50 45	SK06/埋土下位	土師器	壺	口縁部	37.4	18.4	<3.8>	-	横位ハナナデ	横位ハナナデ	
62	50 45	SK06/埋土下位	縄文土器	刮鉢	胴部	9.0	-	<3.5>	-	LR		
63	50 45	SK07/埋土	土師器	壺	口縁部	83.3	-	<9>	-	口：横位ハナナデ、胴：横位ハナナデ→横位ハナナデ	口：横位ハナナデ、胴：横位ハナナデ	
64	50 45	SK07/埋土	土師器	壺	口縁部	43.7	19.6	<3.9>	-	横位ハナナデ	横位ハナナデ	
65	50 45	SK07/埋土	土師器	壺	底部	76.1	-	<1.3>	9.5	ヘナナデ	割腹	
66	50 45	SK07/埋土	土師器	壺	底部	74.7	-	<1.7>	7.7	胴：舞臺、底：ヘナナデ		
67	50 45	SK07/埋土	土師器	壺	底部	40.3	-	<1.0>	7.8	ヘナナデ		
68	50 45	SK08/埋土下位	赤彩土師器	坏	立	263.9	17.1	5.3	4.0	口：横位ハナナデ、胴：横位ハナナデ	口：ハナナデ、底：ヘナナデ、胴：ヘナナデ	圖料分冊2
69	50 45	SK08/埋土下位	赤彩土師器	坏	立	138.7	12.5	4.0	5.7	口：横位ハナナデ、胴：横位ハナナデ	口：横位ハナナデ、胴：横位ハナナデ	圖料分冊3
70	50 45	SK08/埋土下位	赤彩土師器	坏	口縁部	35.0	12.8	4.2	(4.0)	横位ハナナデ	横位ハナナデ	
71	50 45	SK08/埋土下位	赤彩土師器	坏	口縁部	20.0	10.8	3.9	-	横位ハナナデ	横位ハナナデ	
72	50 45	SK08/埋土	赤彩土師器	坏	口縁部	16.4	15.4	<3.3>	-	横位ハナナデ	横位ハナナデ	
73	50 45	SK08/埋土下位	赤彩土師器	坏	口縁部	8.3	-	<3.2>	-	横位ハナナデ	横位ハナナデ	
74	50 45	SK08/埋土下位	土師器	壺	底部	13.3	-	<1.25>	(7.2)	胴：ハナナデ (舞臺)、底：ナデ		
75	50 45	SK09/埋土下位	土師器	坏	口縁部	4.9	-	<2.2>	-	横位ハナナデ	横位ハナナデ	
76	50 45	SK09/埋土下位	土師器 (内皿)	坏	胴部	7.9	-	<2.8>	-	ヘナナデ	ヘナナデ	
77	51 45	SK04-Q3埋土/Q3-2層/Q4-2層/扇灰、SK10埋土下位/W5<6>L3層	赤彩土師器	壺	立	1179.9	16.1	20.3	8.6	口：横位ハナナデ、胴：横位ハナナデ→横位ハナナデ	口：横位ハナナデ、胴：ヘナナデ	所産「赤彩急須割鉢」、圖料分冊5
78	51 46	SK10/埋土	土師器	壺	立	633.1	15.0	14.7	8.0	口：横位ハナナデ、胴：横位ハナナデ→横位ハナナデ	口：横位ハナナデ、胴：横位ハナナデ	
79	51 45	SK10/埋土	土師器	壺	口縁部	22.5	14.4	<3.1>	-	横位ハナナデ	横位ハナナデ	
80	51 45	SK10/埋土	赤彩土師器	壺	口縁部	11.9	-	<2.8>	-	横位ハナナデ	横位ハナナデ	所産「赤彩急須割鉢」

図録番号	図版	写真 回数	出土地点/層位	種類	部材	位置	重量 (g)	口径 (cm)	高さ (cm)	直径 (cm)	特徴・形状・文様	内面図様	備考
81	51	45	SX10/埋土	土師器	蓋 底部	裏	43.7	-	<1.3>	10.0	ヘラナテ		
82	51	46	SX13/埋土	土師器 (内皿)	底 底部	裏	42.3	-	<1.2>	6.0	底:ヘラナテ	放射状ヘラミガキ	
83	51	46	SX13/埋土	土師器	環 口縁部	裏	32.6	-	<1.0>	0.2	木蓋痕		
84	51	46	SX14/埋土	土師器 (内皿)	環 口縁部	裏	5.8	-	<2.2>	-	口:横位ヘラミガキ	口:横位ヘラミガキ	
85	51	46	SX14/埋土	赤彩土師器	蓋 口縁部→腹部	表	572.0	38.4	<5.5>	10.0	口:横位ナテ、胴:縦位ハナメ	口:横位ナテ、胴:横位ハナメ	赤彩(赤彩色刷裏)・刷部拡大注 47・55a
86	51	46	SX14/埋土	赤彩土師器	蓋 底部	表	11.9	-	<1.3>	-	横位ナテ	ナテ	赤彩(赤彩色刷裏)
87	51	46	SX14/埋土	赤彩土師器	蓋 底部	表	10.6	-	<1.4>	-	縦位ハナメ	柄蓋	赤彩(赤彩色刷裏)
88	52	46	SX15/赤埋土下位	土師器	環 立	裏	94.1	16.2	3.9	11.0	口:ヘラナテ、胴:放射状ヘラミガキ 口:ヘラミガキ	口:横位ヘラミガキ、胴:放射状ヘ ラミガキ	
89	52	46	SX15/赤埋土下位	土師器 (内皿)	環 口縁部	裏	29.6	17.6	<3.4>	-	口:横位ヘラナテ	口:横位ヘラミガキ	
90	52	46	SX16/埋土	土師器	環 立	裏	67.3	11.6	<3.7>	6.0	口:横位ヘラナテ、胴:横位ヘラナ テ	口:横位ヘラミガキ、胴:放射状ヘ ラミガキ、底:ハナメ→ヘラナテ	
91	52	46	SX16/埋土	土師器 (内皿)	環 口縁部	裏	10.9	-	<3.3>	-	口:横位ナテ→ヘラミガキ	口:横位ヘラミガキ	
92	52	46	SX16/埋土	土師器 (内皿)	環 口縁部	裏	12.0	-	<3.1>	-	口:横位ヘラナテ	口:横位ヘラミガキ	
93	52	46	SX16/埋土	土師器 (内皿)	環 胴部	裏	23.5	-	<3.1>	-	ナテ	横位ヘラミガキ	
94	52	46	SX16/埋土	土師器 (内皿)	環 底部	裏	35.6	-	<1.1>	-	ヘラナテ	放射状ヘラミガキ	上面・底面写真
95	52	46	SX16/埋土	土師器 (内皿)	環 底部	裏	15.0	-	<2>	-	胴:ヘラミガキ	胴:ヘラミガキ	
96	52	46	SX16/埋土	土師器	蓋 口縁部	裏	123.3	30.7	<5.5>	-	口:横位ナテ、胴:縦位ハナメ	口:横位ナテ、胴:横位ハナメ	
97	52	46	SX16/埋土下位	土師器	蓋 口縁部	裏	19.5	-	<3.7>	-	口:横位ヘラナテ	口:ヘラナテ	
98	52	46	SX17/西埋土	土師器	蓋 胴部	裏	6.7	-	<2.4>	-	胴:横位ハナメ	胴:ヘラナテ	
99	52	47	SX12/埋土	縄文土器	深鉢 胴部→底部	表	547.6	-	<12.4>	9.9	LR		
100	53	47	SX01/埋土層	甕	環 口縁部	裏	10.0	12.4	<2.8>	-	口:ヘラミガキ	口:ヘラミガキ	
101	53	47	SX01/埋土層	甕	環 口縁部	裏	13.2	-	<3.7>	-	口:ヘラミガキ	口:ヘラミガキ	
102	53	47	SX01/埋土中位	土師器	蓋 胴部	裏	45.8	-	<8.4>	-	口:横位ナテ、胴:縦位ヘラナテ	口:横位ナテ、胴:横位ヘラナテ	
103	53	47	SX01/埋土下層	土師器	蓋 胴部	裏	32.0	-	<2>	-	胴:横位ヘラナテ	胴:斜位ヘラナテ	
104	53	47	SX01/埋土下層	土師器	蓋 胴部	裏	44.4	-	<5.9>	-	胴:横位ヘラナテ	胴:横位ヘラナテ	
105	53	47	SX01/埋土中位	赤彩土師器	蓋 口縁部	表	7.1	-	<2.9>	-	口:横位ナテ、赤彩	口:横位ナテ	赤彩(赤彩色刷裏)
106	53	47	SX01/埋土中位	縄文土器	深鉢 胴部	裏	19.7	-	<3.5>	-	LR?・焼部		
107	53	47	SX01/埋土下層/赤土・焼出部/覆瓦	縄文土器	深鉢 胴部	裏	61.4	-	<7.8>	-	LR		

路線 番号	区画 図番	出土地点/層位	地質	地構	部位	重量 (g)	口径 (mm)	高さ (cm)	直径 (mm)	形状・寸法	内面形状	備考
108	53	47	SD02/埋土下層	横文土器	深鉢	53.7	-	<5>	-	LR		
109	53	47	SD02/埋土下層(石片混入)埋土中位/下位/底層/埋土層・SK04・SK06	土師器	杯 立	117.7	15.0	5.2	(5.4)	口：楕円ヘラナナ字、胴：楕円ヘラナナ字	口：楕円ヘラナナ字、胴：楕円ヘラナナ字	
110	53	47	SD02/埋土中位	土師器	杯	26.3	-	<4.1>	-	口：ハナメ	口：ハナメ	
111	53	47	SD02/埋土	土師器 (内皿)	口縁部	40.2	-	<3.8>	-	口：楕円ナナ字、胴：楕円ヘラナナ字	口：楕円ヘラナナ字、胴：楕円ヘラナナ字	
112	53	47	SD02/埋土	土師器 (内皿)	胴部	18.0	-	<3.8>	-	胴：楕円ヘラナナ字	胴：楕円ヘラナナ字	
113	53	47	SD02/埋土中位	土師器 (内皿)	杯 底部	25.8	-	<0.9>	-	底：ヘラナナ字	底：ヘラナナ字	
114	53	47	SD02/埋土	土師器	裏 立	74.3	8.0	5.9	4.6	口：楕円ナナ字、胴：楕円ヘラナナ字	口：楕円ナナ字、胴：楕円ナナ字	
115	53	47	SD02/埋土	土師器	裏 立	211.5	(21.0)	<13.8>	-	口：楕円ハナメ、胴：楕円ヘラナナ字	口：楕円ハナメ、胴：楕円ナナ字	
116	54	47	SD02/埋土	土師器	裏	27.8	-	<3.6>	-	口：楕円ナナ字	口：楕円ナナ字	
117	54	47	SD02/埋土中位	土師器	裏	50.9	-	<3.3>	-	口：楕円ナナ字、胴：楕円ハナメ	口：楕円ナナ字、胴：楕円ハナメ	
118	54	47	SD02/検出層	土師器	裏	32.7	(12.0)	41.9	-	口：楕円ナナ字、胴：楕円ヘラナナ字	口：楕円ナナ字、胴：楕円ヘラナナ字	
119	54	47	SD02/埋土	土師器	裏	129.6	-	<14.1>	-	胴：楕円ヘラナナ字	胴：楕円ヘラナナ字	
120	54	47	SD02/埋土上位	土師器	裏	56.8	-	<7.1>	-	口：楕円ナナ字、胴：楕円ハナメ	口：楕円ナナ字、胴：楕円ナナ字	
121	54	47	SD02/埋土・SK01/2層	土師器	裏 底部	173.6	-	<8.4>	-	胴：楕円ハナメ	胴：楕円ハナメ	
122	54	47	SD02/埋土	土師器	裏 底部	91.5	-	<8.15>	(8.6)	胴：楕円ハナメ、底：水取環	胴：楕円ハナメ	
123	54	47	SD02/埋土	赤彩土師器	裏 立	411.5	(15.0)	<13.3>	-	口：楕円ヘラナナ字、胴：楕円ヘラナナ字	口：楕円ナナ字、胴：楕円ヘラナナ字	所謂「赤彩急須型」、胴料分析中
124	54	48	SD04/中央風肌	土師器	裏	42.3	-	<7.6>	-	胴：楕円ハナメ	胴：楕円ハナメ	
125	54	48	SD04/埋土上位	土師器	裏	60.5	-	<8.9>	-	胴：楕円ナナ字→楕円ヘラナナ字	胴：楕円ハナメ→ナナ字	
126	55	48	SD04/埋土上位	赤彩土師器	底	33.4	-	<7>	-	胴：楕円ヘラナナ字	口：楕円ヘラナナ字	所謂「赤彩急須型」
127	55	48	SD04/1層	陶磁器	口縁部	9.6	-	<4.1>	-	ロタロ	ロタロ	
128	55	48	SD05/1層	土師器	裏	8.8	-	<3.6>	-	口：楕円ナナ字	口：楕円ナナ字	
129	55	48	SD06/埋土	土師器	裏	13.7	-	<5>	-	胴：ハナメ	胴：ハナメ	
130	55	48	SD06/埋土	土師器	裏 底部	15.8	-	<1.9>	-	胴：ナナ字	胴：楕円ハナメ	
131	55	48	P22/埋土	土師器	裏	18.8	-	<5>	-	胴：楕円ハナメ	胴：楕円ヘラナナ字	
132	55	48	P24/埋土	土師器	裏	15.5	-	<3>	-	胴：楕円ハナメ	胴：楕円ハナメ	
133	55	48	P25/埋土	土師器 (内皿)	杯	15.6	-	<4.7>	-	口：楕円ナナ字、胴：楕円ヘラナナ字	口：楕円ヘラナナ字、胴：楕円ヘラナナ字	
134	55	48	P26/埋土中位	土師器	裏	16.9	-	<3.3>	-	口：楕円ナナ字	口：楕円ナナ字	

図録番号	図版	写真図版	出土遺物の部位	種類	部材	重量 (g)	口径 (cm)	底径 (cm)	外径図巻・文様	内径図巻	備考
135	55	48	T5	縄文土器	深鉢 胴部	29.2	-	φ5	LR		
136	55	48	T8	土器器	甕 底部	113.1	-	φ2.5 (9.4)	胴：縦段ヘウナナ 胴：縦段ヘウナナ		
137	55	48	T14(6)試掘キマフ	土器器	甕 立	203.7	-	-	口：縦段ヘウナナ→横段ナナ、胴横段 胴：縦段ヘウナナ、胴：縦段ヘウナナ		
138	55	48	T14(6)試掘キマフ	土器器	甕 口縁部	77.8	-	φ9.5	口：縦段ヘウナナ→横段ナナ、胴：縦段ヘウナナ		
139	55	48	3E13(II)割	縄文土器	深鉢 胴部	34.0	-	φ5.1	LR		
140	55	48	出試掘	縄文土器	深鉢 底部	77.0	-	φ3.6	木重痕		
141	55	48	東区北東部/検出遺	縄文土器	深鉢 胴部	8.6	-	φ2.5	LR、沈痕		
142	55	48	東区北東部/検出遺	縄文土器	深鉢 胴部	13.8	-	φ3	沈痕		
143	55	48	東区北東部/検出遺	縄文土器	深鉢 胴部	8.9	-	φ2.5	沈痕		
144	55	48	東区SS00(付石)検出遺	縄文土器	深鉢 口縁部	24.2	-	φ6.7	-	多軸跡跡体?	

第4表 石器観察表

図録番号	図版	写真図版	部材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	石質	備考
145	56	48	燧石	13.0	7.6	5.9	644.2	頁岩 (新石器第三紀・奥羽山脈)	
146	56	48	SD4 Q4	1.8	1.2	0.3	0.6	燧石	
147	56	48	燧石	2.5	2.1	0.5	2.8	燧石	
148	56	48	磨石	2.1	2.2	1.1	4.4	燧石	
149	56	48	石皿	21.9	12.0	4.2	1106.5	粗灰岩 (新石器第三紀・奥羽山脈)	
150	56	48	燧石	16.5	7.3	5.4	580.3	安山岩 (新石器第三紀・奥羽山脈)	
151	56	49	磨石	15.5	7.0	4.5	376.6	デライト (新石器第三紀・奥羽山脈)	
152	57	49	石核	9.7	9.2	8.5	572.2	頁岩 (新石器第三紀・奥羽山脈)	
153	57	49	石核	5.6	2.3	1.1	9.7	頁岩 (新石器第三紀・奥羽山脈)	

第5表 土製品・縄貨・金属製品観察表

図録番号	図版	写真図版	部材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考
154	57	49	土玉	1.08	1.05	1.08	1.0	
155	57	49	土玉	1.14	1.10	1.08	1.2	
156	57	49	土玉	1.08	1.14	1.12	1.2	
157	57	49	土玉	0.99	0.97	0.96	0.8	
158	57	49	粘土塊	2.34	2.15	1.22	3.7	
159	57	49	粘土塊	3.26	2.53	2.13	9.9	
160	57	49	粘土塊	2.92	3.03	2.14	11.1	
161	57	49	粘土塊	-	-	-	3.2	
162	57	49	東区SS00	1.97	2.34	0.17	1.4	
163	57	49	磨石	3.44	0.85	-	2.0	磨字キセル
164	57	49	SD4	-	-	-	62.9	

V 自然科学分析

1 放射性炭素年代 (AMS測定)

(株) 加速器分析研究所

1 測定対象試料

大谷地Ⅲ遺跡は、岩手県花巻市諏訪・大谷地地内(北緯39°22'13"、東経141°5'39")に所在し、河岸段丘上の平坦地に立地する。測定対象試料は、焼成遺構から出土した炭化材7点である(表1)。時期は奈良時代と推定されている。

2 測定の意義

試料が出土した焼成遺構の時期を明らかにする。

3 化学処理工程

- (1)メス・ピンセットを使い、付着物を取り除く。
- (2)酸-アルカリ-酸(AAA: Acid Alkali Acid)処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA処理における酸処理では、通常1 mol/l (1 M)の塩酸(HCl)を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム(NaOH)水溶液を用い、0.001Mから1 Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が1Mに達した時には「AAA」、1 M未満の場合は「AaA」と表1に記載する。
- (3)試料を燃焼させ、二酸化炭素(CO₂)を発生させる。
- (4)真空ラインで二酸化炭素を精製する。
- (5)精製した二酸化炭素を、鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト(C)を生成させる。
- (6)グラファイトを内径1mmのカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

4 測定方法

加速器をベースとした¹⁴C-AMS専用装置(NEC社製)を使用し、¹⁴Cの計数、¹³C濃度(¹³C/¹²C)、¹⁴C濃度(¹⁴C/¹²C)の測定を行う。測定では、米国国立標準局(NIST)から提供されたシュウ酸(HOxII)を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

5 算出方法

- (1) $\delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素の¹³C濃度(¹³C/¹²C)を測定し、基準試料からのずれを千分偏差(‰)で表した値である(表1)。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。
- (2) ¹⁴C年代(Libby Age: yrBP)は、過去の大気中¹⁴C濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年(0yrBP)として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期(5568年)を使用する(Stuiver and Polach 1977)。¹⁴C年代は $\delta^{13}\text{C}$ によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。¹⁴C年代と誤差は、下1

桁を丸めて10年単位で表示される。また、 ^{14}C 年代の誤差($\pm 1\sigma$)は、試料の ^{14}C 年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。

- (3) pMC (percent Modern Carbon)は、標準現代炭素に対する試料炭素の ^{14}C 濃度の割合である。pMCが小さい(^{14}C が少ない)ほど古い年代を示し、pMCが100以上(^{14}C の量が標準現代炭素と同等以上)の場合 Modernとする。この値も $\delta^{13}\text{C}$ によって補正する必要があるため、補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。
- (4) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の ^{14}C 濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の ^{14}C 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差($1\sigma = 68.3\%$)あるいは2標準偏差($2\sigma = 95.4\%$)で表示される。グラフの縦軸が ^{14}C 年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下1桁を丸めない ^{14}C 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal20較正曲線(Reimer et al. 2020)を用い、OxCal9.4較正プログラム(Bronk Ramsey 2009)を使用した。暦年較正年代については、特定の較正曲線、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表2に示した。暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に基づいて較正(calibrate)された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」または「cal BP」という単位で表される。

6 測定結果

測定結果を表1、2に示す。

試料7点の ^{14}C 年代は、 $1460 \pm 20\text{yrBP}$ (試料6)から $1300 \pm 20\text{yrBP}$ (試料4)の間にまとまる。暦年較正年代(1σ)は、最も古い史料6が591~640cal ADの範囲、最も新しい試料4が673~772cal ADの間に2つの範囲で示される。測定結果はある程度狭い年代幅にまとまるが、推定される奈良時代に重なる年代値とやや古い年代値を示した試料が認められる。

今回測定された試料はほぼすべて炭化材(細片化して断定できなかったものも含まれる)と見られるため、次に記す古木効果を考慮する必要がある。

樹木は外側に年輪を形成しながら成長するため、その木が伐採等で死んだ年代を示す試料は最外年輪から得られ、内側の試料は年輪数の分だけ古い年代値を示す(古木効果)。今回測定された試料は樹皮が残存せず、本来の最外年輪を確認できないことから、測定された年代値は、その木が死んだ年代よりも古い可能性がある。

試料の炭素含有率はすべて60%を超える十分な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

文献

- Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, *Radiocarbon* 51(1), 337-360
- 小林謙一 2017縄文時代の実年代—土器型式編年と炭素14年代—, 同成社
- 小林達雄編 2008 総覧縄文土器, 総覧縄文土器刊行委員会, アム・プロモーション
- Reimer, P.J. et al. 2013 IntCal13 and Marine13 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, *Radiocarbon* 55(4), 1869-1887
- Stuiver, M. and Polach, H.A. 1977 Discussion: Reporting of ^{14}C data, *Radiocarbon* 19(3), 355-363

第1表 放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 補正值)

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (%)
IAAA-211806	1	SX03 焼土上面	炭化物	AAA	-24.17 ± 0.21	1,440 ± 20	83.63 ± 0.23
IAAA-211807	2	SX04 焼土上面	炭化物	AAA	-24.34 ± 0.18	1,350 ± 20	84.57 ± 0.24
IAAA-211808	3	SX05 埋土下位・炭3	炭化物	AAA	-25.52 ± 0.18	1,330 ± 20	84.71 ± 0.23
IAAA-211809	4	SX06 床面真上・炭2	炭化物	AAA	-23.69 ± 0.21	1,300 ± 20	85.11 ± 0.23
IAAA-211810	5	SX08 焼土上面・炭1	炭化物	AAA	-25.59 ± 0.20	1,420 ± 20	83.81 ± 0.23
IAAA-211811	6	SX10 3層・炭1	炭化物	AAA	-25.38 ± 0.19	1,460 ± 20	83.36 ± 0.23
IAAA-211812	7	SX14 埋土下位・炭2	炭化物	AAA	-25.76 ± 0.19	1,320 ± 20	84.88 ± 0.23

[IAA 登録番号 : #B086]

表2 放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 未補正值、暦年較正用 ^{14}C 年代、較正年代)

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age(yrBP)	pMC(%)			
IAAA-211806	1,420 ± 20	83.77 ± 0.23	1,436 ± 22	605calAD - 644calAD (68.3%)	594calAD - 653calAD (95.4%)
IAAA-211807	1,340 ± 20	84.68 ± 0.23	1,346 ± 22	652calAD - 675calAD (68.3%)	647calAD - 686calAD (77.7%) 743calAD - 773calAD (17.7%)
IAAA-211808	1,340 ± 20	84.62 ± 0.23	1,332 ± 21	656calAD - 680calAD (51.9%) 748calAD - 759calAD (16.3%)	651calAD - 702calAD (63.3%) 741calAD - 774calAD (32.1%)
IAAA-211809	1,270 ± 20	85.33 ± 0.23	1,295 ± 22	673calAD - 702calAD (31.0%) 741calAD - 772calAD (37.3%)	664calAD - 774calAD (95.4%)
IAAA-211810	1,430 ± 20	83.70 ± 0.23	1,419 ± 21	607calAD - 625calAD (36.2%) 637calAD - 651calAD (32.1%)	601calAD - 655calAD (95.4%)
IAAA-211811	1,470 ± 20	83.29 ± 0.23	1,462 ± 22	591calAD - 640calAD (68.3%)	571calAD - 645calAD (95.4%)
IAAA-211812	1,330 ± 20	84.74 ± 0.23	1,316 ± 21	663calAD - 684calAD (33.1%) 744calAD - 772calAD (35.2%)	656calAD - 706calAD (50.7%) 736calAD - 775calAD (44.7%)

[参考値]

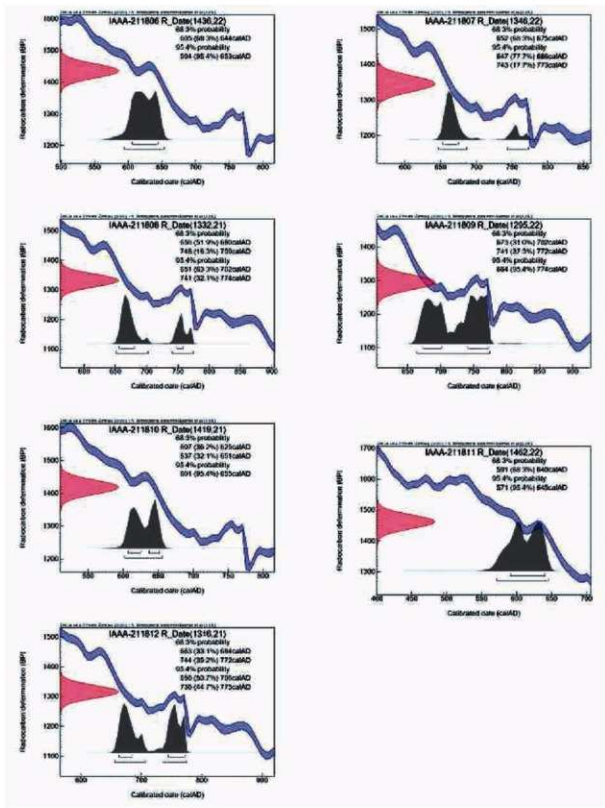


図1 暦年較正年代グラフ(参考)

2 黒曜石分析

株式会社 第四紀 地質研究所 井上 巖

1 実験条件

分析はエネルギー分散型蛍光X線分析装置（日本電子製J SX-1000 S）で行なった。

この分析装置は標準試料を必要としないファンダメンタルパラメータ法（FP法）による自動定量計算システムが採用されており、6 C～9 2 Uまでの元素分析ができ、ハイパワー-X線源（最大30 k V、4 mA）の採用で微量試料～最大290 mmφ×80 mmHまでの大型試料の測定が可能である。分析はバルクFP法でおこなった。FP法とは試料を構成する全元素の種類と濃度、X線源のスペクトル分布、装置の光学系、各元素の質量吸収係数など装置定数や物性値を用いて、試料から発生する各元素の理論強度を計算する方法である。

実験条件はバルクFP法（スタンダードレス方式）、分析雰囲気=真空、X線管ターゲット素材=Rh、加速電圧=30 k V、管電流=自動制御、分析時間=24秒（有効分析時間）である。

分析対象元素はSi, Ti, Al, Fe, Mn, Mg, Ca, Na, K, P, Rb, Sr, Y, Zrの14元素、分析値は黒曜石の含水量=0と仮定し、酸化物の重量%を100%にノーマライズし、表示した。

地質学的には分析値の重量%は小数点以下2桁で表示することになっているが、微量元素のRb, Sr, Y, Zrは重量%では小数点以下3～4桁の微量となり、小数点以下2桁では0と表示される。ここでは分析装置のソフトにより計算された小数点以下4桁を用いて化学分析結果を表示した。

主要元素と微量元素の酸化物濃度（重量%）でSiO₂-Al₂O₃-Fe₂O₃-TiO₂-K₂O-CaOの各相関図、Rb-Srは積分強度の相関図の4組の組み合わせで図を作成した。

2 分析結果

第1表化学分析表には分析結果に基づいて原産地も記載してある。

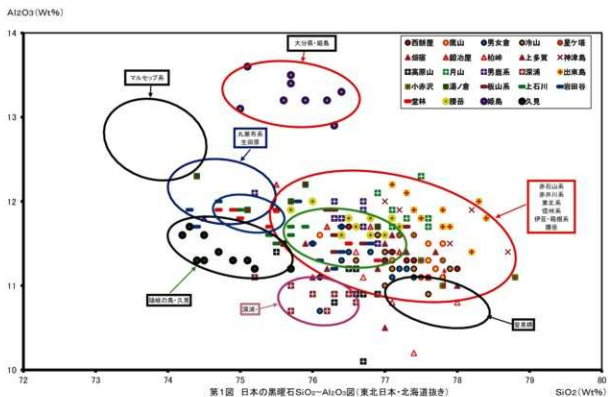
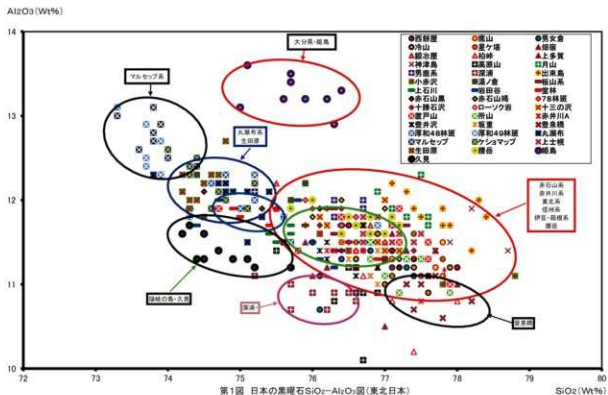
1) 大谷地Ⅲ遺跡の出土黒曜石遺物は第2図Fe₂O₃-TiO₂図、第3図K₂O-CaO図、第4図Rb-Sr図のすべてで小赤沢産の領域に近く、化学組成的に遺物は小赤沢産であることを示している。被熱を受けている遺物は見られない。

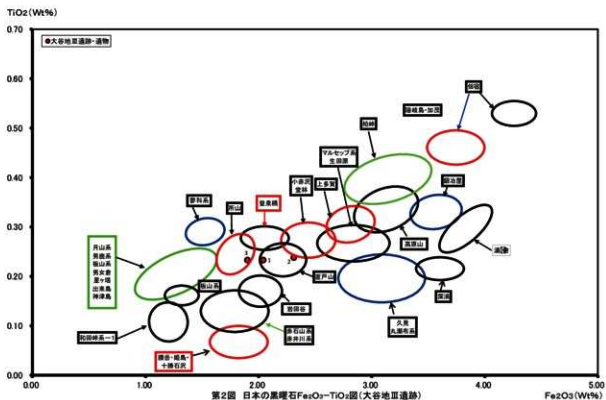
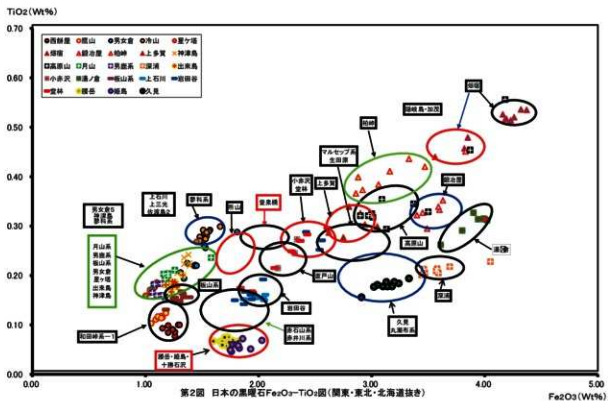
引用文献

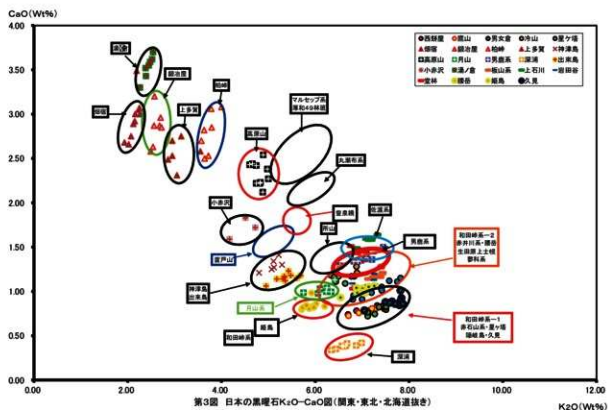
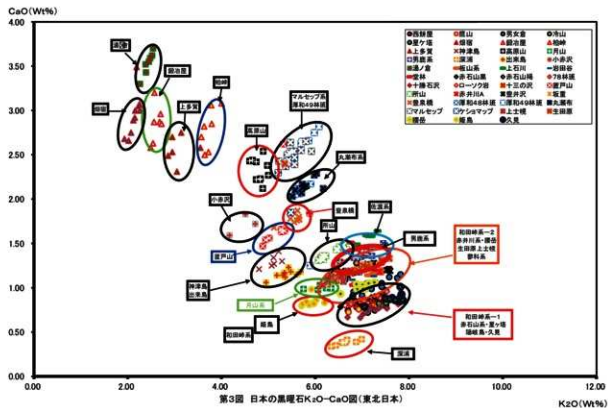
- 井上 巖 (2000) 東北・北陸北部における原産地黒曜石の蛍光X線分析 (XRF) 北越考古学, 第11号, 23-38.
井上 巖 (2001) テフラ中の火山ガラスの同定に関する一提言, 軽石学雑誌, 第7号 23-51.
井上 巖 (2008) 東北日本の原産地黒曜石 関東・中部・東海編
井上 巖 (2008) 東北日本の原産地黒曜石 東北・北陸編
井上 巖 (2008) 東北日本の原産地黒曜石 北海道編
井上 巖 (2008) 東北日本の原産地黒曜石写真集

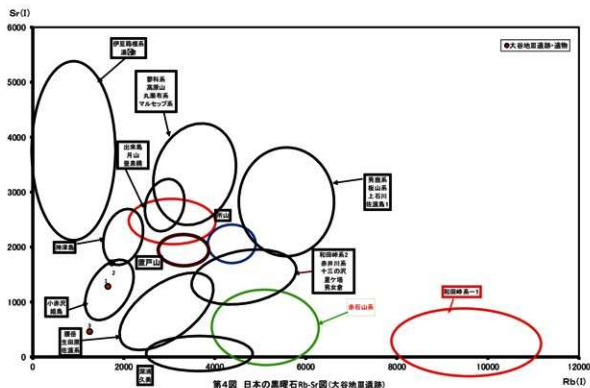
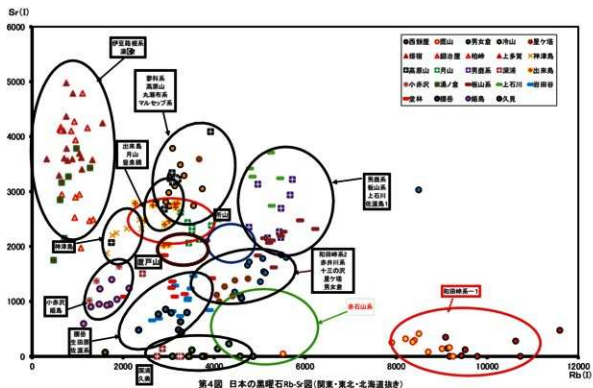
第1表 化学分析表

試料名	Na ₂ O	MgO	Al ₂ O ₃	SiO ₂	P ₂ O ₅	K ₂ O	CaO	TiO ₂	MnO	Fe ₂ O ₃	Rb ₂ O	SrO	Y ₂ O ₃	ZrO ₂	Total	Rb(1)	Sr(1)	原産地	器種
大谷地・1	2.2500	0.1150	11.8000	77.9000	0.0900	3.8000	1.6300	0.2300	0.0864	2.0400	0.0156	0.0138	0.0055	0.4346	99.9239	1630	1284	小赤沢	割片
大谷地・2	2.6100	0.1270	12.1000	76.8000	0.0190	3.8800	1.8200	0.2300	0.0933	2.3100	0.0185	0.0162	0.0074	0.4296	100.0250	1737	1712	小赤沢	割片
大谷地・3	2.9800	0.1120	12.0000	77.3000	0.0520	3.6700	1.6100	0.2300	0.0891	1.9000	0.0118	0.0140	0.0074	0.4279	100.0072	1250	461	小赤沢	楕形石器









遺物写真



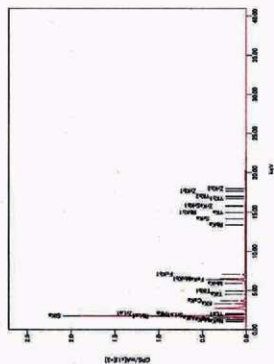
大谷井田遺跡 - 1



大谷井田遺跡 - 2



大谷井田遺跡 - 3



測定機名 : 大谷井田-1
測定日時 : 2022/02/04 11:16:34

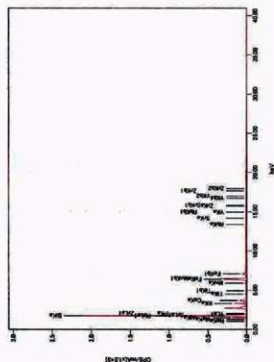
測定電圧 : 30.000 kV
測定電流 : 1.000 mA
測定時間 : 31.00 分
測定モード : プラットタイム
測定位置 : 大谷井田遺跡
測定器 : エネルギー分散型 XFL
測定器 : PMA モード : TE

測定条件
コリメータ : 2.000 mm フィルタ : Ni

分析結果
分析元素 : Na, Mg, Al, Si, P, K, Ca, Ti, Mn, Fe, Ni, Sr, Y, Zr
フラットニング係数 : (0.187)

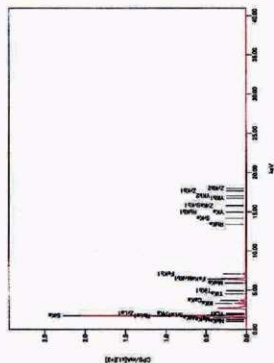
定量単位 : 不明推定、分率値推定、使用

元素	質量%	モル%	検出限界	ラインタイプ		
Na	2.1150	0.1850	0.0711	K		
Mg	0.1150	0.1850	0.000416	K		
Al	11.8000	7.5400	2.8553	0.0651752	K	
Si	71.9000	84.3000	3.60732	0.0002024	K	
P	ND	ND	0.0184	0.0000000	K	
S	ND	ND	0.0657	3.9670	0.0017751	K
Cl	3.8000	2.6200	0.0111	1.811	0.0112470	K
K	0.3100	0.1900	0.0111	1.811	0.0012470	K
Ca	0.0184	0.0752	0.0048	3.759	0.001550	K
Ti	2.0100	0.8200	0.0278	10.876	0.0031230	K
Mn	0.0118	0.0058	0.0025	1.284	0.001074	K
Fe	0.0555	0.0018	0.0023	4.41	0.000484	K
Ni	0.0348	0.0152	0.0038	2.588	0.002786	K



施設名 : 大谷地区-2
 測定日時 : 2022/02/04 11:24:16
 測定電圧 : 30.000 kV
 リン酸電流 : 1.000 mA
 プラットタイム : 19.5 分
 サイクル数 : 43330 Counts/秒
 プラットタイム : 24.00 分
 サイクル数 : 49741 Counts/秒
 エネルギースキャン幅 : 0 ~ 41 keV
 VAC : T2
 分析条件 : Na, Al, Si, P, K, Ca, Ti, Mn, Fe, Rh, Sr, Y, Zr
 フィットタイプ : 0.132x
 分析結果 : フィットタイプ値 : 0.132x
 分析条件 : ナム七二一補正 : 平準化、分解補正 : 使用

元素	質量%	モル%	Z	検出限界	ラインタイプ
Na	0.1770	0.2050	0.0612	0.000627	K
Al	0.2000	0.2240	0.0682	0.000609	K
Si	12.1800	7.7400	0.1402	0.000609	K
P	0.0190	0.0087	0.0119	0.000271	K
K	0.8400	2.6600	0.0614	0.004418	K
Ca	1.0200	2.1100	0.042	0.001977	K
Ti	0.0200	0.0092	0.022	0.000181	K
Mn	0.0833	0.0659	0.0556	0.000181	K
Fe	2.0100	0.8440	0.0238	0.004710	K
Rh	0.0142	0.0162	0.0233	0.001432	K
Sr	0.0174	0.021	0.022	0.000962	K
Y	0.0296	0.0168	0.021	0.002712	K
Zr	0.0142	0.0162	0.022	0.000962	K
合計	18.7100	10.0000			



施設名 : 大谷地区-3
 測定日時 : 2022/02/04 11:31:43
 測定電圧 : 30.000 kV
 リン酸電流 : 1.000 mA
 プラットタイム : 19.5 分
 サイクル数 : 49741 Counts/秒
 プラットタイム : 24.00 分
 サイクル数 : 49741 Counts/秒
 エネルギースキャン幅 : 0 ~ 41 keV
 VAC : T2
 分析条件 : Na, Al, Si, P, K, Ca, Ti, Mn, Fe, Rh, Sr, Y, Zr
 フィットタイプ : 0.132x
 分析結果 : フィットタイプ値 : 0.132x
 分析条件 : ナム七二一補正 : 平準化、分解補正 : 使用

元素	質量%	モル%	Z	検出限界	ラインタイプ
Na	0.1770	0.2050	0.0612	0.000643	K
Al	0.2000	0.2240	0.0682	0.000643	K
Si	12.1800	7.7400	0.1402	0.000643	K
P	0.0190	0.0087	0.0119	0.000271	K
K	0.8400	2.6600	0.0614	0.004418	K
Ca	1.0200	2.1100	0.042	0.001977	K
Ti	0.0200	0.0092	0.022	0.000181	K
Mn	0.0833	0.0659	0.0556	0.000181	K
Fe	2.0100	0.8440	0.0238	0.004710	K
Rh	0.0142	0.0162	0.0233	0.001432	K
Sr	0.0174	0.021	0.022	0.000962	K
Y	0.0296	0.0168	0.021	0.002712	K
Zr	0.0142	0.0162	0.022	0.000962	K
合計	18.7100	10.0000			

3 顔料分析

1 蛍光X線分析試験

1-1 実験条件

元素分析は日本電子製5300LV型電子顕微鏡に2001型エネルギー分散型蛍光X線分析装置をセットし、実験条件は加速電圧:15kV、分析法:スプリント法、分析倍率:200倍、分析有効時間:100秒、分析指定元素10元素で行った。

1-2 化学分析結果の取り扱い

化学分析結果は酸化物として、ノーマル法(10元素全体で100%になる)で計算し、化学分析表を作成した。化学分析表に基づいて $\text{SiO}_2\text{-Al}_2\text{O}_3$ 図、 $\text{Fe}_2\text{O}_3\text{-TiO}_2$ 図、 $\text{K}_2\text{O-CaO}$ 図の各図を作成した。これらの図をもとに、元素の面から分類した。

2 化学分析結果

第1表化学分析表には大谷地Ⅲ遺跡より土器表面の顔料が記載してある。分析結果に基づいて第1図 $\text{SiO}_2\text{-Al}_2\text{O}_3$ 図、第2図 $\text{Fe}_2\text{O}_3\text{-TiO}_2$ 図、第3図 $\text{K}_2\text{O-CaO}$ 図を作成した。

2-1 $\text{SiO}_2\text{-Al}_2\text{O}_3$ の相関について

第1図 $\text{SiO}_2\text{-Al}_2\text{O}_3$ 図に示すように大谷地Ⅲ遺跡より出土した土器の土器表面顔料は1つの領域に集中する。

1) 土器表面顔料は SiO_2 が35~50%、 Al_2O_3 が40~45%の領域に分布する。

2-2 $\text{Fe}_2\text{O}_3\text{-TiO}_2$ の相関について

第2図 $\text{Fe}_2\text{O}_3\text{-TiO}_2$ 図に示すように、大谷地Ⅲ遺跡より出土した土器表面顔料はK-1とK-2の2タイプに分類した。

1) K-1は Fe_2O_3 が20~25%、 TiO_2 が1.5~2.2%の領域に分布する。

2) K-2は Fe_2O_3 が27~33%、 TiO_2 が1.4~2.1%の領域に分布する。

土器表面の付着顔料は2タイプに分類される。赤色顔料としてはベンガラの濃度はあまり高くない。土器付着の高濃度の顔料は70~75%の濃度を示すものもあるが、ここでは濃度の高いものは検出されていない。

2-3 $\text{K}_2\text{O-CaO}$ の相関について

第3図 $\text{K}_2\text{O-CaO}$ 図に示すように大谷地Ⅲ遺跡より出土した土器表面顔料はK-1とK-2の2タイプに分類された。

- 1) K-1は K_2O が1.5~1.8%、 CaO が0.22~0.44%の領域に分布する。
- 2) K-2は K_2O が2.0~2.3%、 CaO が0.26~0.38%の領域に分布する。
- 3) S-5は K_2O が1.78%、 CaO が1.67%高く、異質である。

3 ま と め

第1表化学分析表に示すように大谷地Ⅲ遺跡より出土した土器に付着する土器表面顔料を分類した。

- 1) 第1表化学分析表に示すように、土器の付着顔料の化学組成はよく類似する。
- 2) 大谷地Ⅲ遺跡土器は坏と壺のいずれも $SiO_2-Al_2O_3$ 図では1つの領域に集中し、関連性が高い。
- 3) 大谷地Ⅲ遺跡の坏と壺は $Fe_2O_3-TiO_2$ 図ではFe-1とFe-2の領域に分かれ、類似する組成の中で2種類に分かれる傾向が認められる。
- 4) 大谷地Ⅲ遺跡の坏と壺は K_2O-CaO 図でもK-1とK-2の2つの領域に分かれる傾向が認められる。
- 5) 以上の結果からみて、基本的な化学組成は類似するが、 Fe_2O_3 ではFe-1とFe-2、 K_2O ではK-1とK-2のように細分される傾向が認められる。

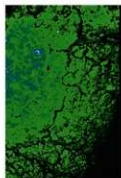
第1表 化学分析表

試料名	Na ₂ O	MgO	Al ₂ O ₃	SiO ₂	K ₂ O	CaO	TiO ₂	MnO	Fe ₂ O ₃	P ₂ O ₅	Total	分析試料
大谷地Ⅲ-1	0.00	0.00	24.41	40.70	1.71	0.29	1.69	1.81	29.38	0.00	99.99	土器・坏・顔料
大谷地Ⅲ-2	0.20	0.00	29.25	41.72	1.74	0.44	1.69	3.33	21.63	0.00	100.00	土器・坏・顔料
大谷地Ⅲ-3	0.51	0.00	30.62	40.72	2.24	0.27	2.08	1.12	32.43	0.00	99.99	土器・坏・顔料
大谷地Ⅲ-4	0.45	0.00	24.48	40.66	1.61	0.23	1.51	0.86	30.20	0.00	100.00	土器・壺・顔料
大谷地Ⅲ-5	0.00	1.67	22.07	48.40	1.78	1.67	2.01	0.44	21.96	0.00	100.00	土器・壺・顔料
大谷地Ⅲ-6	0.09	0.00	25.24	48.62	2.04	0.36	1.58	0.47	21.60	0.00	100.00	土器・壺・顔料
大谷地Ⅲ-7	0.22	0.00	26.55	42.98	1.59	0.32	1.77	1.99	24.58	0.00	100.00	土器・壺・顔料

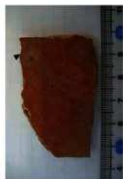
土器・電顕写真（鉛筆の線は資料切断位置）



土器 1



土器 1 (顕微写真)



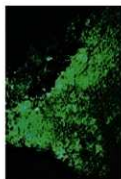
土器 2



土器 2 (顕微写真)



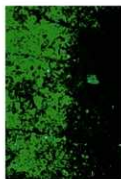
土器 3



土器 3 (顕微写真)



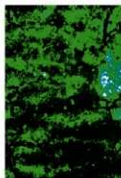
土器 4



土器 4 (顕微写真)



土器 5



土器 5 (顕微写真)



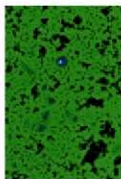
土器 6



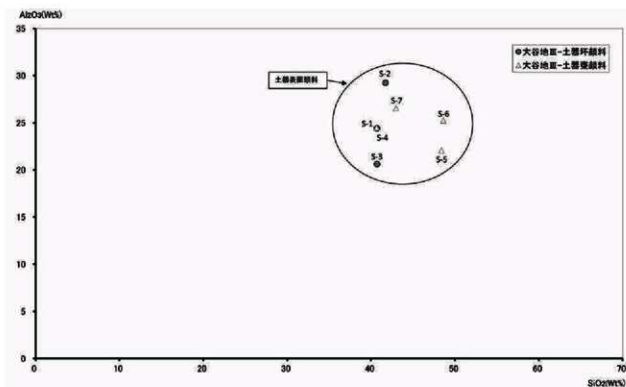
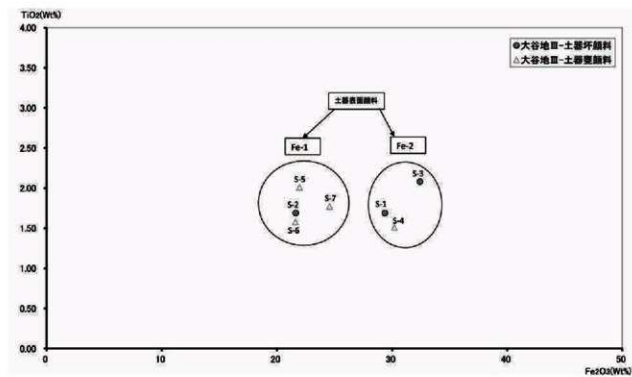
土器 6 (顕微写真)

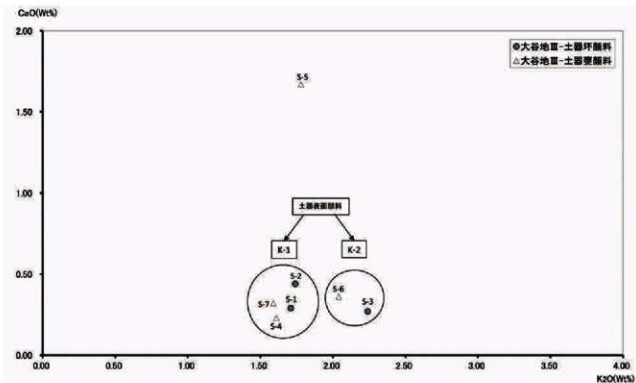


土器 7



土器 7 (顕微写真)

第 1 图 $SiO_2-Al_2O_3$ 图第 2 图 $Fe_2O_3-TiO_2$ 图

第3図 K₂O-CaO図

JEOL JED-2001
SPRINT vers. 2.18

試料名: Ooyati-3-1

測定日時: <2年02月09日 16時42分37秒

分析日時: <2年02月09日 17時05分41秒

--- 測定-ジオメトリ パラメータ ---

加速電圧 : 15.00 kV 取り出し角度 : 20.32°
経過時間 : 127.07 秒 有効時間 : 100.00 秒

--- 分析結果 ---

元素	分析線	重量%	原子量%	化合物	重量%	Kレシオ
Na	K	0.00	0.00	Na ₂ O	0.00	0.0000
Mg	K	0.00	0.00	MgO	0.00	0.0000
Al	K	12.92	11.07	Al ₂ O ₃	24.41	1.8008
Si	K	19.02	15.65	SiO ₂	40.70	2.8571
P	K	0.00	0.00	P ₂ O ₅	0.00	0.0000
K	K	1.42	0.84	K ₂ O	1.71	0.3069
Ca	K	0.21	0.12	CaO	0.29	0.0479
Ti	K	1.01	0.49	TiO ₂	1.69	0.2244
Mn	K	1.41	0.59	MnO	1.81	0.3069
Fe	K	20.55	8.50	Fe ₂ O ₃	29.58	4.5719
O	-	43.46	52.75			-----
合計		100.00	100.00		100.00	

J.E.O.L. JED-2001
SPRINT vers. 2.18

試料名: Ooyati-3-2

測定日時: <2年 02月 09日 17時 00分 55秒

分析日時: <2年 02月 09日 17時 03分 14秒

--- 測定-ジオメトリ パラメータ ---

加速電圧 : 15.00 kV 取り出し角度 : 20.32 °
経過時間 : 120.04 秒 有効時間 : 100.00 秒

--- 分析 結果 ---

元素	分析線	重量%	原子量%	化合物	重量%	Kレシオ
Na	K	0.15	0.15	Na2O	0.20	0.0041
Mg	K	0.00	0.00	MgO	0.00	0.0000
Al	K	15.48	12.94	Al2O3	29.25	0.7979
Si	K	19.50	15.66	SiO2	41.72	1.0392
P	K	0.00	0.00	P2O5	0.00	0.0000
K	K	1.44	0.82	K2O	1.74	0.1093
Ca	K	0.32	0.18	CaO	0.44	0.0255
Ti	K	1.02	0.48	TiO2	1.69	0.0788
Mn	K	2.58	1.06	MnO	3.33	0.1978
Fe	K	15.13	6.11	Fe2O3	21.63	1.1850
O	-	44.39	62.59			-----
合計		100.00	100.00		100.00	

J.E.O.L. JED-2001
SPRINT vers. 2.18

試料名: Ooyati-3-3

測定日時: <2年 02月 09日 17時 12分 50秒

分析日時: <2年 02月 09日 17時 16分 29秒

--- 測定-ジオメトリ パラメータ ---

加速電圧 : 15.00 kV 取り出し角度 : 20.32 °
経過時間 : 142.74 秒 有効時間 : 100.00 秒

--- 分析 結果 ---

元素	分析線	重量%	原子量%	化合物	重量%	Kレシオ
Na	K	0.38	0.38	Na2O	0.51	0.0384
Mg	K	0.00	0.00	MgO	0.00	0.0000
Al	K	10.91	9.46	Al2O3	20.62	2.1980
Si	K	19.03	15.85	SiO2	40.72	4.2618
P	K	0.00	0.00	P2O5	0.00	0.0000
K	K	1.86	1.11	K2O	2.24	0.5950
Ca	K	0.20	0.11	CaO	0.27	0.0664
Ti	K	1.25	0.61	TiO2	2.08	0.4094
Mn	K	0.87	0.37	MnO	1.12	0.2787
Fe	K	22.69	9.50	Fe2O3	32.43	7.4711
O	-	42.82	62.50			-----
合計		100.00	100.00		100.00	

J E O L J E D - 2 0 0 1
S P R I N T vers. 2.13

試料名: Ooyati-3-4

測定日時: <2年 02月 09日 17時 23分 21秒

分析日時: <2年 02月 09日 17時 25分 54秒

--- 測定-ジオメトリ パラメータ ---

加速電圧 : 15.00 kV 取り出し角度 : 20.32 °
経過時間 : 125.26 秒 有効時間 : 100.00 秒

--- 分析 結果 ---

元素	分析線	重量%	原子量%	化合物	重量%	Kレシオ
Na	K	0.33	0.33	Na2O	0.45	0.0246
Mg	K	0.00	0.00	MgO	0.00	0.0000
Al	K	12.95	11.07	Al2O3	24.48	1.8686
Si	K	19.01	15.60	SiO2	40.65	2.9681
P	K	0.00	0.00	P2O5	0.00	0.0000
K	K	1.34	0.79	K2O	1.61	0.2984
Ca	K	0.16	0.09	CaO	0.23	0.0391
Ti	K	0.91	0.44	TiO2	1.51	0.2078
Mn	K	0.65	0.28	MnO	0.85	0.1500
Fe	K	21.12	8.72	Fe2O3	30.20	4.8739
O	-	43.51	52.69			-----
合計		100.00	100.00		100.00	

J E O L J E D - 2 0 0 1
S P R I N T vers. 2.13

試料名: Ooyati-3-5

測定日時: <2年 02月 09日 17時 59分 39秒

分析日時: <2年 02月 09日 18時 02分 08秒

--- 測定-ジオメトリ パラメータ ---

加速電圧 : 15.00 kV 取り出し角度 : 20.32 °
経過時間 : 132.75 秒 有効時間 : 100.00 秒

--- 分析 結果 ---

元素	分析線	重量%	原子量%	化合物	重量%	Kレシオ
Na	K	0.00	0.00	Na2O	0.00	0.0000
Mg	K	1.01	0.93	MgO	1.67	0.1343
Al	K	11.68	9.68	Al2O3	22.07	1.9347
Si	K	22.63	18.01	SiO2	48.40	4.0407
P	K	0.00	0.00	P2O5	0.00	0.0000
K	K	1.47	0.84	K2O	1.78	0.3598
Ca	K	1.19	0.65	CaO	1.67	0.3084
Ti	K	1.21	0.56	TiO2	2.01	0.2998
Mn	K	0.34	0.14	MnO	0.44	0.0844
Fe	K	15.36	6.15	Fe2O3	21.96	3.8642
O	-	45.11	63.03			-----
合計		100.00	100.00		100.00	

J E O L J E D - 2 0 0 1
S P R I N T vers. 2.18

試料名: Ooyati-3-6

測定日時: <2年02月09日 18時07分18秒

分析日時: <2年02月09日 18時09分46秒

--- 測定-ジオメトリ パラメータ ---

加速電圧 : 15.00 kV 取り出し角度 : 20.32 °
経過時間 : 133.33 秒 有効時間 : 100.00 秒

--- 分析 結果 ---

元素	分析線	重量%	原子量%	化合物	重量%	Kレシオ
Na	K	0.07	0.05	Na2O	0.09	0.0072
Mg	K	0.00	0.00	MgO	0.00	0.0000
Al	K	13.36	11.01	Al2O3	25.24	2.7524
Si	K	22.73	18.00	SiO2	48.62	4.9093
P	K	0.00	0.00	P2O5	0.00	0.0000
K	K	1.69	0.95	K2O	2.04	0.5023
Ca	K	0.25	0.14	CaO	0.36	0.0816
Ti	K	0.95	0.44	TiO2	1.58	0.2863
Mn	K	0.37	0.15	MnO	0.47	0.1095
Fe	K	15.11	6.02	Fe2O3	21.60	4.6310
O	-	45.48	63.22			-----
合計		100.00	100.00		100.00	

J E O L J E D - 2 0 0 1
S P R I N T vers. 2.18

試料名: Ooyati-3-7

測定日時: <2年02月09日 18時15分13秒

分析日時: <2年02月09日 18時17分47秒

--- 測定-ジオメトリ パラメータ ---

加速電圧 : 15.00 kV 取り出し角度 : 20.32 °
経過時間 : 130.42 秒 有効時間 : 100.00 秒

--- 分析 結果 ---

元素	分析線	重量%	原子量%	化合物	重量%	Kレシオ
Na	K	0.16	0.16	Na2O	0.22	0.0154
Mg	K	0.00	0.00	MgO	0.00	0.0000
Al	K	14.05	11.80	Al2O3	26.55	2.6062
Si	K	20.09	16.21	SiO2	42.98	3.9133
P	K	0.00	0.00	P2O5	0.00	0.0000
K	K	1.32	0.77	K2O	1.59	0.3655
Ca	K	0.23	0.13	CaO	0.32	0.0677
Ti	K	1.05	0.50	TiO2	1.77	0.3007
Mn	K	1.54	0.64	MnO	1.99	0.4306
Fe	K	17.19	6.98	Fe2O3	24.58	4.9112
O	-	44.35	62.82			-----
合計		100.00	100.00		100.00	

VI 遺構・遺物の検出

1 土 器

これまでの土器編年研究（白鳥1980、相原1981、伊藤1990、吾妻2004、高橋2007、村田2014他）によって、8世紀末から9世紀初頭に非轆轤土師器杯の外面段・沈線の消失、轆轤土師器杯と須恵器杯の普及、9世紀前半での土師器甕の轆轤整形の置換が把握されている。大谷地Ⅲ遺跡の竪穴建物・溝跡出土土器を第58図に、年代測定を行った焼成遺構出土土器を第59図に示した。土器の大部分は外面段のある非轆轤土師器杯、非轆轤土師器甕であり、概ね8世紀後半～9世紀初頭に位置付けられる。SI01・03、SD01・02の埋土上位には十和田a降下火山灰と考えられる堆積が認められ、年代観に矛盾はない。年代測定では、 $1460 \pm 20\text{yrBP}$ から $1300 \pm 20\text{yrBP}$ にまとまり、大きく $591 \sim 640\text{cal AD}$ と $673 \sim 772\text{cal AD}$ の2つの範囲で、後半のグループは奈良時代、前半のグループはやや古い年代値が示された。これについては、古木効果を考慮する必要があると報告がある（第V章1）。

赤彩土器は複数出土している（第60・61図）。器種は杯・甕・壺（赤彩球胴甕）で、赤彩範囲は、杯は外面全面、甕はほぼ全面と口縁部内面上部、壺は胴部、胴部全面・口縁部外面に幅広の縦線・口縁部内面上部、外面全面に施されるものがある。壺の口縁部外面に幅広の縦線が施される赤彩土器は8世紀後半と位置付けられており、形態・調整による分類と矛盾しない。

2 弧状溝及び環状溝と内部施設

奈良時代集落の遺構配置を検討する（第62図）。調査区北端で検出した弧状溝の長さは調査区内で85mあり、さらに東西に長く延びることが推定される。弧状の向きは、第4図に示した標高95mの浅い谷に沿ったものの可能性がある。弧状溝西半部埋土上層では部分的に十和田a降下火山灰がブロック状に堆積しており、埋没が進行した段階で火山灰が降下していると考えられる。弧状溝から出土した遺物は少ないが、底面付近から出土した遺物は8世紀後半の土師器であり、弧状溝も8世紀後半の遺構と考えられる。弧状溝の北側は本調査前の試掘調査において遺構がないことが確認されており、弧状溝は大谷地Ⅲ遺跡奈良時代集落の北端に作られていると考えることができる。弧状溝の用途は、堆積状況からは常時流水している痕跡も認められないことから取水目的の溝とは考え難く、環状溝よりも強固な構造を呈し集落の端に作られていることから、集落外部との区画を目的とした可能性が考えられる。

環状溝は調査区のほぼ中央で検出した。溝の南東部は調査区外に延びているが、検出部分の全体の形態から環状を呈すると判断した。環状溝調査区内の最大径は42mで、北側に長さ1.6mの範囲で溝が途切れる部分があり、出入口施設と考えられる。出入口は豊沢川の方角を向いている。溝の幅は0.8～1.6m、深さは28～37cmと浅く、底面には凹凸が残っている。また、底面に堅く締まる部分はなく、柱穴等の付属施設も認められない。埋土上位には部分的に十和田a降下火山灰の堆積が認められる。環状溝埋土下位からは蝦夷の儀式の器とされる赤彩壺「赤彩球胴甕」が出土しており、その特徴から環状溝は8世紀後半の遺構と考えられる。環状溝の出入口から内部に入るとすぐ西側に掘立柱建物、東側に大型竪穴建物があり、さらに大型竪穴建物の南東奥には住居状遺構が配置されている。南西区域には目立った奈良時代の遺構は認められず、広場の可能性がある。掘立柱建物は1間×1間で、柱穴の直径は約30cmを測り、簡素な構造である。北東の柱穴の外側で環状溝の出入口に近い地点

に掘立柱建物を構成する柱穴と同規模の柱穴が1個検出され、埋土から土玉が4点まとまって出土した。大型竪穴建物SI01は南北6.5m×東西6.2mを測り、北壁中央にカマドが構築されている。SI01からは赤彩壺の口縁部片や、土師器坏(内黒)がカマド東側壁近くから出土している。このことから、大型竪穴建物も環状溝と同様に8世紀後半の遺構と判断される。住居状遺構SI03は2.5×2.15mを測り、カマド・柱穴・床面の硬化は認められず、倉庫として使用された可能性が想定される。住居状遺構からも8世紀後半の土師器甕片が出土しているほか、埋土上位に十和田a降下火山灰を確認した。これらの遺構のほか、大型竪穴建物の北東に位置する土坑からは8世紀後半の赤彩壺の大型破片が出土しているが、用途は不明である。

以上、環状溝及び環状溝内部の奈良時代遺構は同時期のものと考えられる。なお、環状溝外部には小型竪穴建物・土器焼成遺構があり、環状溝にはこれらと内部施設を区画する意図が推測される。

3 環状溝外部の遺構と土器焼成遺構

環状溝の外側には小型竪穴建物や土器焼成遺構が配置されている(第62・63図)。小型竪穴建物は環状溝外側東に1軒SI02(2.45×3m)、北西に1軒SI04(4.45×4.3m)が検出された。北壁中央にカマドが作られ、8世紀後半の遺物が出土しているほか、SI04からは赤彩壺が出土している。

土器焼成遺構は18基検出され、環状溝外部に配置されている(第63図)。土器焼成遺構の平面形は方形・台形を呈する。台形のもの南北に長いものが多く、南側を幅広く深く掘り込み、深い部分に被熱が著しく、炭化材も多く出土している。土器焼成遺構から出土した遺物は、土師器(坏・甕)、赤彩土器(赤彩壺・赤彩甕・赤彩坏)で、大谷地皿遺跡において赤彩土器を作っていたことが判明した。さらにSX10は土師器甕と赤彩甕が伴出しており、赤彩の有無で焼成遺構の使い分けがなされているのではなく、SX07・10からは甕、SX08・15からは坏というように器種別に出土する焼成遺構に偏りがあり、器種による使い分けが考えられる。なお、SX14焼成遺構から出土した赤彩壺は口径38.4cm・器高残存値で55cmを測り、赤彩壺としては最大級の大きさである。環状溝外部には周溝1基が配置されるが、土器焼成遺構の切り合いから8世紀後半より古い可能性が考えられるに留まる。

4 縄文時代陥し穴状遺構

検出した陥し穴状遺構58基は円形・方形・長方形・溝形の大きく4形態に分類される。第64図に4形態の分布図を示した。調査区北東の弧状溝南に位置するSK25・26・27は長方形陥し穴状遺構が3基並ぶものの、調査区全体の地形はほぼ平坦で、それ以外配置に法則性は認められない。陥し穴状遺構の年代については、出土遺物はSK64検出面において特殊磨石が出土している程度で、時期判断は困難である。埋土は円形・方形は暗褐色土、溝形は黒色土が主体であることから形成時期は大きく異なると考えられる。

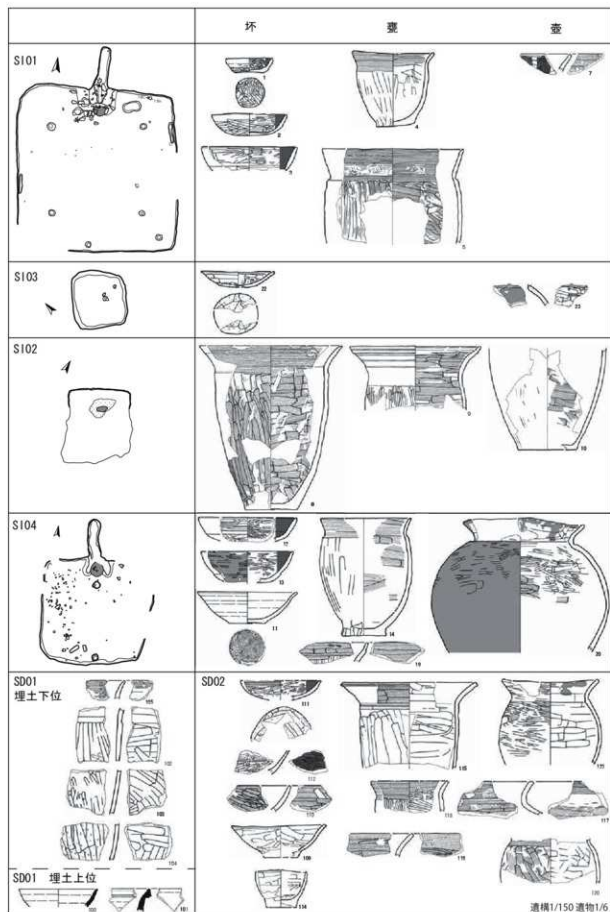
5 総括

本調査において、縄文時代の陥し穴状遺構58基・埋設土器1基、奈良時代の竪穴建物3軒・住居状遺構1棟・掘立柱建物1棟・溝跡2条・焼成遺構18基・周溝1基、古代/古代以降の掘立柱建物2棟・土坑25基・溝跡4条・柱穴状小土坑38個を検出した。時期としては縄文時代と奈良時代8世紀後半と考えられる。8世紀後半は律令国家の征討軍と蝦夷による三十八年戦争の時期にあたる。「赤彩球鬮」が最も多く出土する地域は、花巻市の南に位置する北上市和賀川北岸である。和賀川流域は江釣子古墳群などの奈良時代の終末期古墳群があり要衝と捉えられている。豊沢川北岸には熊堂古墳


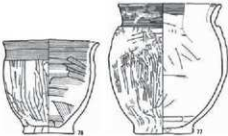




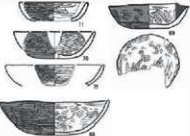







群や熊堂古墳群との関連が指摘されている古館Ⅱ遺跡などの集落が密集し、8世紀後半には豊沢川南岸に集落が増加する。蝦夷の儀式の器とされる「赤彩球胴甕」は、和賀川北岸に次いで豊沢川南岸で多く見つかっており、和賀川北岸の蝦夷集団との密接な関係が窺える。今回の調査で検出した環状溝・弧状溝や赤彩土器は、豊沢川流域の蝦夷集落の在り方を知る上で重要な発見であり、今後、和賀川北岸の蝦夷集落との関係を視野に入れた研究が必要である。

引用・参考文献

- 相原康二 1981 「岩手県南部における古代の土器編年試案」『東北販賣自動車道関係埋蔵文化財調査報告書X』岩手県文化財調査報告書59
- 吾妻俊典 2004 「多賀城とその周辺におけるロクロ土器の普及と開始年代」『宮城考古学』6
- 伊藤博幸 1990 「陸奥国における黒色土器器-その展開と終焉-」『東国土器研究』3
- 窟跡研究会 1997 『古代の土器生産と焼成遺構』真陽社
- 菊池 賢 2004 「稗貫郡の古代集落と律令支配」『古代蝦夷と律令国家』
- 北上市立博物館 2020 「蝦夷の赤い甕-最強の蝦夷は和賀川にいた-」
- 君島武史 2007 「古代集落から検出される焼成遺構-立花南遺跡の再検討を元に-」『紀要』4北上市立埋蔵文化財センター
- 君島武史 2015 「岩手県南の土器生産」『岩手考古学会第47回研究大会 北東北の古代土器生産資料集』
- 君島武史 2017 「上屋構造を考える-北上盆地の堅穴建物から-」『岩手考古学会第49回研究大会 古代の堅穴建物跡-機能と構造-』
- 工藤雅樹・桑原茂郎 1973 「東北地方における古代土器生産の展開」『考古学雑誌』57-3
- (公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2022 「大谷地Ⅲ遺跡」『令和3年度発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第735集
- 白島良一 1980 「多賀城跡出土土器の変遷」『宮城県多賀城跡調査研究所研究紀要』7
- 杉本 良 1998 「岩手県北上盆地における蝦夷(エミシ)集団の動態-北上市藤沢遺跡の再検討から-」『考古学研究』45-1
- 杉本 良 2001 「赤彩球胴甕再考(1)」『北上市立博物館研究報告』13
- 杉本 良 2002 「赤彩球胴甕再考(2)-分布とその傾向(和賀川流域編)」『紀要』2北上市立埋蔵文化財センター
- 杉本 良 2018 「蝦夷(エミシ)の赤い甕-赤彩球胴甕の成立と変遷-」『紀要』6北上市立埋蔵文化財センター
- 高橋静歩 2007 「東北地方北部の赤彩土器器から蝦夷集団の動向を探る」『岩手考古学』19
- 高橋千晶 2007 「第Ⅱ章東北・北海道における6~8世紀の土器変遷と地域の相互関係 vii. 岩手県南部」『古代東北・北海道におけるモノ・ヒト・文化交流の研究』平成15年度~平成18年度科学研究費補助金(基盤研究B)研究成果報告書
- 花巻市総合文化財センター 2019 企画展『豊沢川流域のエミシ』
- 村田 淳 2014 「第2章 9~11世紀の土器編年構築と堅穴建物跡等集成からみた各地区の特質 8. 稗貫・和賀地区」『9~11世紀の土器編年構築と集落遺跡の特質からみた、北東北世界の実証的研究』2011年度~2013年度明治大学大久保忠和考古学振興基金奨励研究研究成果報告書
- 村田 淳 2017 「東北地方北部における堅穴建物のカマド-構造と分布について-」『岩手考古学会第49回研究大会 古代の堅穴建物跡-機能と構造-』
- 八木光則 2010 『古代蝦夷社会の成立』

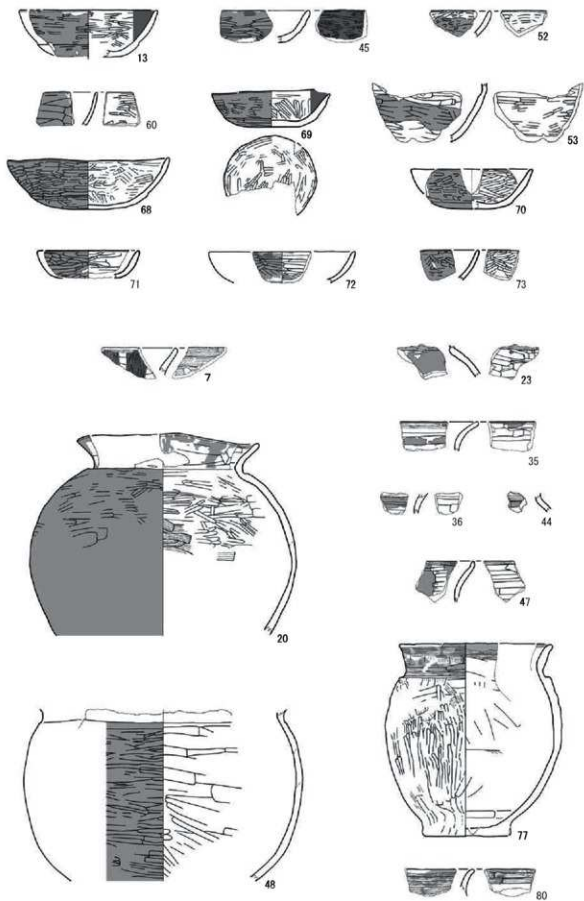


第58図 竪穴建物・環状溝・孤状溝出土土器

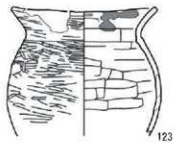
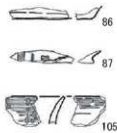
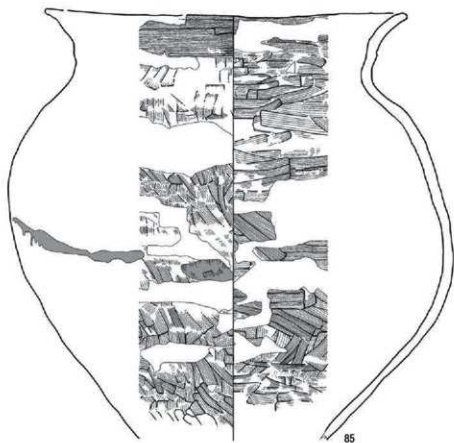
	坏	甗	壶
SX10 591 ~ 640cal AD 			
SX03 605 ~ 644cal AD 			
SX08 607 ~ 651cal AD 			
SX04 652 ~ 675cal AD 			
SX05 656 ~ 759cal AD 			
SX14 663 ~ 772cal AD 			
SX06 673 ~ 772cal AD 			

遺構1/100 遺物1/6

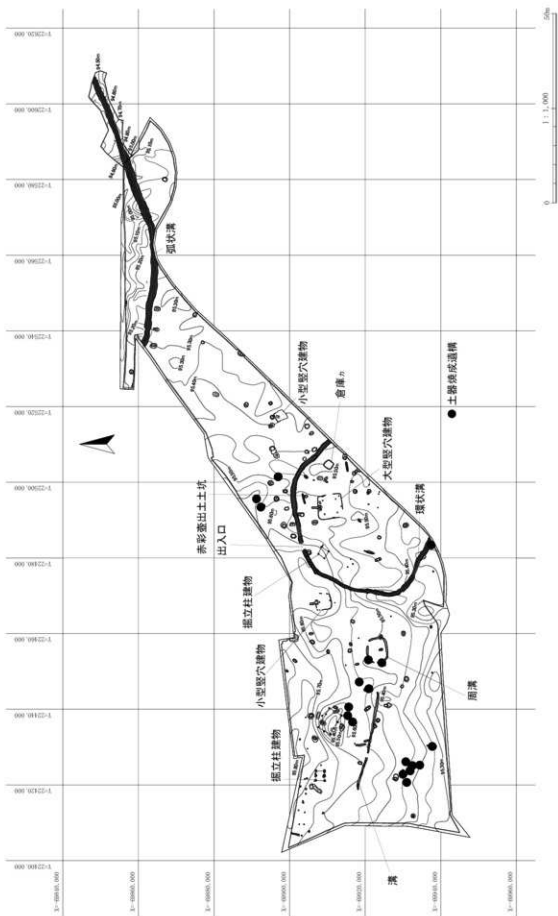
第59図 年代測定焼成遺構の出土土器



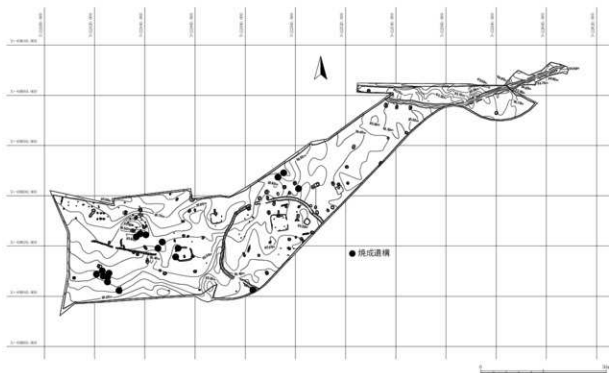
第60図 赤彩土器集成図(1)



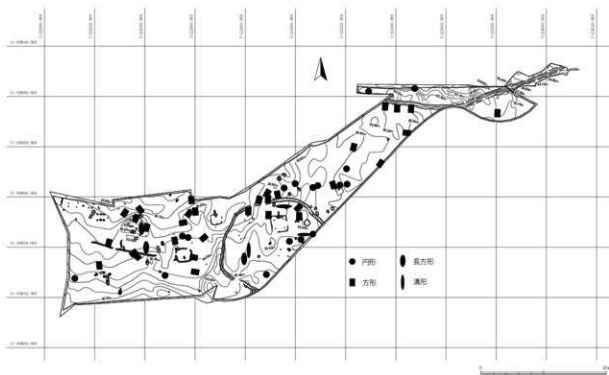
第61図 赤彩土器集成図(2)



第62図 古代遺構配置図



第63図 焼成遺構分布図



第64図 陥し穴状遺構分布図

写 真 图 版



空撮(東半)



空撮(西半)

写真図版1 空撮



SI01全景 S→



SI01EW断面 N→

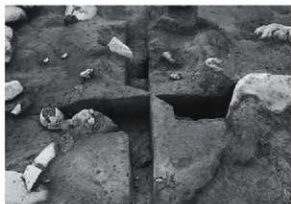


SI01SN断面 E→

写真図版 2 SI01



SI01カマド検出 S→



SI01カマド縦断面 E→



SI01煙道断面 E→



SI02全景 S→



SI02 EW断面



SI02 NS断面



SI02カマド燃焼部



SI02燃焼部断面 N→



SI04全景 S→



SI04SN断面 E→



SI04WE断面 S→



SI04カマド全景 S→



SI04煙道断面 E→



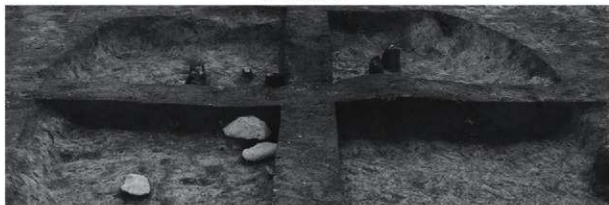
SI04遺物出土状況 S→



SI03全景 SE→



SI03WE断面 E→



SI03SE断面 E→



SB01全景 E→



SB01P1断面 N→



SB01P2断面 N→



SB01P3断面 N→



SB01P4断面 S→



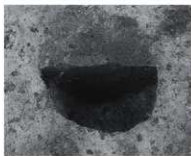
SB01P5断面 S→



SB01P6断面 S→



P1~4と14全景 S→



P2断面 S→



P3断面 S→



P4断面 S→



P14断面 W→



P1断面 S→



東区西全景 N→



SB02全景 E→



SB02P1断面 S→



SB02P2断面 S→



SB02P3断面 S→



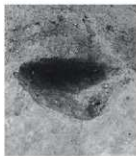
SB02P4断面 S→



SB02P5断面 N→



SB02P6断面 N→



SB02P7断面 N→



SB02P8断面 N→



SN01 全景、断面 W →



SK01 全景 S →



SK02 全景 S →



SK01 断面 S →



SK02 断面 S →



SK03 全景 S →



SK04 全景 SW →



SK03 断面 S →



SK04断面 S→



SK05全景 S→



SK06全景 S→



SK05断面 S→



SK07全景 N→



SK07断面 N→



SK08全景 W→



SK08断面 W→



SK09全景 N→



SK09断面 S→



SK10全景 S→



SK10断面 S→



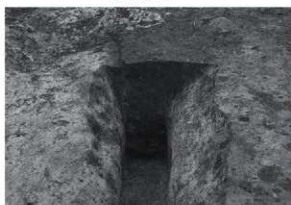
SK11全景 E→



SK11断面 E→



SK12全景 S→



SK12断面 S→



SK13遺物出土状況 E→



SK13断面 S→



SK14完掘全景 S→



SK14断面 W→



SK15全景 SE→



SK15断面 S→



SK16全景 S→



SK16断面 S→



SK17 遺物出土状況 NW→



SK17断面 NW→



SK18全景 S→



SK18断面 S→



SK19全景 SW→



SK19断面 SW→



SK20全景 E→



SK20断面 S→



SK21全景 S→



SK21断面 S→



SK22全景 W→



SK22断面 W→



SK23全景 S→



SK23断面 S→



SK24全景 S→



SK24断面 S→



SK25全景 S→



SK25断面 S→



SK26全景 S→



SK26断面 S→



SK27全景 S→



SK27断面 E→



SK28断面 N→



SK29全景 SW→



SK29断面 SW→



SK30全景 SW→



SK31全景 W→



SK30断面 SW→



SK31断面 W→



SK32全景 S→



SK33全景 S→



SK32断面 S→



SK33断面 S→



SK34全景 S→



SK35遺物出土 N→



SK34断面 S→



SK35断面 S→



SK36全景 S→



SK37全景 E→



SK36断面 S→



SK37断面 E→



SK38全景 S→



SK39全景 S→



SK38断面 S→



SK39断面 W→



SK40全景 S→



SK41全景 N→



SK40断面 W→



SK41断面 N→



SK42全景→



SK43全景 SE→



SK42断面 S→



SK43断面 S→



SK44全景 SW→



SK45全景 S→



SK44断面 SW→



SK45断面 S→



SK46全景 S→



SK47全景 S→



SK46断面 W→



SK47断面 W→



SK48全景 N→



SK49全景 N→



SK48断面 N→



SK49断面 N→



SK50断面全景 S→



SK51全景 S→



SK51断面 S→



SK52全景 S→



SK52断面 S→



SK53全景 S→



SK53断面 S→



SK54全景 S→



SK54断面 S→



SK55全景 NW→



SK55断面 WN→



SK56全景 S→



SK56断面 W→



SK57全景 W→



SK57NS断面 W→



SK58全景 E→



SK58断面 E→



SK59全景 S→



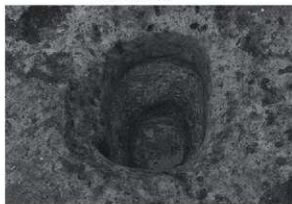
SK59断面 S→



SK60・61全景 E→



SK60・61断面 E→



SK62全景 SE→



SK62断面 E→



SK63完掘 S→



SK63断面 S→



SK64完掘 S→



SK64断面 SE→



SK65・66全景 W→



SK65・66断面 SW→



SK67完掘 S→



SK67NS断面 W→



SK68全景 S→



SK68断面 S→



SK69全景 S→



SK69断面 S→



SK70全景 SW→



SK70断面 S→



SK71全景 S→



SK71断面 S→



SK72全景 S→



SK72断面 W→



SK73全景 S→



SK73断面 S→



SK74全景 SE→



SK74断面 SE→



SK75全景 SE→



SK75断面 SW→



SK76全景 S→



SK76SN断面 E→



SK77全景 S→



SK77断面 S→



SK78全景 E→



SK78断面 SE→



SK79全景 S→



SK79断面 S→



SK80全景 S→



SK80断面 S→



SK81全景 S→



SK81断面 S→



SK82全景 S→



SK82断面 S→



SK83全景 W→



SK83断面 SW→



SX01全景 W→



SX01燃焼面検出 W→



SX01EW断面 N→



SX01NS断面 W→



SX02全景 W→



SX02燃焼面検出 W→



SX02EW断面 N→



SX02NS断面 W→



SX03P1断面 S→



SX03燃焼面検出 SW→



SX03SN断面 SE→



SX03WE断面 SW→



SX04全景 N→



SX04断面 NW→



SX05全景 W→



SX05燃焼面検出 W→



SX05NS断面 W→



SX05WE断面 S→



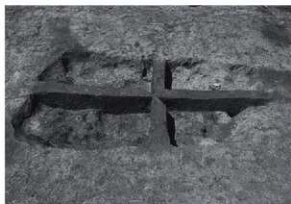
SX06全景 S→



SX06燃焼面検出 S→



SX06WE断面 S→



SX06NS断面 E→



SX07全景 S→



SX07燃焼面検出 S→



SX07WE断面 S→



SX07SN断面 E→



SX08全景 S→



SX08燃焼面検出 S→



SX09燃焼面検出 S→



SX09断面 S→



SX10全景 S→



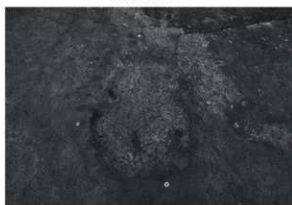
SX10全景 S→



SX10断面 S→



SX10WE断面追加 S→



SX11被熱面 W→



SX11燃焼面検出 W→



SX11NS断面 W→



SX11WE断面 S→



SX13燃焼面検出 WS→



SX13断面 W→



SX14遺物出土状況 S→



SX14完掘 S→



SX14NS断面 W→



SX14WE断面 S→



SX15遺物出土状況 E→



SX15機能面全景 E→



SX15断面 E→



SX15断面 S→



SX16被熱面検出 NE→



SX16焦焼部検出 NE→



SX16SN断面 NE→



SX12 S→



SX17被熱面検出 S→



SX17焦焼部検出 S→



SX17断面 E→



SX09・17焦焼部 SN断面 E→



SX18断面 E→



SX19全景 S→



SX19NS断面 W→



SX19WE断面 S→



SD01西半 W→



SD01東半 W→



SD01 I-I'断面 W→



SD01H-H'断面 W→



SD01G-G'断面 W→



SD01F-F'断面 W→



SD01E-E'断面 W→



SD01D-D'断面 W→



SD01C-C'断面 W→



SD02全景



SD02出入口NW→



SD02A-A'断面 N→



SD02B-B'断面 W→



SD02C-C'断面 S→



SD02D-D'断面 S→



SD02E-E'断面 W→



SD02F-F'断面 N→



SD02 4F8遺物出土状況 E→



SD02 4D22遺物出土状況 S→



SD04全景 E→



SD04 C-C'断面 W→



SD05全景 S→



SD05断面 S→



SD06全景 S→



SD06A-A'断面 S→



SD07全景 S→



SD07断面 S→



SZ01全景 S→



SZ01 A-A' 断面 S→



SZ01 B-B' 断面 W→



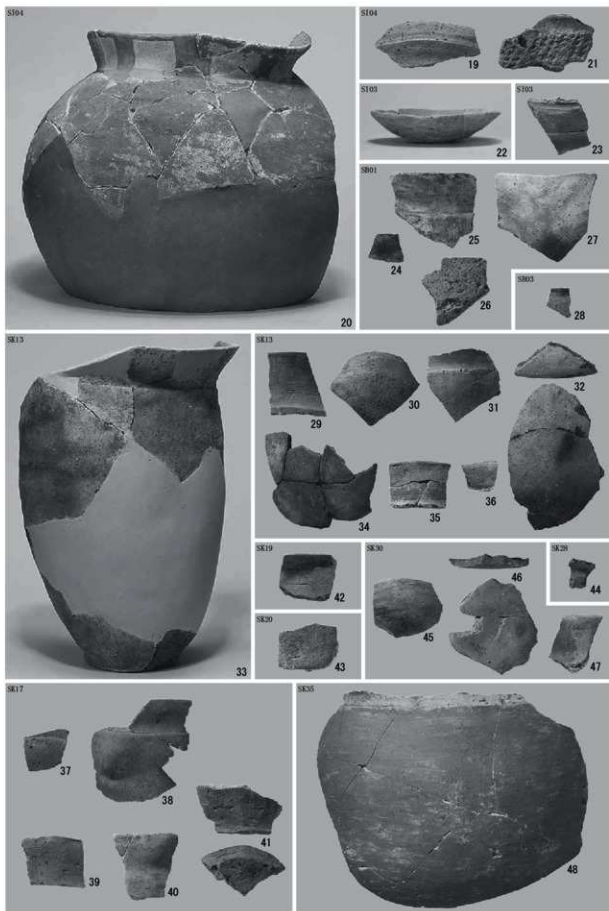
SZ01 C-C' 断面 W→



SZ01 D-D' 断面 S→



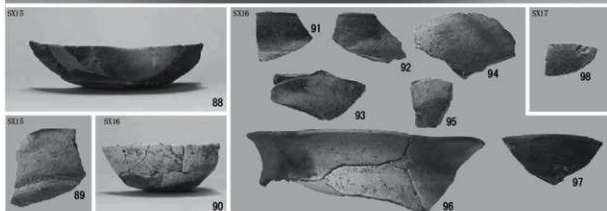
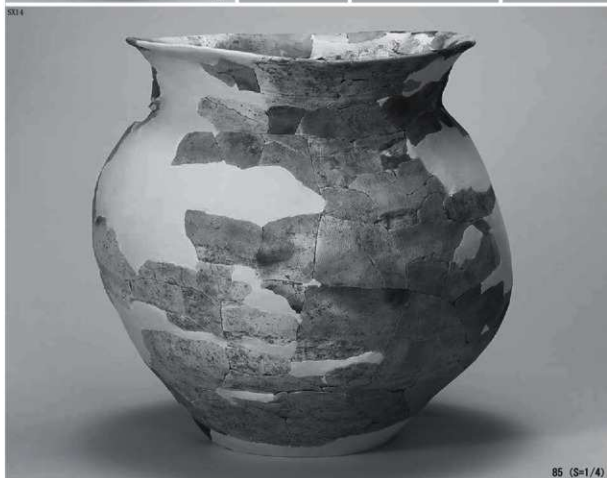
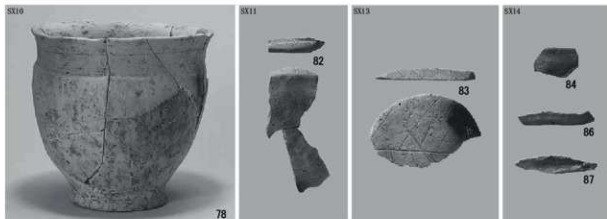
写真図版43 SI01・02・04 出土土器



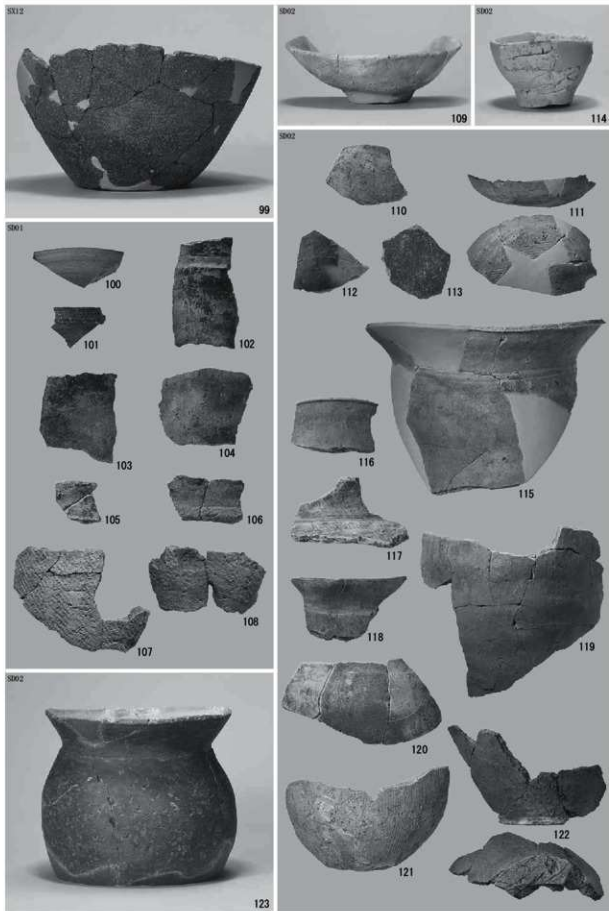
写真図版44 SI04・03、SB01・03、SK13・17・19・20・28・30・35 出土土器



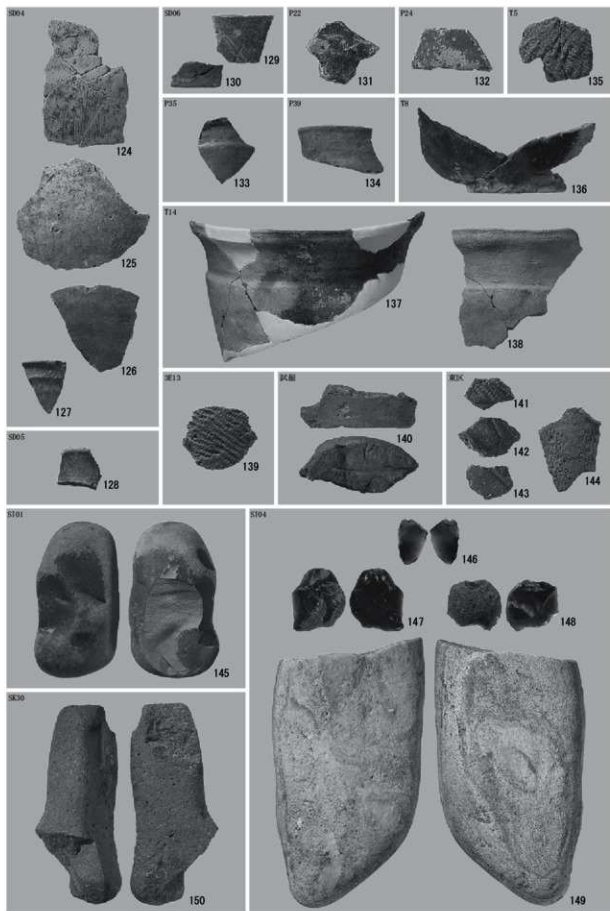
写真図版45 SK43・58・60、SX01～03・06～10 出土土器



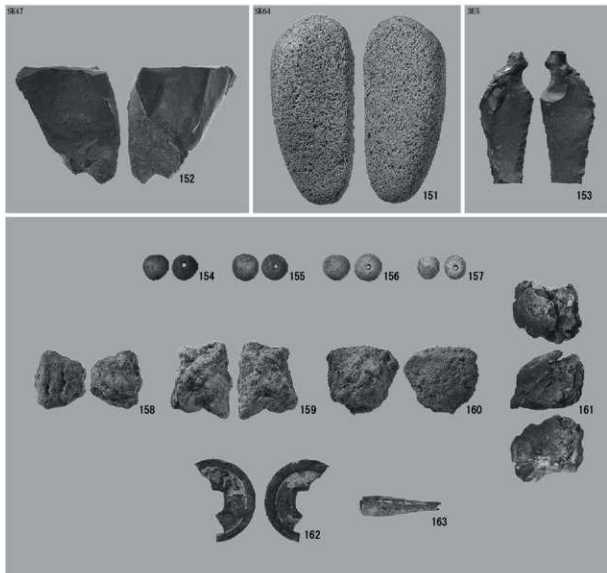
写真図版46 SX10・11・13~17 出土土器



写真図版47 SX12、SD01・02 出土土器



写真図版48 SD04~06、P22・24・35・39、T5・8・14他出土石器、SI01・04・SK30 出土石器



写真図版49 出土石器、土製品、錢貨、金属製品

報告書抄録

ふりがな	おおやちざんいせきはくつちょうさほうこくしょ							
書名	大谷地Ⅲ遺跡発掘調査報告書							
副書名	(仮称)花巻PA スマートインターチェンジ整備事業関連遺跡発掘調査							
巻次								
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第740集							
編著者名	八木勝枝・福島正和・富川 悟							
編集機関	(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター							
所在地	〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地 TEL (019)638-9001							
発行年月日	西暦2023年3月10日							
ふりがな 所取遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯 °°°	東経 °°°	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
大谷地Ⅲ遺跡	岩手県花巻市諏訪・大谷地地内	03205	ME35-1229	39度 22分 13秒	141度 5分 39秒	2021.04.08 ～ 2021.10.15	5,982㎡	(仮称)花巻PA スマートインター チェンジ整備 事業
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
大谷地Ⅲ遺跡	集落跡	縄文時代	埋設土器 陥し穴状遺構	土師器坏、土師器甕、 須恵器壺、赤彩土器、 黒曜石、縄文土器、 石核、石皿、特殊磨石				
		奈良時代	竪穴建物跡 住居状遺構 掘立柱建物跡 土坑 焼成遺構 溝跡 周溝 焼土 柱穴状小土坑					
要約	<p>意沢川右岸の中位段丘上に立地する奈良時代集落跡である。調査区中央に環状の溝、調査区北東に弧状溝を検出した。弧状溝は中位段丘に浅く入り込んだ谷に向かって開口しており、弧状溝以北は古代の遺構が検出されていない。環状溝内部には大型竪穴建物や簡素な構造の掘立柱建物跡などが配置され、外部に配置された小型竪穴建物や土器焼成遺構と区画する意図が推測される。環状溝内部の大型竪穴建物・環状溝・弧状溝・小型竪穴建物・焼成遺構から赤彩土器が出土しており、若干の時間差を持ちながらも8世紀後半に収まると考えられる。なお、弧状溝埋土上位からは須恵器が出土しており、周辺に9世紀前半の遺構が存在する可能性が指摘できる。縄文時代は陥し穴状遺構58基が検出されており、調査区南側に広がる低湿地に集まる動物の狩猟場であった可能性がある。この他、縄文時代晩期と考えられる埋設土器が1基検出され、周辺に縄文集落が存在する可能性を指摘できる。</p>							

※緯度、経度は世界測地系（2011）による数値である。

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第740集

大谷地Ⅲ遺跡発掘調査報告書

印刷 令和5年3月3日

発行 令和5年3月10日

編集 (公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地

電話 (019) 638-9001

FAX (019) 638-8563

発行 花巻市

〒025-8601 岩手県花巻市花城町9番30号

電話 (0198) 24-2111

(公財)岩手県文化振興事業団

〒020-0023 岩手県盛岡市内丸13番1号

電話 (019) 654-2235

FAX (019) 625-3595

印刷 有限会社小松茂印刷所

〒020-0025 岩手県盛岡市大沢川原二丁目5-37

電話 (019) 623-6073